



地方独立行政法人神奈川県立病院機構  
精神医療センター

平成22年度

# 精神医療センター業務年報

---

(芹香病院・せりがや病院)

平成23年10月

# 目 次

## I 概 況

1 基本理念	1
2 沿革	1
3 組織・機構	5
4 職員配置状況	6
5 施設	8
施設配置図	9
6 主な委員会・会議一覧	10
7 主な研修実績	11

## II 芹香病院事務事業の状況

1 芹香病院基本方針	13
2 経理の状況	
(1) 病院事業会計決算状況	14
3 業務実績	
(1) 各種指標	17
4 患者の状況	
(1) 外来患者の状況	18
(2) 入院患者の状況	20
(3) 救急医療の状況	26
5 業務の状況	
(1) 看護	27
(2) 作業療法	33
(3) デイ・ケア療法	37
(4) 検査業務	41
(5) 地域医療相談室業務	45
(6) 薬剤業務	52
(7) 医療教育	53
(8) 栄養業務	54
(9) 保育業務	57

### Ⅲ セリがや病院事務事業の状況

1	セリがや病院基本方針	59
2	経理の状況	
(1)	病院事業会計決算状況	60
3	業務実績	
(1)	各種指標	63
4	患者の状況	
(1)	外来患者の状況	64
(2)	入退院患者の状況	67
5	業務の状況	
(1)	看護	73
(2)	心理・相談業務	76
(3)	作業療法	78
(4)	医療教育及び講師派遣	78
(5)	薬剤業務	79
(6)	栄養業務	80

(注) 本年報の表は原則として平成22年3月31日をもって作成してあります。例外については、本文中に基準年月日を表示してあります。

# I 概 況



# 1 基本理念

患者様やご家族に信頼される心あたたかい医療を提供し、神奈川県精神医療の発展に努めます。

# 2 沿革

当センターは精神病院法に基づくわが国3番目の府県立精神病院として昭和4年3月から診療を開始した芹香院と、昭和38年4月全国にさきがけ麻薬中毒患者専門医療施設として収容治療を開始し、その後神経症、アルコール依存症、薬物中毒等の患者を対象に治療を行ってきたせりがや園を統合して、平成2年4月神奈川県立精神医療センターに組織を改正した。その際名称も芹香病院、せりがや病院に改称し、精神科診療業務を行っている。開設以来の主たる変遷は次のとおりである。

## 【芹香院】

昭和3年11月	本館及び病棟5棟 付属建物を含め延べ3,606㎡の施設完成
4年3月	診療開始(150床)
35年7月	第1、第2病棟完成(現作業療法棟2,207.05㎡)
39年4月	地方公営企業法(企業会計方式)の一部適用
46年8月	子供預り施設新築
11月	C病棟、管理診療棟、サービス棟新築
48年1月	A病棟、B病棟、社会療法棟、喫茶売店棟、車庫棟新築
3月	温室及び看護婦宿舎新築
6月	作業療法棟改築
7月	事務局に医事課を新設
8月	事務局に栄養課を新設、医療局を部長制とし、作業療法科を新設、看護部に看護教育係を新設
50年7月	せりがや地区第一医療職員公舎完成
54年3月	A、B、C各病棟の2、3階に消防用スプリンクラー設備設置
10月	A3病棟を開棟
55年8月	事務局が総務局に、管理課が総務課に改称、総務局次長(総務課長兼務)新設
56年7月	保育施設改修
10月	芹香院作業療法用農場(27アール)整備工事完成
57年1月	身体障害者用便所、管理診療棟1箇所、A病棟1箇所完成
58年11月	緊急医療対策用保護室改修
60年9月	デイ・ケア施設改修
62年4月	医療局にデイ・ケア科を新設
	夜間、休日の緊急医療開始
12月	外来受付室、待合室改修
平成元年3月	保護室(6室)、静養室(16室)改修
2年1月	保護室(8室)改修

## 【せりがや園】

- 昭和38年 1月 本館新設（サーモコン2階建）
- 3月 厨房棟新築（コンクリート鉄骨平屋建）
- 4月 診療開始（70床）
- 39年 4月 地方公営企業法（企業会計方式）の一部適用
- 43年 7月 本館増築工事等  
病棟、管理部門の改修
- 52年 4月 病床数（64床）変更

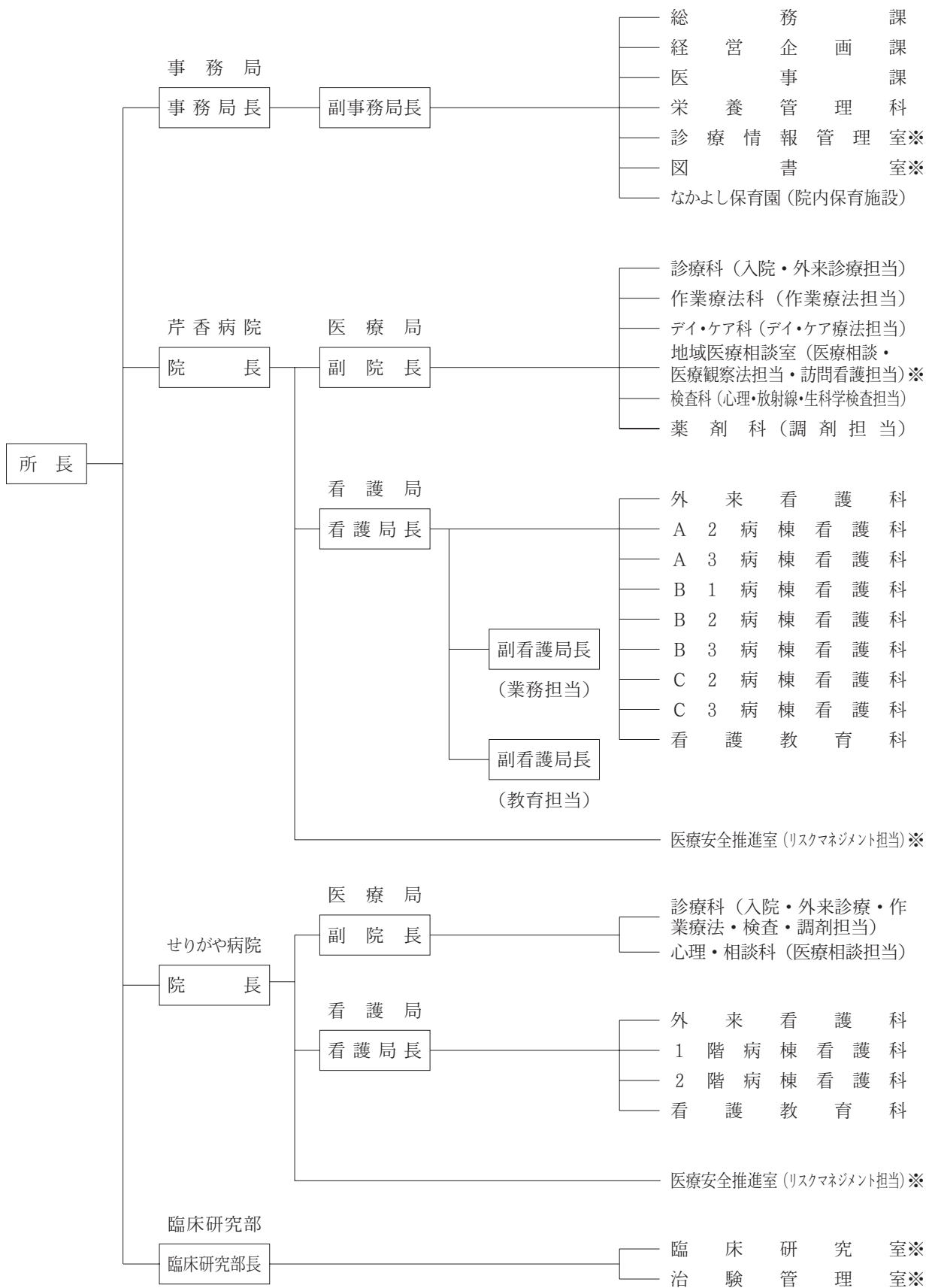
## 【精神医療センター】

- 平成2年 4月 芹香院とせりがや園を、精神医療センターに組織改正、センター所長職の設置、芹香院を芹香病院に、せりがや園をせりがや病院に改称、精神医療センター総務局に総務課、経理課、医事課及び栄養課設置  
せりがや病院の医療局に心理・相談科、看護部に外来看護係、看護教育係を新設
- 9月 せりがや病院新築（80床）
- 3年 4月 芹香病院A1病棟を老人性痴呆専門治療病棟（44床）に改修  
芹香病院B3病棟の一部を改築（結核合併症病棟16床、精神科病棟31床）
- 4年 4月 芹香病院B2病棟保護室（4室）改修
- 5年 2月 せりがや病院 基準看護結核・精神特2類承認
- 3月 芹香病院 基準看護結核・精神特2類承認
- 6年 3月 看護婦共同宿舎、看護師宿舎、職員公舎一戸解体  
芹香病院C1病棟に消防用スプリンクラー設備設置
- 10月 芹香病院、せりがや病院新看護体系3：1承認
- 7年 3月 芹香病院B1病棟に消防用スプリンクラー設備設置  
C棟外壁塗装、屋上防水塗装工事完成
- 7年 5月 せりがや病院 特別管理給食加算（適時適温給食）実施
- 8年 3月 芹香病院A1病棟に消防用スプリンクラー設備設置  
芹香病院A2病棟に感染症隔離室（2室）設置  
芹香病院A3病棟に救急用保護室（4室）、静養室（3室）設置
- 8年 4月 芹香病院病床数（497床）変更  
芹香病院 精神科救急医療開始  
選択メニュー給食の実施
- 10年12月 職員公舎3戸解体
- 12年 7月 芹香病院 特別管理給食加算（適時適温給食）実施
- 12月 第1医療職員公舎解体
- 14年 4月 芹香病院 精神科救急医療 24時間体制開始（8床）
- 15年 4月 芹香病院 精神科 救急病棟開設（B-1病棟 26床）  
芹香病院 病床数（445床）変更
- 15年 9月 芹香病院 応急入院指定病院（1床）

平成15年10月	<p>芹香病院 精神科急性期治療病棟（B1）入院科1適用承認</p> <p>芹香病院 紹介患者加算5実施</p>
16年4月	<p>芹香病院 精神科救急入院科（B1病棟26床）適用承認</p> <p>芹香病院 精神科救急入院施設管理加算（A1病棟を除く）適用承認</p> <p>芹香病院 医療保護入院等診療科適用承認</p> <p>せりがや病院 医療保護入院等診療科適用承認</p> <p>芹香病院 褥瘡患者管理加算適用承認</p>
6月	芹香病院 療養環境加算（A1・B2病棟）適用承認
9月	芹香病院 夜間勤務等看護加算（A1病棟）
17年4月	<p>地方公営企業法全部適用</p> <p>精神医療センターの組織再編成 看護部を看護局と改称、経理課及び医事課を医事経営課に統合、栄養課を栄養管理科に改称、各看護係を看護科と改称、各病院内に医療安全推進室を設置、芹香病院診療科内の医療相談室を地域医療相談室と改称</p>
12月	<p>芹香病院 日本医療機能評価機構認定病院となる</p> <p>せりがや病院 日本医療機能評価機構認定病院となる</p>
18年1月	<p>芹香病院 診療録管理体制加算</p> <p>せりがや病院 診療録管理体制加算</p>
4月	<p>芹香病院 15対1精神病棟入院基本料（A1病棟及びB1病棟を除く）</p> <p>芹香病院 老人性認知症疾患治療病棟入院料1（A1病棟）</p> <p>芹香病院 医療安全対策加算</p> <p>芹香病院 臨床研修病院入院診療加算</p> <p>芹香病院 栄養管理実施加算</p> <p>せりがや病院 15対1精神病棟入院基本料</p> <p>せりがや病院 栄養管理実施加算</p>
8月	芹香病院 精神科ショート・ケア「大規模なもの」
9月	<p>芹香病院 指定自立支援医療機関（通院精神医療）の指定</p> <p>せりがや病院 指定自立支援医療機関（通院精神医療）の指定</p>
12月	芹香病院 特定病院認定
19年5月	芹香病院 精神科急性期治療病棟入院料2適用承認
8月	せりがや病院 精神科作業療法適用承認
20年3月	<p>芹香病院 老人性認知症専門病棟（A1病棟）閉床</p> <p>芹香病院 生活訓練・短期静養病棟（C1病棟）閉床</p>
4月	<p>芹香病院 ストレスケア病棟（A2病棟）開床</p> <p>芹香病院 精神科地域移行実施加算</p>
8月	芹香病院 看護補助加算1
21年2月	芹香病院 精神科急性期治療病棟入院料2（A2・B2病棟）
4月	<p>芹香病院 精神科救急入院料2（B1・B2病棟）</p> <p>芹香病院 通院対象者社会復帰連携体制強化加算</p>
6月	せりがや病院 褥瘡患者管理加算

平成21年 9月	芹香病院 病床数(308床)変更
22年 2月	芹香病院 指定入院医療機関の指定(2床) 芹香病院 入院対象者入院医学管理料
4月	地方独立行政法人へ移行
5月	芹香病院 救急医療管理加算 せりがや病院 重度アルコール依存症管理加算
6月	芹香病院 精神科救急入院料1(B1、B2病棟)
7月	芹香病院 精神科急性期治療病棟入院料1(A2病棟)
12月	芹香病院 精神科身体合併症管理加算 せりがや病院 精神科身体合併症管理加算 せりがや病院 13対1精神科病棟入院基本料
23年 1月	芹香病院 作業療法棟及び社会療法棟の撤去

### 3 組織・機構 (H23. 6. 1 現在)



※院内組織

#### 4 職員配置状況 (H23. 6. 1現在)

所 属	職	事務職員	技術職員	技能職員	計	非常勤職員	再 任 用 員	契 約 職 員
所 長			1		1			
事 務 局								
事 務 局 長		1			1			
副 事 務 局 長		1			1			
総 務 課		5	1		6	5		1
経 営 企 画 課		8			8			
医 事 課		6			6	2		
栄 養 管 理 科			2	16	18	26	1	6
小 計		21	3	16	40	33	1	7
芹 香 病 院								
院 長			1		1			
副 院 長			1		1			
診 療 科		8	16		24	22		1
作 業 療 法 科			7		7			
デ イ ・ ケ ア 科		2	4		6			1
検 査 科		1			1	2		2
薬 剤 科			5		5	2		
看 護 局 長			1		1			
副 看 護 局 長			2		2			
看 護 局			161	10	171	13		11
小 計		11	198	10	219	39		15
せ り が や 病 院								
院 長			1		1			
診 療 科			7		7	9		1
心 理 ・ 相 談 科		3			3	2		
看 護 局 長			1		1			
看 護 局			38		38	6		4
小 計		3	47		50	17		5
計		35	249	26	310	89	1	27

職種別内訳（H23. 6. 1現在）

職 種		所 属				計
		所 長	事 務 局	芹 香 病 院	せりがや病院	
一 般 事 務 職			21			21
栄 養 士			2			2
調 理 職			16			16
医 師		1		16	5	22
福 祉 職	ソ ー シ ャ ル ワ ー カ ー			9	2	11
	臨 床 心 理 士			2	1	3
作 業 療 法 士				8	2	10
薬 剤 師				5	1	6
看 護 職			1	169	39	209
病 棟 技 能 職				10		10
総 数		1	40	219	50	310

## 5 施 設

### 【芹香病院】

土 地		111,978.980㎡	
建 物			
管 理 診 療 棟		鉄筋コンクリート造地下1階・地上4階建	3,529.963㎡
サ ー ビ ス 棟		鉄筋コンクリート造地下1階・地上1階建	1,733.030㎡
病 棟		鉄筋コンクリート造地下1階・地上3階建	
	A 棟	〃 (1F リハビリテーション部門、2F A2病棟、3F A3病棟)	4,225.214㎡
	B 棟	〃 (1F B1病棟、2F B2病棟、3F B3病棟)	4,219.314㎡
	C 棟	〃 (1F 看護教育部門、2F C2病棟、3F C3病棟)	4,225.214㎡
温 室		鉄骨造平屋建 (2 棟)	81.000㎡
倉 庫		軽量鉄骨造平屋建	41.400㎡
ポ ン プ 室		鉄筋コンクリート造平屋建	64.200㎡
営 繕 作 業 棟		鉄骨プレハブ造平屋建	79.570㎡
保 育 施 設		鉄筋コンクリート造平屋建	321.041㎡
喫 茶 棟		〃	91.718㎡
車 庫 棟		〃	109.395㎡
そ の 他		渡り廊下他	954.825㎡
計		13棟	19,675.884㎡

### 【せりがや病院】

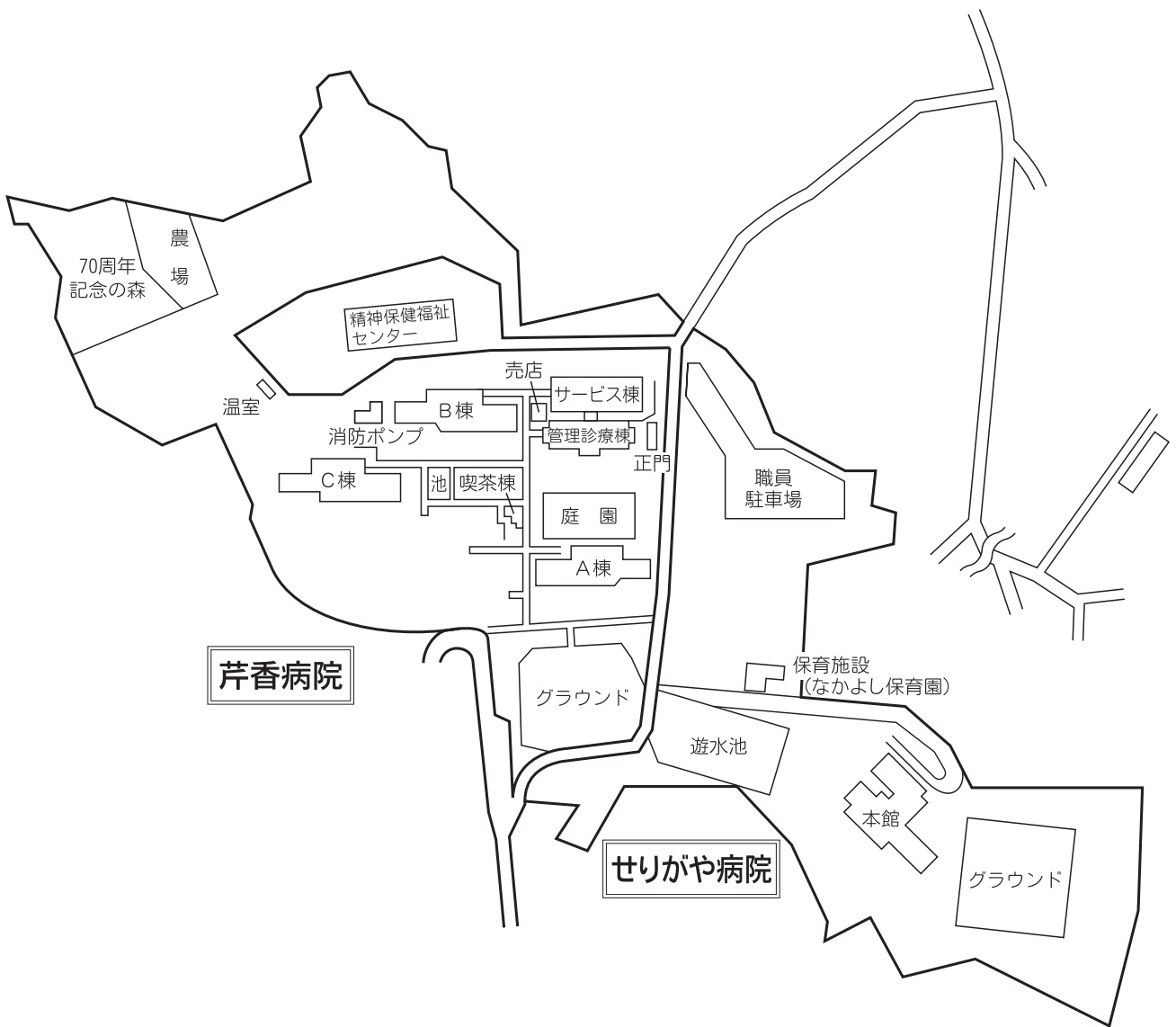
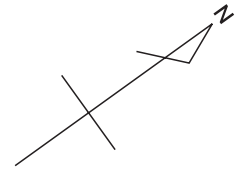
土 地		5,196.030㎡	
建 物			
本 館		鉄筋コンクリート造地上2階建	4,426.550㎡
車 庫		鉄骨造平屋建	21.490㎡
倉 庫		〃	14.330㎡
計		3 棟	4,462.370㎡

### 【精神医療センター計】

土 地		117,175.010㎡	
建 物	16棟	24,138.254㎡ (延面積)	



# 施設配置図



## 6 主な委員会・会議一覧 (H23. 4. 1 現在)

委員会・会議	目的	所管課(科)	構成員数	開催日
管理者会議	所の運営基本方針、事業計画及び予算等の重要事項の協議決定	総務課	10人	月2回(第1・第3月)
経営企画会議	両病院の経営改善の推進に必要な事項の検討	医事課	10人	月1回(第3月)
情報管理会議	両病院のカルテ、看護記録等の診療情報の管理に関する事項の検討	医事課	11人	随時
運営協議会	所の人権に配慮した医療と効率的な運営に向けた必要事項の検討	総務課	13人	年1回
倫理審査委員会	所で行う医療等に関し、倫理上の配慮が求められる事項についての検討	総務課	10人	随時
機種等選定会議	備品購入又は賃貸に係わる機種選定及び入札参加者等の適正な指名選定	経営企画課	11人	随時
教育研修会議	医療人材の教育・研修及び評価並びに、成果発表会の企画・運営	看護局	15人	隔月
運営調整会議	各病院の運営基本方針、事業計画及び予算等の重要事項の協議決定	総務課	芹香 16人 せりがや 16人	芹香 月2回(第1・第3火) せりがや 月1回(第4水)
感染防止対策会議	各病院の院内感染防止及び衛生管理対策等の検討	総務課 (医療安全推進室)	芹香 17人 せりがや 16人	芹香 月1回(第3火) せりがや 月1回(第2火)
医療事故防止対策会議	各病院の医療事故の防止体制の整備・確立及び防止対策の企画・立案等	総務課 (医療安全推進室)	芹香 17人 せりがや 16人	芹香 月1回(第1火) せりがや 月1回(第2火)
栄養・給食会議	各病院の栄養管理・食事サービス業務の効率的な運営と向上	栄養管理科	芹香 16人 せりがや 16人	芹香 年4回 せりがや 月1回(第2火)
薬事会議	各病院の医薬品の適正な管理及び効率的な運用	薬剤科	芹香 8人 せりがや 8人	芹香 年4回 せりがや 年2回
衛生委員会	各病院の職員の安全と健康の確保及び快適な作業環境の形成	総務課	芹香 9人 せりがや 10人	芹香 月1回 せりがや 月1回
看護科長会議	各病院の看護管理に関する連絡調整及び看護組織の運営改善等の協議、看護職員の資質向上の検討	看護局	芹香 12人 せりがや 4人	芹香 月2回(第1・第3水) せりがや 月2回(第1・第3水)

## 7 主な研修実績

月	研修	担当	開催日		テーマ	参加した人数	講師等
4月	新採用・転入職員研修	総務課・看護局	4月1日～5日 (3日間)			1日： 36～28人 2日： 24～10人	
7月	接遇研修	教育研修会議	7月1日	15:30～17:30	豊かな接遇マナー	56名	渡辺久美子氏 ヘルスコーチジャパン
10月	救急蘇生	教育研修会議	10月21日	17:30～19:00	救急蘇生法・AED研修	39名	がんセンター・ 循呼センター 認定看護師4名
	研究発表会 1回目	教育研修会議	10月27日	15:00～17:00	8部署発表	83名	
11月	医療事故防止 研修①	医療事故防止 対策会議	11月22日	16:30～17:30	転落転倒防止のための医療安全対策	67名	橋 敦彦氏 医事経営コンサル タント
	感染防止 研修①	感染防止対策 会議	11月5日	16:30～17:30	手洗いについて	82名	二瓶比呂志 感染管理認定看 護婦
12月	研究発表会 2回目	教育研修会議	12月1日	15:00～17:00	8部署発表	79名	
1月	衛生委員会 研修	衛生委員会	1月21日	15:30～16:30	睡眠障害への対処	57名	せりがや病院長 川副医師
2月	医療安全 フォーラム	医療事故防止 対策会議	H23年 2月8日～10日	9:30～16:15	医療事故防止研修② 感染防止研修② 薬剤の安全管理研修	芹香： 251名 せりがや： 78名	
	接遇研修	教育研修会議	2月17日	14:30～16:00	「こんな時、あなた ならどうしますか。」	31名	芹香病院看護局 代理会議委員
	研究発表会 3回目	教育研修会議	2月23日	15:00～16:45	5部署発表	72名	
	薬剤の安全と 管理の研修	医療事故防止 対策会議	2月9日～10日		医療安全とハイリ スク薬	123名	岡田影好 芹香病院薬剤科

## Ⅱ 芹香病院事務事業の状況

# 1 芹香病院基本方針

## 1 県民に信頼され親しまれる病院にいたします。

常に県民のニーズを考え、その期待に応えられるようにするとともに、心あたたかい医療を実践することで親しみのある病院づくりを行います。

## 2 神奈川県精神科中核病院として高度で専門的な医療を提供します。

進歩発展を続ける最新の医療水準を取り入れながら、精神科救急などの専門的医療を推し進めていきます。

## 3 適切で円滑な入院受入れと早期退院に努力し社会復帰を支援します。

入院の必要な患者様をスムーズに受け入れるとともに、当初より早期退院を目指して計画的な援助を行い、社会復帰や地域生活を支援します。

## 4 患者様の権利に配慮し納得してもらえる医療を心がけます。

患者様の権利について十分配慮するとともに、インフォームド・コンセントを重視し患者様とともに治療に取り組んでいきます。

## 5 医療の安全管理を徹底し安心して療養できるよう努めます。

職員の安全教育を繰り返し行うとともに、安心して療養できる環境づくりにも日頃から配慮していきます。

## 6 県立病院として健全な経営を目指します。

公共性と医療水準を維持しながら、合理的で効果的な経営のあり方を通して、健全で自立した病院経営に努力します。

## 2 経理の状況

### (1) 地方独立行政法人会計 決算状況

#### (ア) 貸借対照表

(平成23年3月31日)

【地方独立行政法人神奈川県立病院機構芹香病院】

(単位：円)

科 目	金 額	
資 産 の 部		
I 固 定 資 産		
1 有 形 固 定 資 産		
土 地		8,313,272,757
建 物	772,278,713	
減 価 償 却 累 計 額	△ 93,480,487	678,798,226
構 築 物	30,240,149	
減 価 償 却 累 計 額	△ 2,554,198	27,685,951
器 械 備 品	226,688,207	
減 価 償 却 累 計 額	△ 47,749,708	178,938,499
車 両	643,729	
減 価 償 却 累 計 額	△ 202,135	441,594
放 射 性 同 位 元 素	0	
減 価 償 却 累 計 額	0	0
建 設 仮 勘 定		74,850,002
有 形 固 定 資 産 合 計		9,273,987,029
2 無 形 固 定 資 産		
ソ フ ト ウ ェ ア		0
電 話 加 入 権		14,000
そ の 他		0
無 形 固 定 資 産 合 計		14,000
3 投 資 そ の 他 の 資 産		
長 期 前 払 消 費 税 等		32,839,681
破 産 更 生 債 権 等	11,739,543	
貸 倒 引 当 金	△ 11,739,543	0
そ の 他		832,000
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計		33,671,681
固 定 資 産 合 計		9,307,672,710
II 流 動 資 産		
現 金 及 び 預 金		306,147,502
未 収 金	352,429,796	
貸 倒 引 当 金	△ 5,793,824	346,635,972
た な 卸 資 産		19,951,088
前 払 費 用		0
流 動 資 産 合 計		672,734,562
資 産 合 計		9,980,407,272

## (ア) 貸借対照表

(平成23年3月31日)

【地方独立行政法人神奈川県立病院機構芹香病院】

(単位：円)

科 目	金 額		
<b>負 債 の 部</b>			
<b>I 固 定 負 債</b>			
資 産 見 返 負 債			
資 産 見 返 寄 附 金	0		
資 産 見 返 物 品 受 贈 額	420,981,262		
建設仮勘定見返運営費負担金	7,685,715		
建設仮勘定見返補助金等	49,659,429	478,326,406	
長 期 借 入 金		10,800,000	
移行前地方債償還債務		16,100,000	
引 当 金			
退 職 給 付 引 当 金	2,260,649,279	2,260,649,279	
リ ー ス 債 務		77,564,235	
<b>固 定 負 債 合 計</b>			2,843,439,920
<b>II 流 動 負 債</b>			
寄 附 金 債 務		0	
一年以内返済予定移行前地方債償還債務		13,225,000	
未 払 金		160,845,836	
一年以内支払予定リース債務		29,383,644	
未 払 費 用		123,574,075	
未 払 消 費 税 等		0	
前 受 金		0	
引 当 金		11,388,422	
賞 与 引 当 金	160,721,859	160,721,859	
<b>流 動 負 債 合 計</b>			499,138,836
<b>負 債 合 計</b>			3,342,578,756
<b>純 資 産 の 部</b>			
<b>I 資 本 金</b>			
設 立 団 体 出 資 金		6,720,789,028	
<b>資 本 金 合 計</b>			6,720,789,028
<b>II 利 益 剰 余 金</b>			
当 期 未 処 理 損 失		△ 82,960,512	
(うち当期総損失)		(82,960,512)	
<b>利 益 剰 余 金 合 計</b>			△ 82,960,512
<b>純 資 産 合 計</b>			6,637,828,516
<b>負 債 純 資 産 合 計</b>			9,980,407,272





### 3 業務実績

#### (1) 各種指標

項目	計算方式	単位	平成22年度	平成21年度	対前年度比(%)	備考
病床数		床	308 (308)	445 (308)	69.2 (93.8)	
取扱患者数		人	122,207	125,932	97.0	
入院患者		人	84,081	86,179	97.6	
外来患者		人	38,126	39,753	95.9	
1日平均取扱患者数		人	360.1	400.4	89.9	
入院患者	取扱入院患者数/年間日数 365日	人	230.4	236.1	97.6	
外来患者	取扱外来患者数/年間外来診療日数	人	156.9	164.3	95.5	
病床利用率	取扱入院患者数/延病床数×100	%	74.8 (74.8)	53.1 (76.7)	140.9 (97.5)	
平均在院日数	入院延患者数/(入院患者数+退院患者数)×0.5	日	122.6	126.1	97.2	
入院外来患者比率	取扱外来患者数/取扱入院患者数×100-100	%	45.3	46.1	98.3	
医師・看護師1人当たりの取扱患者数						
医師	取扱患者数/医師延人数	人	17.6	19.2	91.7	
看護師	取扱患者数/看護師延人数	人	1.9	2.3	82.6	
職員数		人	262	252	104.0	期末人数
医師		人	19	18	105.6	期末人数
看護師		人	180	150	120.0	期末人数
その他職員		人	63	84	75.0	期末人数
病床100床当たりの職員数	全職員数/病床数×100	人	85.1	62.1	137.0	
医師	職員数/病床数×100	人	6.2	4.4	140.9	
看護師	職員数/病床数×100	人	58.4	36.9	158.3	
その他職員	職員数/病床数×100	人	20.5	20.7	99.0	
患者1人当たりの収益	医業収益/取扱患者数	円	17,418	16,277	107.0	
入院患者	入院収益/入院患者数	円	18,619	17,519	106.3	
外来患者	外来収益/外来患者数	円	14,214	13,182	107.8	
医師・看護師1人1日当たりの収益						
医師	医業収益/医師延人数	円	306,949	312,002	98.4	
看護師	医業収益/看護師延人数	円	32,700	37,440	86.5	
患者1人1日当たりの費用	医業費用/取扱患者数	円	29,215	30,141	96.9	
患者1人当たりの薬品費	薬品費/取扱患者数	円	3,075	2,725	111.6	
患者1人当たりの給食材料費	給食材料費/取扱入院患者数	円	878	873	100.6	
医業収益に対する費用比率	医業費用/医業収益×100	%	168.0	185.2	90.7	
給与費	給与費/医業収益×100	%	116.6	136.4	85.5	
材料費	材料費/医業収益×100	%	21.8	21.2	102.8	
経費	経費/医業収益×100	%	22.1	24.0	92.1	

(注) 医師、看護師の延人数は、期末の在籍人数に365日(平成21・20年度共)を乗じ算出した

(注) 「病床数」欄の( )内は稼働病床数を示す

(注) 「病床利用率」欄の( )内は稼働病床数の病床利用率を示す

## 4 患者の状況

### (1) 外来患者の状況

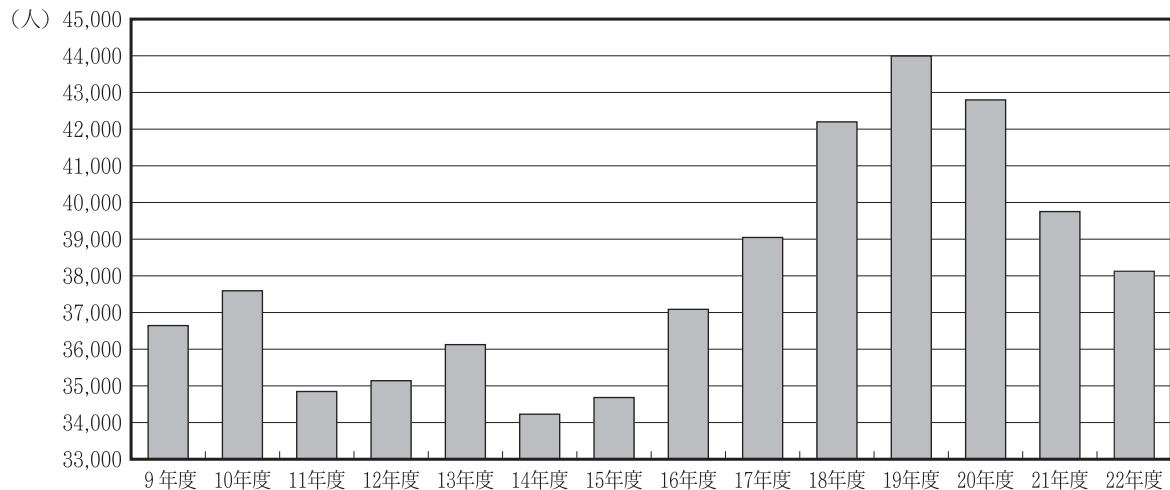
延患者数では1,627人減で対前年度比4.1%減となっている。また、新患については11人減の対前年度比1.4%減となっている。新外来患者数の病類別は、統合失調症が前年度に比べ6.3ポイント減で、全体の39.3%を占めている。

#### ア 月別外来患者数

年度	月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		22	新患	83	77	71	79	54	63	56	62	60	91	39
再来	3,299		2,869	3,179	3,248	3,173	3,047	3,179	3,117	3,065	2,915	2,905	3,340	37,336
延患者数	3,382		2,946	3,250	3,327	3,227	3,110	3,235	3,179	3,125	3,006	2,944	3,395	38,126
一日平均	161.0		163.7	147.7	158.4	146.7	155.5	161.8	159.0	164.5	158.2	154.9	154.3	156.9
21	新患	62	74	62	76	60	78	74	57	64	62	52	80	801
	再来	3,611	3,153	3,450	3,612	3,232	3,336	3,431	2,966	2,965	2,942	2,841	3,413	38,952
	延患者数	3,673	3,227	3,512	3,688	3,292	3,414	3,505	3,023	3,029	3,004	2,893	3,493	39,753
	一日平均	174.9	179.3	159.6	167.6	156.8	179.7	166.9	159.1	159.4	158.1	152.3	158.8	164.3

(注) 精神科のほか、内科・歯科受診者を含む

#### イ 外来患者数の年次推移状況



#### ウ 病類別新外来患者数

年度	病類(ICD) 区分	脳器質性精神障害 (F0)		中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計
		老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害			心因反応	その他神経症性障害						
22	男	1	7	10	3	2	127	131		34	1	1	2		8	327
	女	1	13	4		1	118	98		45	1	9	4		1	295
	計	2	20	14	3	3	245	229		79	2	10	6		9	622
	構成比	0.3	3.2	2.5	0.5	0.5	39.3	36.8		12.7	0.3	1.6	0.9		1.4	100.0
21	男	4	11	8	4	3	173	119		27		3	1		5	358
	女	9	6		1	1	137	101		44	2	14	3		2	320
	計	13	17	8	5	4	310	220		71	2	17	4		7	678
	構成比	2.1	2.5	1.2	0.7	0.6	45.6	32.3		10.6	0.3	2.5	0.6		1.0	100.0

(注) 新外来患者とは、精神科初診患者と6ヵ月以上通院していない再初診患者のこと

エ 年齢別新外来患者数

年度	区分	年齢							計
		19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	
22	男	9	45	79	97	42	26	29	327
	女	10	40	87	62	43	25	28	295
	計	19	85	166	159	85	51	57	622
	構成比	3.1	13.6	26.7	25.6	13.6	8.2	9.2	100.0
21	男	13	46	100	91	58	31	19	358
	女	11	63	92	58	33	31	32	320
	計	24	109	192	149	91	62	51	678
	構成比	3.5	16.1	28.5	21.8	13.3	9.1	7.7	100.0

オ 地域別実外来患者数

居住地域	年度		居住地域	年度		居住地域	年度				
	22	21		22	21		22	21			
横浜市	2,314	2,360	横須賀市	75	76	足柄上郡	3	3			
	鶴見区	39		43	平塚市		12	10	中井町	0	1
	神奈川区	62		75	鎌倉市		48	39	大井町	1	2
	西区	72		69	藤沢市		54	50	松田町	0	0
	中区	86		86	小田原市		14	8	山北町	0	0
	南区	436		445	茅ヶ崎市		19	12	開成町	2	0
	港南区	461		468	逗子市	14	18	足柄下郡	4	2	
	保土ヶ谷区	158		169	相模原市	6	18	箱根町	2	1	
	旭区	84		81	三浦市	15	14	真鶴町	1	0	
	磯子区	180		183	秦野市	6	6	湯河原町	1	1	
	金沢区	119		121	厚木市	12	11	県内計	2,706	2,752	
	港北区	39		32	大和市	16	13	東京都	24	28	
	緑区	24		30	伊勢原市	4	2	埼玉県	5	4	
	戸塚区	309		323	海老名市	7	11	千葉県	8	4	
	瀬谷区	32		30	座間市	4	6	群馬県	0	1	
	栄区	90		96	南足柄市	3	3	栃木県	0	0	
	泉区	82		78	綾瀬市	4	10	山梨県	1	0	
	青葉区	22		16	三浦郡葉山町	2	0	静岡県	4	5	
	都筑区	19		15	高座郡寒川町	2	3	茨城県	1	2	
川崎市	60	71	愛甲郡	2	0	その他の県	26	22			
	川崎区	18		18	愛川町	2	0	県外計	69	66	
	幸区	6	6	清川村	0	0	住所不明	0	0		
	中原区	12	13	中郡	6	6	計	2,775	2,818		
	高津区	6	12		大磯町	5	5				
	宮前区	6	7		二宮町	1	1				
	多摩区	8	6								
麻生区	4	9									

(注) 新患・再来を含め、同一患者について一人としてカウントした数

## (2) 入院患者の状況

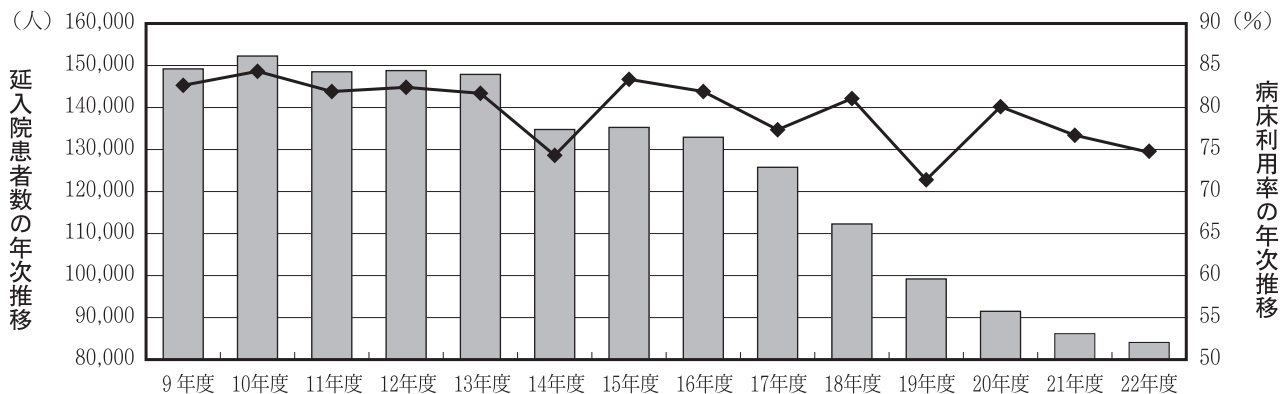
平成22年度は、延患者数84,081人で前年度と比べ2,098人減で対前年度比2.4%減となっている。病床利用率は74.8%で対前年度比1.9ポイントの減となっている。入院患者は前年度に比べ0.4%減となっている。病類別は統合失調症が最も多く40.8%を占めているが、新入院患者では気分障害が全体の39.7%で前年度に比べ3.1ポイント増え、統合失調症に次ぎ大きなウェイトを占める。これは平成20年4月からうつ病対策としてストレスケア病棟を開棟したことによるものである。入院形態は任意入院の構成比が対前年度比3.3ポイント増、医療保護入院が4.3ポイント減、措置入院が2.3ポイント増、鑑定入院は0.3ポイント増となっている。臨床研究入院は4.0ポイントと増加している。

### ア 月別入院患者数

年度	区分	月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
22	入院	69	61	75	63	67	55	59	52	43	42	39	49	674
	退院	65	56	73	72	59	75	45	58	51	37	55	52	698
	延患者数	7,065	7,338	7,114	7,352	7,407	7,023	7,202	6,974	6,995	7,036	6,044	6,531	84,081
	病床利用率	76.5	76.9	77.0	77.0	77.6	76.0	75.4	75.5	73.3	73.7	70.1	68.4	74.8
21	入院	43	58	71	63	69	53	70	35	47	51	56	61	677
	退院	54	53	62	64	76	60	58	60	45	44	43	71	690
	延患者数	7,195	7,289	7,165	7,711	7,797	7,084	7,196	6,918	6,689	7,083	6,624	7,428	86,179
	病床利用率	77.9	76.3	77.5	80.8	81.7	76.7	75.4	74.9	70.1	74.2	76.8	77.8	76.7

(注) 月別に新たに入院した数

### イ 延入院患者数及び病床利用率の年次推移状況



### ウ 病類別新入院患者数

年度	区分	脳器質性精神障害 (F0)		中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計
		老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害			心因反応	その他神経症性障害						
22	男	3	5	5	1	4	76	82	12	0	1	1	5	195		
	女	2	3	1	1	1	76	66	19	1	3	3	2	178		
	計	5	8	6	2	5	152	148	31	1	4	4	7	373		
	構成比	1.3	2.1	1.6	0.5	1.3	40.8	39.7	8.3	0.3	1.1	1.1	1.9	100.0		
21	男	1	9	3	3	4	94	84	8	1	2	2	6	217		
	女	3	4		1	1	70	57	19	2	7	2	2	168		
	計	4	13	3	4	5	164	141	27	3	9	4	8	385		
	構成比	1.0	3.4	0.8	1.0	1.3	42.6	36.6	7.0	0.8	2.4	1.0	2.1	100.0		

(注) 新入院患者とは、当病院に初めて入院した患者のこと

エ 病類別・年齢別実入院患者数

年度	病類(ICD)		脳器質性精神障害 (F0)		中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計	年齢構成比	
	年齢	区分	老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害			心因反応	その他神経症性障害								
																			男
22	19歳以下	男						1			2					2	5	2.3	
		女						7			7			1		1	16		
		小計						8			9			1		3	21		
	20～29歳	男					1	33	7		3		1				3	48	9.9
		女				1	2	21	7		4		3	2		1	41		
		小計				1	3	54	14		7		4	2		4	89		
	30～39歳	男		2	1	4	2	77	18		1				2		4	111	22.9
		女		1		2	3	53	22		9	1	2	2			95		
		小計		3	1	6	5	130	40		10	1	2	4		4	206		
	40～49歳	男		4	1	1	1	73	49		6						1	136	25.4
		女		2	1		1	48	27		11		2	1			93		
		小計		6	2	1	2	121	76		17		2	1		1	229		
	50～59歳	男		3		1	3	53	24		2							86	18.4
		女						53	23		3					1	80		
		小計		3		1	3	106	47		5					1	166		
60～69歳	男	1	7	3			45	16		1							73	14.8	
	女	1	2				37	17		3							60		
	小計	2	9	3			82	33		4							133		
70歳以上	男	3		1			14	10						1			29	6.3	
	女	5	3				7	12		1							28		
	小計	8	3	1			21	22		1				1			57		
計	男	4	16	6	6	7	296	124		15		1	3		10	488	100.0		
	女	6	8	1	3	6	226	108		38	1	7	6		3	413			
	計	10	24	7	9	13	522	232		53	1	8	9		13	901			
	構成比	1.1	2.7	0.8	1.0	1.4	57.9	25.8		5.9	0.1	0.9	1.0		1.4	100.0			
21	19歳以下	男						3	1		2					4	10	2.3	
		女						5	1		3		1	1			11		
		小計						8	2		5		1	1		4	21		
	20～29歳	男					3	33	7				1	2	1	1	48	13.0	
		女		1		1	1	33	15		9	2	7	2			71		
		小計		1		1	4	66	22		9	2	8	4	1	1	119		
	30～39歳	男		2	1	1	2	69	33		4		3	3		4	122	23.7	
		女		2		1	1	57	15		11	1	4	1		2	95		
		小計		4	1	2	3	126	48		15	1	7	4		6	217		
	40～49歳	男		5		3		69	41		4	1		1			124	22.1	
		女		1				56	17		1		4				79		
		小計		6		3		125	58		5	1	4	1			203		
	50～59歳	男		3	1			73	18		1			1			97	18.1	
		女		2			1	41	21		4						69		
		小計		5	1		1	114	39		5			1			166		
60～69歳	男		4			1	39	19					1	2		66	13.2		
	女	1	1				33	17		3						55			
	小計	1	5			1	72	36		3			1	2		121			
70歳以上	男	6	2	1			15	9						1			34	7.6	
	女	6	2				7	18		2		1					36		
	小計	12	4	1			22	27		2		1	1				70		
計	男	6	16	3	4	6	301	128		11	1	4	9	3	9	501	100.0		
	女	7	9		2	3	232	104		33	3	17	4		2	416			
	計	13	25	3	6	9	533	232		44	4	21	13	3	11	917			
	構成比	1.4	2.7	0.3	0.7	1.0	58.1	25.3		4.8	0.4	2.3	1.4	0.3	1.3	100.0			

(注) 実入院患者数とは、前年度末に在院していた患者数に、当年度に新たに入院した患者数を足した数

オ 地域別実入院患者数

居住地域	年度		居住地域	年度		居住地域	年度			
	22	21		22	21		22	21		
横浜市	649	646	横須賀市	26	19	足柄上郡	2	3		
	鶴見区	11	15	平塚市	13		9	中井町	0	1
	神奈川区	19	24	鎌倉市	17		18	大井町	1	2
	西区	21	20	藤沢市	31		29	松田町	0	0
	中区	27	20	小田原市	12		4	山北町	1	0
	南区	116	116	茅ヶ崎市	17	11	開成町	0	0	
	港南区	115	115	逗子市	7	4	足柄下郡	3	2	
	保土ヶ谷区	49	47	相模原市	12	13	箱根町	2	0	
	旭区	25	31	三浦市	5	6	真鶴町	1	0	
	磯子区	37	45	秦野市	5	7	湯河原町	0	2	
	金沢区	37	33	厚木市	9	8	県内計	874	868	
	港北区	22	14	大和市	9	10	東京都	9	12	
	緑区	13	12	伊勢原市	3	1	埼玉県	3	1	
	戸塚区	86	76	海老名市	5	9	千葉県	3	3	
	瀬谷区	14	16	座間市	1	5	茨城県	0	0	
	栄区	18	29	南足柄市	1	1	群馬県	0	0	
	泉区	25	23	綾瀬市	2	4	栃木県	0	0	
	青葉区	10	6	三浦郡葉山町	1	0	静岡県	3	2	
	都筑区	4	4	高座郡寒川町	2	5	その他の県	4	33	
	川崎市	35	51	愛甲郡	3	0	県外計	22	51	
川崎区		12	14	愛川町	3	0	住所不明	5	0	
幸区		6	5	清川村	0	0	計	901	919	
中原区		4	5	中郡	4	3				
高津区		2	8	大磯町	3	2				
宮前区		5	11	二宮町	1	1				
多摩区		5	2							
麻生区		1	6							

カ 入院費負担区分別患者数（平成23年3月現在在院患者一覧表）

年度	負担区分	健康保険法		国民健康 保険法	生活 保護法	精神保健 福祉法	感染症法 (第37条)	自費	その他	計
		本人	家族							
22	男	6	9	85	20	8		1	3	132
	女		7	47	12	4		1		71
	計	6	16	132	32	12		2	3	203
	構成比	2.9	7.9	65.0	15.8	5.9		1.0	1.5	100.0
21	男	6	12	93	24	2			4	141
	女		18	51	15	2				86
	計	6	30	144	39	4			4	227
	構成比	2.6	13.2	63.4	17.2	1.8			1.8	100.0

(注) 本表のその他とは、「臨床研究入院」「医療観察法」等の患者が含まれる

キ 入院形態別患者数

年度	形態	月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
			22	任意	男	11	14	18	13	12	13	10	10	6	6
		女	22	9	19	10	17	13	19	12	8	11	8	5	153
		小計	33	23	37	23	29	26	29	22	14	17	18	14	285
		構成比	47.9	37.7	49.4	36.5	43.3	47.3	49.2	42.3	32.6	40.5	46.2	28.6	42.3
	医療保護	男	9	13	11	7	10	13	10	9	11	9	9	11	122
		女	11	15	17	17	15	8	6	9	10	6	3	8	125
		小計	20	28	28	24	25	21	16	18	21	15	12	19	247
		構成比	29.0	45.9	37.3	38.1	37.3	38.2	27.1	34.6	48.8	35.7	30.8	38.8	36.6
	措置	男	9	5	4	8	5	7	5	6	4	5	4	9	71
		女	5	3	3	3	3	1	5	4	3	1	3	6	40
		小計	14	8	7	11	8	8	10	10	7	6	7	15	111
		構成比	20.3	13.1	9.3	17.5	11.9	14.5	16.9	19.2	16.3	14.3	17.9	30.6	16.5
	鑑定	男					1		1				1		3
		女	1												1
		小計	1				1		1			1			4
		構成比	1.4				1.5		1.7			2.4			0.6
	医観法 特例措置	男													
		女													
		小計													
		構成比													
	医観法 入院処遇	男													
		女													
		小計													
		構成比													
	臨床研究	男	1	1	2	3	3		1	1	1	3	2	1	19
		女		1	1	2	1		2	1					8
		小計	1	2	3	5	4		3	2	1	3	2	1	27
		構成比	1.4	3.3	4.0	7.9	6.0		5.1	3.9	2.3	7.1	5.1	2.0	4.0
	計	男	30	33	35	31	31	33	27	26	22	24	25	30	347
		女	39	28	40	32	36	22	32	26	21	18	14	19	327
		計	69	61	75	63	67	55	59	52	43	42	39	49	674
	任意	男	10	6	13	14	9	12	6	7	7	15	8	15	122
		女	11	13	21	10	16	7	21	6	4	9	15	9	142
		小計	21	19	34	24	25	19	27	13	11	24	23	24	264
		構成比	48.8	32.8	47.9	38.1	36.2	35.8	38.5	37.1	23.4	47.1	41.0	39.3	39.0
	医療保護	男	12	11	19	13	13	11	13	5	10	7	15	7	136
		女	9	14	8	10	19	9	13	6	19	10	9	15	141
		小計	21	25	27	23	32	20	26	11	29	17	24	22	277
		構成比	48.8	43.1	38.0	36.5	50.8	37.7	37.1	31.4	61.7	33.3	42.9	36.1	40.9
	措置	男		7	4	6	7	8	11	8	3	4	7	4	69
		女		2	1	7	1	3	2	2	4	2	1	3	28
		小計		9	5	13	8	11	13	10	7	6	8	7	97
		構成比		15.5	7.1	20.6	11.6	20.8	18.6	28.6	14.9	11.8	14.3	11.5	14.3
	鑑定	男		1	1			1				2			5
		女				1									1
		小計		1	1	1		1				2			6
		構成比		1.7	1.4	1.6		1.9				3.9			0.9
	医観法 特例措置	男							1						1
		女							1						1
		小計							2						2
		構成比							2.9						0.3
	医観法 入院処遇	男												2	2
		女													
		小計													
		構成比												3.3	0.3
	臨床研究	男		3	1	2	3		2	1		2		5	19
		女	1	1	3		1	2					1	1	10
		小計	1	4	4	2	4	2	2	1		2	1	6	29
		構成比	2.4	6.9	5.6	3.2	5.8	3.8	2.9	2.9		3.9	1.8	9.8	4.3
	計	男	22	28	38	35	32	32	33	21	20	30	30	33	354
		女	21	30	33	28	37	21	37	14	27	21	26	28	323
		計	43	58	71	63	69	53	70	35	47	51	56	61	677

ク 病類別・在院期間別在院患者数

年度	病類(ICD)		脳器質性精神障害 (F0)		中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計	構成比	
	期間	区分	老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害			心因反応	その他神経症性障害								
																			男
22	1年未満	男		1	2	1		41	15		1					2	63	48.8	
		女		1			2	22	8					1			2		36
		小計		2	2	1	2	63	23		1			1		4	99		
	1～2年	男		2					20									22	16.7
		女							12									12	
		小計		2					32									34	
	3～4年	男							8	1								9	8.4
		女							8									8	
		小計							16	1								17	
	5～9年	男							12	1								13	11.8
		女							11									11	
		小計							23	1								24	
	10～19年	男							16									16	9.8
		女							4									4	
小計								20									20		
20～29年	男							6									6	3.0	
	女																		
	小計							6									6		
30年以上	男							3									3	1.5	
	女																		
	小計							3									3		
計	男		3	2	1			106	17		1					2	132	100.0	
	女		1			2		57	8					1		2	71		
	小計		4	2	1	2		163	25		1			1		4	203		
	構成比		2.0	1.0	0.5	1.0		80.2	12.3		0.5				0.5		2.0		100.0
21	1年未満	男	1	5	1	2	1	43	12		1					2	68	52.0	
		女		1			2		31	12		4							50
		小計	1	6	1	2	3		74	24		5				2	118		
	1～2年	男		1					19	1					1			22	15.4
		女		1	2				10									13	
		小計		1	3				29	1					1			35	
	3～4年	男							11									11	9.3
		女							10									10	
		小計							21									21	
	5～9年	男							15	1								16	10.6
		女							8									8	
		小計							23	1								24	
	10～19年	男							16									16	8.8
		女							4									4	
小計								20									20		
20～29年	男							6									6	2.6	
	女																0		
	小計							6									6		
30年以上	男							2									2	1.3	
	女							1									1		
	小計							3									3		
計	男	1	6	1	2	1		112	14		1			1		2	141	100.0	
	女	1	3			2		64	12		4						86		
	小計	2	9	1	2	3		176	26		5			1		2	227		
	構成比	0.9	4.0	0.4	0.9	1.3		77.6	11.5		2.2				0.4		0.9		100.0



ケ 病類別・転帰別退院患者数

年度	転帰	区分	病類(ICD)		脳器質性精神障害 (F0)			中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計	構成比		
			老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害	心因反応	その他神経症性障害														
22	全快	男																					
		女																					
		小計																					
	軽快	男	5	8	5	4	2	126	71		11			2	3				8	245	74.3		
		女	3	6	1	3	2	127	66		50			8	3				5	274			
		小計	8	14	6	7	4	253	137		61			10	6				13	519			
	未治	男						6	4											1	11	3.2	
		女					1		7		1			2						1	11		
		小計					1		6		1			2						1	22		
	転医	男	1	4	1	2	2	57	5		1			1						1	75	17.3	
		女	1	2		1		33	4		2			1	2						46		
		小計	2	6	1	3	2	90	9		3			2	2					1	121		
	死亡	男						2													2	0.6	
		女	1					1													2		
		小計	1					3													4		
鑑定了	男			1			3													4	0.7		
	女						1													1			
	小計			1			4													5			
医観法入院処遇終了	男																						
	女																						
	小計																						
臨研終了	男							19												19	3.9		
	女							8												8			
	小計							27												27			
計	男	6	12	7	6	4	194	99		12			3	3				10	356	100.0			
	女	5	8	1	4	3	162	85		53			11	5				5	342				
	小計	11	20	8	10	7	356	184		65			14	8				15	698				
	構成比	1.6	2.9	1.1	1.4	1.0	51.0	26.4		9.3			2.0	1.1				2.2	100.0				
21	全快	男																					
		女																					
		小計																					
	軽快	男	4	3	5	2	3	108	72		13			3	5			1	10	229	68.9		
		女	5	3	1		1	123	61		32		1	15	2				2	246			
		小計	9	6	6	2	4	231	133		45		1	18	7			1	12	475			
	未治	男			1	1		6	6		3			1	1						19	5.5	
		女	1	1	1			4	7		1			4							19		
		小計	1	1	2	1		10	13		4			5	1						38		
	転医	男	3	5	3	1	2	58	10		1			1	3					1	88	20.1	
		女	1	1				36	4		4		1	1	2					1	51		
		小計	4	6	3	1	2	94	14		5		1	2	5					2	139		
	死亡	男						1													1	0.3	
		女		1																	1		
		小計		1				1													2		
鑑定了	男						3						1							4	0.7		
	女						1													1			
	小計						4						1							5			
医観法入院処遇終了	男						1													1	0.3		
	女						1													1			
	小計						2													2			
臨研終了	男							19												19	4.2		
	女							10												10			
	小計							29												29			
計	男	7	8	9	4	5	177	107		17			6	9			1	11	361	100.0			
	女	7	6	2		1	165	82		37		2	20	4				3	329				
	小計	14	14	11	4	6	342	189		54		2	26	13			1	14	690				
	構成比	2.0	2.0	1.6	0.6	0.9	49.6	27.4		7.8		0.3	3.8	1.9			0.1	2.0	100.0				

コ 病類別・在院期間別退院患者数（22年度）

期間	区分	脳器質性精神障害 (F0)		中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計	構成比
		老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害			心因反応	その他神経症性障害							
1年未満	男	6	12	7	5	4	174	99		12		2	3		10	334	95.3
	女	3	8	1	4	3	153	85		53		11	5		5	331	
	小計	9	20	8	9	7	327	184		65		13	8		15	665	
1～2年	男				1		7					1				9	2.3
	女	1					6								7		
	小計	1			1		13					1			16		
3～4年	男						7								7	1.4	
	女	1					2							3			
	小計	1					9							10			
5～9年	男						4								4	0.6	
	女																
	小計						4								4		
10～19年	男						2								2	0.3	
	女																
	小計						2								2		
20～29年	男																
	女																
	小計																
30年以上	男															0.1	
	女						1								1		
	小計						1								1		
計	男	6	12	7	6	4	194	99		12		3	3		10	356	100.0
	女	5	8	1	4	3	162	85		53		11	5		5	342	
	計	11	20	8	10	7	356	184		65		14	8		15	698	
	構成比	1.6	2.9	1.1	1.4	1.0	51.0	26.4		9.3		2.0	1.1		2.2	100.0	

(3) 救急医療の状況

年度	区分	月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
22	取扱件数	(16) 25	(12) 19	(11) 30	(12) 18	(9) 20	(9) 23	(12) 20	(10) 19	(9) 22	(7) 13	(8) 12	(15) 26	(130) 247
	入院	(13) 17	(10) 13	(7) 17	(11) 15	(9) 17	(8) 14	(10) 13	(10) 14	(7) 14	(6) 9	(7) 10	(15) 18	(113) 171
	外来処置	(3) 8	(2) 6	(4) 13	(1) 3	(0) 3	(1) 9	(2) 7	(0) 5	(2) 8	(1) 4	(1) 2	(0) 8	(17) 76
21	取扱件数	(5) 15	(14) 29	(8) 24	(15) 28	(11) 29	(16) 31	(12) 23	(12) 26	(10) 33	(11) 21	(8) 17	(10) 19	(132) 295
	入院	(2) 8	(11) 21	(6) 14	(13) 19	(8) 18	(12) 22	(11) 17	(11) 17	(7) 15	(7) 11	(8) 13	(8) 14	(104) 189
	外来処置	(3) 7	(3) 8	(2) 10	(2) 9	(3) 11	(4) 9	(1) 6	(1) 9	(3) 18	(4) 10	(0) 4	(2) 5	(28) 106

(注) ( ) は、精神保健診察件数で内数

## 5 業務の状況

### (1) 看護

#### ア 看護局の概要

病棟機能と看護職員配置は表(ア)のとおりである。

22年度の看護局方針・看護局目標は以下を掲げ達成に向けて取り組んだ。

##### <看護局理念>

私たちは患者さんの尊厳と人権を尊重し、最善の利益を考えた看護を提供します。

##### <看護局方針>

患者さんの自己決定・自立を支援し患者さんと共に可能性にチャレンジします。

##### <看護局目標>

- 1 私たちは、患者さんの尊厳と人権を尊重し、安全で安心な看護をめざします。
  - (1) 患者さんの人権を尊重した関わりを推進します。
  - (2) 安全で安楽な療養環境を整えます。
    - ア 安全で安心な療養環境を整え、患者さんと共に事故防止に努めます。
    - イ 根拠に基づいた感染防止対策を実施します。
- 2 私たちは、誇りと魅力を感じられる看護師をめざします。
  - (1) 『笑顔とあいさつを大切に！』のスローガンで、こころあたたかなコミュニケーションづくりを行います。
  - (2) 一人ひとりのキャリア形成を支援します。
- 3 私たちは、患者さんの社会復帰と地域での生活を支援します。
  - (1) 入院時から地域への復帰に向けて働きかけます。
  - (2) 地域との連携を図りチーム医療を推進します。
- 4 私たちは、効率性・経済性を考えた看護を提供します。
  - (1) 入退院・転出転入をスムーズにし、効果・効率的な病床運用に参画します。
  - (2) 行動制限最小化を推進し、保護室・個室の回転をよくするために継続的に取り組みます。
  - (3) 各セクションで5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）を実行し、職場環境を整えます。

##### <看護目標の評価>

- 1 患者さんの尊厳と人権を尊重し、安全な看護をめざします
  - 1) 患者さんの人権を尊重した関わりとして、患者参加型カンファレンスの推進を図った。

実施状況はA3病棟50%、その他は患者に応じて必要時実施できた。B1・B2病棟では患者・多職種を含めたカンファレンスの実施ができ、定着化しつつある。カンファレンスに参加した患者は自分で決めたルールは継続実施でき、患者の個別性を考慮した看護の提供に繋げることができた。
  - 2) 安全推進室とともに下記の取り組みをした。
    - ① 「転倒・転落」「誤飲・窒息」等アセスメントシートを見直し、活用できるよう検討した。当病院に多い転倒転落事故をテーマとした講演会を実施し67名参加した。また与薬ラウンドを行い、手順の実際について確認した。

事故報告件数（4月～12月集計）は、平成21年度459件が22年度365件に減少した。レベル3のアクシデント件数は前年より1件減少し13件であった。レベル4・5は0件。事故報告全体の約3割が薬剤に関するもので、

レベル3の事故内容の3割は、転倒・転落が占めていた。

- ② 根拠に基づいた感染防止対策として、手洗いの学習会を実施し、参加者82名であった。欠席者にはDVDで啓蒙を行った。ICTラウンドで環境・手洗い・感染予防策についてチェックし、全体的に療養環境が整えられていた。

## 2 誇りと魅力を感じられる看護師をめざします

- 1) 職員満足度調査から、看護師の状況を見ると「仕事にやりがいを感じている70%」「仕事は自分に合っている73%」「自分の能力が発揮できている69%」「周囲から肯定的な評価を受けている73%」「この病院で仕事を続けたい69%」「自由に提案でき、反映される職場68%」「必要な研修に自主的に参加している74%」「病院の理念・使命・目標を考えながら仕事をしている71%」「信頼できる先輩・上司はいるか78%」の結果が得られた。これらの結果から約7割の看護師は、仕事にやりがいや魅力を感じている。また、「仕事に対する個人目標を持っている80%」「自分にはレベルアップが必要90%」から、目標達成にむけたモチベーションが感じられた。
- 2) 集合研修ではステップと研修をリンクさせ、ステップに応じた今年度研修受講者はのべ186名であった。分散教育では、勉強会や看護を語る会などに取り組み、能力の向上や互いの看護に対する共感や達成感が得られるような企画をし、魅力を感じられる看護師を目指すことに繋がられていた。

ステップ未認定者が約1/3であり、また人材育成のための制度が整備されていると思うかに56%がそう思うと答えており、キャリアの支援システムが理解されていない。次年度周知に向けた取り組みを行う。

## 3 患者さんの社会復帰と地域での生活を支援します

- 1) 入院時から地域への社会復帰に向けて、看護計画を立案し、多職種を含めたカンファレンスを実施した取り組みができた。外来では、退院前病棟訪問51名で、「退院前に来てくれるんだ」と安心感に繋がり、地域に向けての継続看護に役立てることができた。地域との連携を図りチーム医療を推進し、次の3点に成果があった。
  - ① 在宅移行率は救急病棟60%以上、急性期病棟80%以上であり、目標を達成した。
  - ② 外来の訪問は、1回の訪問で2件以上訪問ができるよう調整し、568件（4-12月）と増加した。
  - ③ 医療観察病棟では、多職種チームによる治療評価会議を毎週開催し、回復期から社会復帰へ移行することができた。

## 4 効率性・経済性を考えた看護を提供します

- 1) 地域医療相談室、医師などと協働した効果的なベッドコントロール  
病床運用会議で毎月の病床利用率の提示、毎週ベッドコントロール会議で効率的な運用ができるよう病棟間の調整を行った。22年度の目標病床利用率は83%であり、12月現在76.1%であり目標達成できていない。セクション毎の目標率は、救急病棟のみ目標を達成することができた。
- 2) 各セクションの機能に応じた行動制限最小化への取り組み  
毎月行動制限最小化会議の実施、各セクションにおいて毎週カンファレンスにて検討をした。開放観察の時間を拡大するなどの取り組みの結果、隔離・拘束患者の減少、期間の短縮が図られた。
- 3) 各セクションで5S（整理、整頓、清掃、清潔、習慣化）を実行し、職場環境を整えます  
各セクションにおいて、部屋の整理整頓、患者荷物の整理、衛生材料のストックを減らす、ゴミの分別の徹底、申し送り時間の短縮などに取り組み、効果が得られた。

(ア) 病棟機能と看護職員配置 (H23. 4. 1 現在)

看護局長 1名		副看護局長 (業務担当) 1名 (教育担当) 1名			
病棟	病棟機能	稼動病床数	看護科長	看護職員定数	病棟技能員定数
A-2	ストレスケア病棟 開放病棟	37 保護室 1	1	16	2
A-3	総合治療病棟 閉鎖病棟	50 保護室 6 静養室 6	1	20	2
B-1	救急病棟 閉鎖病棟	24 保護室 14 静養室 4	1	27	2
みなと・みらい	医療観察法病棟	2	(1)	3	
B-2	救急病棟 閉鎖病棟	34 保護室 6 静養室 5	1	20	2
B-3	医療介護病棟 (含重症認知症・結核) 閉鎖病棟	45 結核 2 一般病床 保護室 2 静養室 2	1	24	2
C-2	一般病棟 閉鎖病棟	60 保護室 3 静養室 2	1	16	2
C-3	一般病棟 (男子) 閉鎖病棟	56 保護室 3 静養室 3	1	16	2
小計		308		149	14
外 来			1	6	
医療安全推進室				1	
地域医療相談室				4	
ディ・ケア				1	
看護教育科				1	
看護局	看護管理			3	
合計				166	14

(イ) 看護教育

a 平成22年度院内教育実施状況

研修名	ねらい	方法	研修日	時間	対象者	人数	担当		
テオリエンテーション	採用時研修	精神医療センター組織の一員としての自覚を持つことができる。(新採用・転入者)	・講義 ・演習 ・病院見学	4/1 4/2 4/5	3日間 8:30-17:15 (休憩1時間含む)	平成22年度 新採用者 転入者	10~ 36名	教育担当副看護局長 せりがや病院看護科長 看護教育科	
支援プログラム	接遇研修	事例等をもとに接遇の実際を学ぶ。	ロールプレイ	5/21	2時間 15:15-17:15	平成22年度 新採用者 転入者	10名	教育担当副看護局長 せりがや病院看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名	
	基礎技術研修① (救急蘇生法)	看護師として必要な急変時の基礎的対応がわかる。	・講義 ・デモンストレーション ・演習	4/23	2時間 15:15-17:15	新卒新採用者 他科長が必要と認めた者	10名	教育担当副看護局長 せりがや病院看護科長 現任教育担当看護師長 看護教育科 現任教育担当看護師2名 主任看護師1名	
	基礎技術研修② (精神科看護技術)	精神科における専門的な看護技術の実際を学ぶ。	・講義 ・デモンストレーション ・演習	6/29	4時間 13:00-17:00	新採用者 転入者	12名	救急病棟看護科長 せりがや病院看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師3名 主任看護師2名	
	フォローアップ研修 (新卒新採用者)	3ヶ月間の看護実践を振り返りを行い、今後の自分の課題につなげる。	・VTR鑑賞 (雨天にて自然散策中止) ・グループワーク	6/29	2時間 10:00-12:00	新卒採用者	3名		
	フォローアップ研修 (既卒・転入者)	1回目 入職してからの様々な思いや看護を、仲間と共有し、精神医療センターの看護師としてこれまでの経験を活かしながら取り組んでいく心構えができる。 2回目 業務の中で生じた疑問や思いを表出し、仕事への意欲につなげることができる。	・自然散策 ・グループワーク 【会場せりがや病院:実地体験】	6/4	15:15-17:15	既卒新採用者・転入者	11名	教育担当副看護局長 せりがや病院看護科長 看護教育科	
ステップI	看護倫理I (看護専門職としての倫理)	専門職としての倫理を再確認し、センターの看護師としての行動につなげる。	1回目:講義 2回目:グループワーク (WILL/CAN/MUST)	7/9 7/23	90分 15:45-17:15 3時間 14:15-17:15	ステップIを申請する者	7名	教育担当副看護局長 せりがや病院看護科長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名	
	事例検討I	自己の看護場面を振り返り、不明確な知識や技術を明らかにすることができる。	・グループワーク (事例検討)	11/11	4時間 13:15-17:15				5名
	チームメンバー研修	1. チームナーシングについて理解を深め、メンバーシップを発揮するための能力を養う。 2. 9か月間の自己を振り返り、今後の課題を明らかにできる。	・10月~11月に1日以上リーダーと共に行動する。 ・講義 ・グループワーク (KJ法)	12/3	4時間 13:15-17:15				5名
ステップII	リーダーシップ研修I (チームリーダー)	チームナーシングにおけるチームリーダーの役割が明確にできる。	・講義 ・グループワーク (KJ法) ・研修後に報告会	12/13	4時間 13:15-17:15	ステップI以上の者 また、看護科長が認める者	4名	教育担当副看護局長 せりがや病院看護科長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名	
	事例検討II (EBN)	希望者が1名と少なく、今年度は実施せず。							
ステップIII	研究基礎研修	論理的思考を養うとともに、チームの一員として研究に取り組むことができる	1回目 講義	5/14	1時間 16:00-17:00	ステップII以上の者 また、看護科長が認める者	24名	教育担当副看護局長 せりがや病院看護科長 看護教育科	
			2回目 グループワーク	6/18	1時間 17:00-18:00				22名
			3回目 演習	7/2	1時間 17:00-18:00				12名
	リーダーシップ研修II (リーダーシップ)	1. リーダーシップ能力を育むために、精神医療センターの組織を知る。 2. 多職種の役割を知り、チーム医療の中で多職種と連携する意義を知る。	・講義 ・グループワーク (ハイブレット法)	6/17	4時間 13:15-17:15		9名		教育担当副看護局長 せりがや病院看護科長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名
人間関係研修	対人関係における自己の傾向を知り、看護師としてのアサーティブなコミュニケーションを行うための知識・技術を学ぶ。	・講義(公開) ・演習	10/23	8時間 9:00-16:00 (休憩1時間含む)	11名	教育担当副看護局長 せりがや病院看護科長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師2名			
看護倫理II	精神科看護における倫理的課題について理解する。	・講演会(公開) ・討議 ・レポートをもとにセッションで発表	1/27	2時間15分 15:00-17:15	8名	教育担当副看護局長 せりがや病院看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師2名			

研修名		ねらい	方法	研修日	時間	対象者	人数	担当	
ステップⅣ	リーダーシップ研修Ⅲ (問題解決)	問題解決法を学び、セクションの課題を捉え、リーダーシップ能力を発揮した問題解決への取り組みができる。	1回目:講義	6/11	90分 15:30-17:15	ステップⅢ以上の者 また、看護科長が認める者	6名	教育担当副看護局長 せりがや病院看護科長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名	
			2回目:グループワーク	9/17	4時間 13:30-17:15				
			3回目:取り組み発表	11/26	2時間 15:00-17:00				
	プレゼンテーション研修	自分自身が実践している看護を他者に効果的に伝える能力を身につける。	1回目:講義及び演習	10/13	3時間15分 13:30-16:45		6名		
2回目:発表			12/8	2時間45分 14:00-16:45					
ステップⅤ	看護管理研修					ステップⅣ以上			
役割研修	新主任研修Ⅰ	主任としての認識を深め、自己の役割につちえ積極的に取り組める。	・講義 ・グループワーク(KJ法)	5/7	2時間 10:00-12:00	平成22年度 新主任看護師	3名	教育担当副看護局長 せりがや病院看護科長 研修担当看護科長 看護教育科	
	プリセプター研修Ⅰ	プリセプターシップについて理解しプリセプターとしての役割行動につなげることができる。	・講義 ・ロールプレイ	1/12	2時間 15:15-17:15	平成23年度 プリセプター予定者	7名	教育担当副看護局長 せりがや病院看護科長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名	
	プリセプター研修Ⅱ	指導の中で生じた疑問や不安を軽減し、プリセプターとしての自己の課題を明確にできる。	・グループワーク	6/22	2時間 15:15-17:15	平成22年度 プリセプター担当者	6名	教育担当副看護局長 せりがや病院看護科長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名	
静脈注射研修	静脈注射の実際	医師の指示に基づいた静脈注射を安全に実施するために必要な知識・技術を習得する。	・講義3回 ・演習1回	9/29 ～ 10/22		精神医療センター看護職員(非常勤、臨任は除く)	11名 (聴講6名)	静脈注射検討部会	
講演等	公開講演	精神科救急看護	精神科救急看護の実際と当院救急病棟における具体的な取り組みについて学び、看護の質の向上に役立てる。	公開講義 (救急病棟看護科長による)	9/10	90分 17:30-19:00	全看護職員 院外看護職員	47名 86名	教育担当副看護局長 看護教育科
		うつ病看護	新型うつを含むうつ病の特徴と認知行動療法について理解し、関わりや介入方法を学ぶ。	公開講義 (精神科認定看護師による)	11/10				
		精神科薬物療法	向精神薬の作用・副作用や多剤併用に伴う有害作用を理解し、精神科における薬物療法の看護について学ぶ。		2/24				
	看護研究発表会	1. 看護活動を通して得た研究成果を発表し相互の学びとする。 2. 精神科看護の質の向上につなげることができる。	院外講師好評	2/5	2時間30分 9:30-12:00	全看護職員		教育担当副看護局長 看護教育科 現任教育担当看護師2名	
	伝達講習会	院外研修の報告を受け、自己研鑽への動機づけとすることができる。			2/25	60分 17:30-18:30	全看護職員		教育担当副看護局長 看護教育科

※平成22年度から、せりがや病院と合同のため参加人数は総数で記載しています。



b 看護職員講師派遣

学 校 等	科 目 名	氏 名
神奈川県立衛生看護専門学校第一看護学科	精神看護方法論Ⅱ	阿部 由香
神奈川県立衛生看護専門学校 第二看護学科	精神看護方法論Ⅱ	泉谷 雅之
	精神看護方法論Ⅱ	井上 美紀
社会保険横浜看護専門学校	精神看護方法論Ⅱ	鹿野 哲夫
横浜市医師会看護専門学校	精神看護学精神障害と看護	荒井 修司
保健福祉大学実践教育センター 管理者養成課程	ヒューマンサービス論 グループマネジメント論	広沢美和子
保健福祉大学実践教育センター がん患者支援課程	患者家族への教育的アプローチ	村田日出子
保健福祉大学実践教育センター 認定看護師教育課程	看護管理	林 和代
日本精神科看護技術協会	精神科身体合併症看護Ⅰ	石田 正人
日本精神科看護技術協会神奈川支部	「こころの日」活動として、薬物乱用防止阻止教室	内橋ふさ子
日本精神科看護技術協会神奈川支部	境界性人格障害の看護	安藤 馨

c 学会等発表

- 1 中谷将、斉藤充史、櫻井早智子：救急・急性期病棟内への持込物品に対する意識調査 - スタッフ間での危険物に対する認識の特徴について考える。第17回日本精神科看護学会専門Ⅰ高知大会、8月
- 2 植木真理子、石渡みゆき、田中久美子、長瀬好美、八巻啓治、村田日出子：口腔ケアを中心にした関わり - その人らしさが表出されるまで。第17回日本精神科看護学会専門Ⅱ山口大会、10月
- 3 馬目尚史：自殺企図を危惧しながら患者に退職の事実をつげた事例。日精神科看護技術協会神奈川県支部平成22年度看護研究発表会、10月
- 4 長屋怜美、村田日出子：その人らしさを引き出す看護 - 生活を整え希望を取り入れていくこと。日本精神科看護技術協会神奈川県支部平成22年度看護研究発表会、10月
- 5 石橋末弘：病棟をデザインする！ - 病床の有効活用を病棟全体で意識して取り組む。第49回全国自治体病院学会秋田大会、10月
- 6 嘉山一壽：精神科救急病棟・患者の視点での取り組み - スタッフ育成 - 自治体病院精神科特別部会島根大会、9月
- 7 則座久美：誤嚥・窒息・嚥下障害へのリスク評価と安全対策。自治体病院精神科特別部会島根大会、9月
- 8 菱沼吉治、柳田直子、菅原俊明、鈴木由起枝、中嶋ひとみ：当院に勤務する看護師の喫煙に対する意識調査報告、第29回県立病院合同研究発表会、11月



d 実習生の受入れ

	学 校 名	人数	実 施 月
実 習	横浜市病院協会看護専門学校	26人	平成22年 5月～11月
	横浜市医師会看護専門学校	42人	平成22年 5月～11月
	社会保険横浜看護専門学校	26人	平成22年 5月～12月
	聖母看護学校	22人	平成22年 9月
	神奈川県立衛生看護専門学校 第一看護学科	26人	平成22年 5月～10月
	神奈川県立衛生看護専門学校 第二看護学科	12人	平成22年 5月～11月
	神奈川県立よこはま看護専門学校	77人	平成22年 5月～12月
	神奈川県立保健福祉大学	42人	平成22年 6月～12月
	東京衛生学園	36人	平成22年 1月

e 研修・見学実習等受入れ状況

学 校 ・ 団 体 名	対象者	人数	実 施 月
横浜市立芹が谷中学校	2年生	3人	平成22年 2月
インターンシップ	看護学生・看護師	20人	平成22年 3月・7月・8月
学生の実習に伴う教員研修	看護教員	3人	平成22年 4月
保健福祉大学（保健福祉論Ⅰ）	大学生	12人	平成22年 8月

## (2) 作業療法（OT）

### ア 作業療法

当院作業療法は、主に入院患者を対象としてきたが、平成17年度より外来患者を対象とした通院作業療法も開始した。その中で、日常生活の回復を図り社会適応や自立を促すために様々なプログラムを実施している。

ここ数年に見る参加患者の状態は、対人関係や作業能力等において作業療法士（以下OTR）とマンツーマンによる密度の高い関わりを必要とする人、集団場面の適応能力が低い人、集中力・持続力に欠ける人、病棟から出てOTに参加することが難しい人などが増加している一方、3～6ヶ月で退院していく人も増えており、多様化してきている。そこで、一つのプログラムに参加する患者数を減らしたり、『退院直前訓練』を新たに設けたりなど、プログラムの改善を色々試みてきた。

又、病棟内での転倒事故防止対策として、(当時名称)看護部からの要請を受け、体操やレクリエーションを週1回行う『病棟OT』を平成16年1月から(当時の)A2病棟とC2病棟、3月A3病棟、7月C3病棟、作業療法科職員も充足され、翌年9月B3病棟と順次開始してきた。更に、平成20年4月、ストレスケア(現A2)病棟を開設するにあたり、担当としてOTR1名を専属にしたいと要請があり配属される。軌道に乗ったところで、気分障害を対象としたOTプログラム(月)リラクゼーション・(火)ムービング・(金)アート～3回/週)を11月から『病棟OT』として実施し始めた。平成21年4月に隔週ながらB2病棟で実施、更に平成22年2月、みなと・みらい病棟(小規模医療観察法病棟)開設に伴いOTR1名を専属として配属したことで、同様にB1病棟でも開始となった。一方C2病棟では、フォークダンスなどを用いて体力維持を図るために身体を動かす運動を行ないたいという相談があり、7月から1回/週の『病棟OT』を2回/週に増やし、転倒及び便秘予防を目的としたストレッチ・体操・ゲームを行なっている。

加えて、平成22年4月より、ストレスケア病棟退院者のアフターフォローも兼ねて、うつ病・うつ状態の休職者及び離職者の対象とした復職支援のプログラムが開始され、プログラム担当としてOTR1名も参加、平成23年1月から、医師の指示により気分障害を対象とした外来患者のOTプログラムも始めている。

作業療法科では、安心していただける居場所の提供を基本に、参加患者の状態により活動プログラムや所属するグループを考慮し、参加患者の今後の目標を意識して治療に当たっている。

その内容は主に、

- ・社会復帰訓練を中心とした活動
- ・コミュニケーション及び自己表現力を高める活動
- ・協同作業を中心とした活動
- ・レクリエーション活動
- ・ADL及びAPDL訓練を中心とした活動
- ・体力の維持・向上を中心とした活動
- ・生産的作業を中心とした活動
- ・面接及び相談

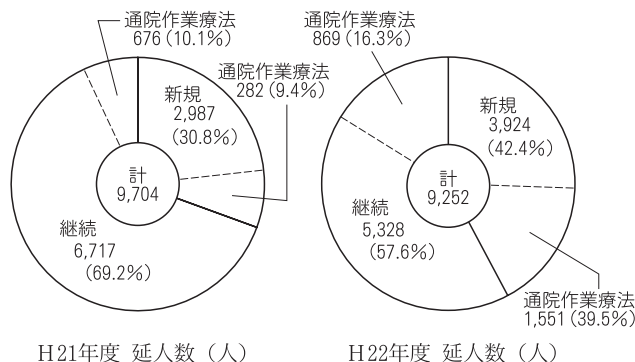
であり、その内容及び実績は次表の通りである。

(ア) 患者受入れ状況

a OT実施人員

(単位：人)

年度	区分	実 人 員					
		新 規		継 続		計	
		男	女	男	女	男	女
22		233		218		451	
		142	91	137	81	279	172
21		222		193		415	
		113	109	121	72	234	181
対前年度比 (%)		105.0		113.0		108.7	
		125.7	83.5	113.2	112.5	119.2	95.0



b 月別男女別実施延人員

年度	月	4		5		6		7		8		9		10		11		12		1		2		3		計														
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女													
		22	830	744	822	791	795	736	821	833	766	677	701	736	9,252	529	301	489	255	568	254	521	270	507	288	491	245	549	272	595	238	541	225	443	234	464	237	490	246	6,187
21	812	737	912	914	810	709	812	788	851	723	780	856	9,704	570	242	502	235	566	346	514	400	478	332	427	282	541	271	500	288	519	332	454	269	517	263	562	294	6,150	3,554	
対前年度比 (%)		102.2	100.9	90.1	86.5	98.1	103.8	101.1	105.7	90.0	93.6	89.9	86.0	95.3	92.8	124.4	97.4	108.5	100.4	73.4	101.4	67.5	106.1	86.7	115.0	86.9	101.5	100.4	119.0	82.6	104.2	67.8	97.6	87.0	89.7	90.1	87.2	83.7	100.6	86.2

c 月別男女別実施実人員

年度	月	4		5		6		7		8		9		10		11		12		1		2		3													
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女												
		22	195	202	203	197	196	194	198	197	193	191	195	182	129	66	128	74	131	72	132	65	133	63	130	64	131	67	131	66	130	63	123	68	126	69	121
21	197	197	208	203	202	194	185	197	191	195	199	198	122	75	125	72	123	85	123	80	122	80	120	74	121	64	126	71	119	72	125	70	127	72	131	67	
対前年度比 (%)		99.0	102.5	97.6	97.0	97.0	100.0	107.0	100.0	101.0	97.9	98.0	91.9	105.7	88.0	102.4	102.8	106.5	84.7	107.3	81.3	109.0	78.8	108.3	86.5	108.3	104.7	104.0	93.0	109.2	87.5	98.4	97.1	99.2	95.8	92.4	91.0

d 疾患別受け入れ状況

区分 年度	F 0	F 1	F 2	F 3	F 4	F 6	F 7	F 8	G 4	その他	計
	症状性を 含む器質 性精神障 害	精神作用物 質使用によ る精神およ び行動の障 害	統合失調 症	気分（感 情）障害	神経症性 障害	成人の人 格および 行動の障 害	精神遅滞	心理的発 達の障害	てんかん		
22	8	5	245	142	27	0	5	10	9	0	451
21	8	5	241	116	21	2	4	7	11	0	415
対前年度 比（%）	100.0	100.0	101.7	122.4	128.6	—	125.0	142.9	81.8	0.0	108.7

e 年齢別受け入れ状況

区分 年度	20歳未満		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60歳以上		計		平均年齢
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
22	2		35		101		134		90		89		451		47.3
	0	2	23	12	64	37	88	46	58	32	46	43	279	172	
21	4		43		91		101		83		93		415		47.4
	2	2	26	17	55	36	64	37	45	38	42	51	234	181	
対前年度 比（%）	50.0		81.4		111.0		132.7		108.4		95.7		108.7		
	—	100.0	88.5	70.6	116.4	102.8	137.5	124.3	128.9	84.2	109.5	84.3	119.2	95.0	

f 病棟別患者受け入れ状況

区分 年度	A 2		A 3		B 1		B 2		B 3		C 2		C 3	外来		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	男	女	男	女
22	126		49		9		23		48		59		50	87		451	
	67	59	31	18	6	3	15	8	14	34	31	28	50	65	22	279	172
21	124		53		10		22		48		61		52	45		415	
	61	63	35	18	6	4	8	14	14	34	31	30	52	27	18	234	181
対前年度 比（%）	101.6		92.5		90.0		104.5		100.0		96.7		96.2	193.3		108.7	
	109.8	93.7	88.6	100.0	100.0	75.0	187.5	57.1	100.0	100.0	100.0	93.3	96.2	240.7	122.2	119.2	95.0

(イ) 転 帰

区分 年度	継続	終												了	中断	計
		就 労 ・ 復 職	就 学 ・ 復 学	作 業 所	デイ ・ ケ ア	生 保 健 教 室 所	家 庭 復 帰	施 設	ア 単 パ ー ト 身	転 院	ス テ ッ プ ア ッ ト	作 業 療 法 院	そ の 他			
22	222	15	1	13	13	2	104	12	2	15	3	22	3	24	229	
21	196	1	1	8	10	0	127	26	5	19	8	3	0	11	219	
対前年度 比（%）	113.3	1500.0	100.0	162.5	130.0	—	81.9	46.2	40.0	78.9	37.5	733.3	—	218.2	104.6	

(ウ) プログラム内容及び実施状況

プログラム活動 (Program Activity)				件数	延人員	プログラム活動 (Program Activity)				件数	延人員	
グ ル ー プ ミ ニ ス テ ィ ン グ	(含)コミュニケーション及び自己表現	今月のOTについて (含、プログラム説明)	13	77	レ ク リ ェ ー シ ョ ン ブ ロ ー ク	音楽及びビデオ鑑賞	12	75	個 人 プ ロ グ ラ ム			
		来月のOTについて (含、プログラム作り)	7	55		散歩 (含、初詣、花見、梅取、芋掘等)	4	38				
		喫茶かもめについて	1	9		ゲーム	9	71				
		弥生会について	0	0		季節行事 (含、新年会、納涼会、収穫祭、クリスマス会等)	4	26				
	社 会 復 帰 訓 練	退院直前訓練	73	265	そ の 他	芹香まつり参加 (含、準備)	0	0				
		栄養講座	2	16		看護の日作品展示 (含、準備)	2	12				
		S.S.T (生活技能訓練)	44	308		防災訓練参加	1	8				
		喫茶室かもめ (含、準備)	21	119		グループワーク計		1,034		6,431		
		弥生会 (含、準備)	0	0								
		集団流れ作業	1	2								
	A D L 訓 練	料理	1	9	個 人	ネット手芸	173	611				
		掃除 (含、片付け)	14	75		刺繍	173	454				
		環境整備、身辺処理	1	8		革細工	112	173				
	活 身 体 動 的	体育	33	277	プ ロ グ ラ ム	編み物	67	93				
		体力づくり散歩	11	59		パソコン入力	44	50				
	活 創 動 作	あすなろグループワーク	63	410	グ ル ー プ	籐細工	32	32				
		ステップ I グループワーク	90	453		レース編	30	30				
	ワ ク ス O T	A-2	191	978	ラ ム	小物作り	27	28				
		A-3	44	310		紙細工	25	27				
		B-1	74	86		読書	18	18				
		B-2	0	0		勉強	11	13				
		B-3	44	445		絵画	7	7				
C-2		65	1,104	ビーズ細工		6	6					
C-3	32	335	洋裁	5	5	個人プログラム計		743	1,558			
ク ス ペ ィ ー ス	ものづくり	92	268	総 計		1,777	7,989					
	園芸	43	236									
				通院作業療法	234	1,144						
				〃 II*1	153	1,211						
				〃 III*2	21	65						
趣 味 ・ 教 養	書道	47	258	面接 (含、退院直前訓練、アンケート)		59	72					
	茶話会・誕生会	6	39	相談、及びアフターフォロー (含、家族面接)		19	30					
	学習	0	0									

※ 1 復職支援のプログラム (作業療法担当分) ※ 2 気分障害を対象としたプログラム

(エ) 教育（見学・実習・講義）

a 見学・研修受入れ

（単位：人）

年 度	区 分	行政関係者	医療関係者	学 生 (医師・看護婦等)	院 内		そ の 他	計
					職 員	患 者		
22	件 数	2	0	71	9	7	3	92
	人 員	2	0	167	11	7	3	190
21	件 数	2	6	69	13	13	10	113
	人 員	6	12	152	14	13	10	207
対前年度比 (%)	件 数	100.0	—	102.9	69.2	53.8	30.0	81.4
	人 員	33.3	—	109.9	78.6	53.8	30.0	91.8

b 実習生の受入れ

内 容	対 象	実 施 日	人 数
作業療法 4年インターン実習	北里大学医療衛生学部作業療法学専攻	平成22年 4月5日～5月28日	1

### (3) デイ・ケア療法

外来の精神科患者を対象に社会生活機能の回復を図るため、昭和57年6月から試行し、昭和61年4月に精神科デイ・ケア療法大規模適合施設の承認を受け、本格実施した。実施にあたっては、医師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士、臨床心理士の多職種チームを構成し、対象者の社会生活支援を行ってきた。

開催日は月曜日から金曜日の週5日で、平日にいつでも利用できるようになっている。治療内容は、心理教育的プログラムを中心に集団精神療法や日常生活訓練、SSTや就労関連プログラムなど利用者の要望に応えられるよう多種に及んでいる。平成18年度から診療報酬の改正に伴い、3時間程度のショート・ケアが新設され、当院デイ・ケアでも8月10日より導入し、新規入所者で急性期離脱後の活動性の低い方や高齢で体力のない方、面接を中心とした支援で就労を継続したい方などに活用していただいている。また、平成15年に医療観察法が制定され、平成17年より施行された。これを受け当院デイ・ケアでも医療観察法の対象者を積極的に受け入れている。

更に、訪問支援の実施としては、作業所・生活訓練施設・授産施設などの福祉施設やハローワーク・就労相談センターなどの就労支援機関へも同行し、スムーズな地域生活への導入や移行に取り組んでいる。院内の他部門との連携としては、訪問看護部門との協力体制で主に単身者の生活を支援している。また、退院促進の一環として、退院間近の入院患者も受け入れ、スムーズな地域生活への移行を図っている。平成22年度からは、医療観察法の入院処遇（社会復帰期）の対象者の受け入れを試行している。

地域との連携では、地区の保健福祉センターや上記同様の福祉施設の他、他デイ・ケアとの交流（バレーボール大会や作品展）や港南区ネットワーク祭りなどに参加し、交流を深めている。そして、神奈川デイ・ケア連絡会の事務局補佐でもあることから、県内デイ・ケア施設との連携にも積極的に取り組んでいる。

その他、退所後の支援として、退所者やその家族との面接も行なっている。

## ア デイ・ケア参加者

### (ア) 月別参加者数

月 別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計 (下段：月平均)
在籍者数		125	129	131	135	133	133	129	125	126	127	128	129	1,550 (129.1)
(うち入院)		9	11	13	15	9	14	10	12	13	14	11	11	142 (11.8)
(うち医療観察法通院者)		5	5	7	8	9	9	10	9	9	8	10	10	99 (8.3)
就労・就学者実数		8	9	5	4	6	13	5	3	5	6	6	5	75 (6.3)
福祉施設等通所者実数		37	37	26	25	42	29	28	27	24	27	26	25	353 (29.1)
延 数	参加者延数	962	830	1,030	991	929	847	865	974	916	892	917	1,030	11,183 (932.0)
	(うち入院)	100	82	160	125	85	94	105	158	161	145	99	70	1,384 (115.3)
	(医療観察法通院者)	19	32	62	84	80	72	69	76	53	64	73	74	758 (63.2)
	ショート延数	268	211	298	246	203	184	164	237	194	195	215	218	2,633 (219.4)
	(うち入院)	40	28	89	40	30	40	50	93	64	63	62	52	651 (54.3)
平 均	参加者一日平均	45.8	46.1	46.8	47.2	42.2	42.4	43.3	48.7	48.2	46.9	48.3	46.8	552.7 (46.1)
	(うちショート)	4.8	4.6	7.3	6.0	3.9	4.7	5.3	7.9	8.5	7.6	5.2	3.2	69 (5.8)
実 施 日 数		21	18	22	21	22	20	20	20	19	19	19	22	243

### (イ) 地域別参加者数

地域別 年度	横 浜 市															横 須 賀 市	鎌 倉 市	川 崎 市	相 模 原 市	藤 沢 市	そ の 他	合 計		
	鶴 見 区	西 区	中 区	南 区	港 南 区	保 土 ヶ 谷 区	旭 区	磯 子 区	港 北 区	戸 塚 区	栄 区	泉 区	神 奈 川 区	金 沢 区	緑 区								青 葉 区	小 計
平成22年度	2	4	2	34	48	14	0	14	0	26	9	4	7	2	0	1		1	2	2	1	0	1	175
平成21年度	2	6	5	26	47	19	1	13	0	29	12	2	4	2	0	1	169	4	1	2	1	0	1	178

### (ウ) 年齢・病名別参加者数

病 名	年 齢			19歳以下			20～29歳			30～39歳			40～49歳			50歳以上			計		
	性 別	男	女	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
中毒性精神障害 (F1)					1	1	1		1	1		1							2	1	3
統合失調症 (F2)		1		1	24	10	34	36	24	60	29	12	41	11	8	19	101	54	155		
気分(感情)障害 (F3)								1		1	2		2	1		1	4		4		
人格及び行動障害 (F6)											1		1				1		1		
精神遅滞 (F7)		1		1													1		1		
そ の 他		1	2	3				3	3	6		2	2				4	7	11		
計		3	2	5	24	11	35	41	27	68	33	14	47	12	8	20	113	62	175		

## イ プログラム内容

プログラム		小計	内容・目的
神集 療団 法精	全体ミーティング	16	DC運営に関わる議題についてメンバー・スタッフで話し合う。
	グループミーティング(行事委員会)	6	行事事に委員会を作り、企画・立案・運営をメンバー・スタッフで実施していく。
	小計	22	
訓職 業業 練前	作業	90	外部からの請負作業(やまゆり発送など)を通して、就労・作業所への準備性を高めていく。
	係の仕事	23	分担された係りを体験していく中で就労・作業所等への心構えや責任感を養っていく。
	就労勉強会	16	就労へのイメージ作り、就労の準備性を高める、現実的な目標を見出す。
	小計	129	
創 作 活 動	創作	20	創造性を養い、情緒の表出を図るため、絵画、手工芸、文芸、共同制作等を行う。
	垂れ幕作り	10	県下バレーボール大会の応援垂れ幕を応援グループで製作する。
	物作りサークル	11	様々な手芸品に挑戦する中で創る楽しさを体験していく。達成感を得る。
	お菓子づくり	8	お菓子作りを楽しむ。簡単な調理を経験する。
	思い出アルバム	7	外出や行事の写真の編集。役割分担をしながら実施しアレンジする。
	竹トンボ作り	1	外部講師の指導により竹トンボの制作。ボランティアとの交流を通し社会性を養う。
	布草履作り	1	外部講師の指導により布草履の製作。ボランティアとの交流を通し社会性を養う。
小計	58		
指日 常生 活 導	料理	64	能力・目的別にグループ分けをし、調理に取り組む。
	防災訓練	4	院内の訓練に参加することで非常時に備える。
	生活クラブ	11	日常生活に必要な知識・技能の習得を図る。参加者の自立を促す。
	小計	79	
活ク ララ ブ 動	グループ活動	9	担当スタッフ別のグループとなり、それぞれグループ活動に取り組む。
	クラブ活動	78	同好のメンバーが集まり、自主的にグループ運営を行う。
	小計	87	
運 動 療 法	バレーボール	49	チームプレーを通して協調性を養う、体力作り、身体を動かす心地よさを体験すること等を目的とする。
	ヨガ	48	体力の維持、身体を動かすことの心地よさを体験すること等を目的としグループで実施。
	ソフトボール	17	チームプレーを通して協調性を養う、体力作り、身体を動かす心地よさを体験すること等を目的とする。
	ファイトクラブ	10	体力作り、メンバー間の親睦を図ること等を目的とする。
	スポーツ大会(含む、準備交流試合)	12	大会などの目標に向けてチームワークを経験する。他施設との交流会の準備・実施を行う。
	体力測定	2	現在の体力を把握し、自己の身体への意識を高める。
	小計	138	
音 楽 療 法	コーラス(含む、大会)	18	外部講師の指導により、合唱の練習をし年数回成果を発表。
	ドラム	4	外部講師の指導により、ドラムを中心とした打楽器を皆で演奏をする。
	楽器演奏	9	楽器に興味のある人が集まり、楽しみながら演奏をする。年数回成果を発表。
	琴演奏	1	夏のイベントとして外部講師の琴演奏を鑑賞し日本の伝統に親しむ。
	小計	32	
認 心 行 動 教 育 法 他・	生活設計研究会	22	病気や薬、社会制度や経済的な知識を得、将来の生活の見通しを立てられるようになるための心理教育。
	シニアライフ	10	親亡き後や自分の老後をどのように過ごすか検討する心理教育。
	健康・栄養講座(健診含む)	15	身体的な自己管理に関心を持つことを目的とし健康に関する講義を受ける。
	生活技能訓練	17	対人関係の改善を目的に、課題の場面を演じながら訓練を行う。
	服薬クラブ	12	服薬の必要性を学び自己管理の練習をする心理教育。
	気持ちのコントロール	10	怒りを中心とした自分の感情を認識しコントロールする方法を学ぶ。
	認知行動療法	12	病気の症状についての対処法を身に付けるための心理教育。
	福祉講座・講演会	6	精神障害者の動向や福祉制度の状況などを知る機会とする。
	ダイエット	17	肥満の健康上の問題を認識し、ダイエットの手法を学び体重の自己管理をしていく。
	社会人クラブ	3	社会生活する上での常識とされることやマナーの実際を学び役立てていく。
小計	124		
レ ク リ エ ー シ ョ ン 活 動	パーティー(含む、準備)	24	忘年会、歓送迎会等の準備、実施。
	外出(含む、準備)	2	社会性を養い、視野を広げることを目的とする。
	芹香祭り・港南ネット祭り・デイクア作品展(含む、準備)	18	入院患者・職員との交流、地域福祉施設との交流を図るために参加。
	バスハイク(含む、準備)	3	社会性を養い、メンバーの親睦を図るため、1日のバスハイクを実施。
	ロードショー	10	興味関心のある映画等を選び準備、鑑賞していく。
	かき氷、すいか割り(含む、準備)	6	夏の風物詩としての行事を行い楽しむ。
	看護の日レク	3	看護の日イベント行事に参加し楽しむ。
小計	66		
そ の 他	パソコン	28	外部講師の指導により、パソコンの操作を学ぶ。
	ニュースの窓	11	視野を広げる目的で各自新聞を持ち寄り自分に関心のある記事を紹介する。
	書道	9	外部講師の指導により、各自好きな言葉を書き、添削を受ける。年数回成果を発表。
	茶道	11	外部講師の指導により、お茶のたて方、飲み方を学ぶ。
	華道	9	外部講師の指導でお花のいけ方を学ぶ。
	新人オリエントーション	11	新入所者に対し、メンバーがデイクアの説明を行う。
	アロマセラピー	4	外部講師の指導により、いろんな香りを楽しみながら、リラックスする方法を学ぶ。
	植物を育てる	19	花や野菜などの植物を育てる事で季節感を得ながら、達成感を得る。
	お茶を楽しむ	6	お茶を飲みながらスタッフ・メンバーでリラックスする時間を過ごす。
	メイクアップ講座	1	外部講師の指導により、メイクの方法を学び整容への関心を高める。
	頭のトレーニング	19	クイズ・パズル等を行うことで頭のリラックス、及び活性化を図る。
	リラクゼーション	2	ストレッチなどを行う、心身のリラックスを図る。
	小計	130	
合 計		865	



## ウ 転 帰

(単位：人)

性別	転帰 中 断	終 了			D C 延長	6ヶ月未満	計
		自 立	半 自 立	家庭内適応			
男	13	9	7	0	70	14	113
女	11	3	6	0	36	6	62
計	24	12	13	0	106	20	175

「中 断」…病状悪化、入院している者

「自 立」…自己就労、保護就労、就学、家事労働についている者

「半 自 立」…地域作業所、保健所生活教室、他機関デイ・ケア等への通所者

「家庭内適応」…家事手伝い等を行っている者

「D C 延長」…終了の条件が整わず延長を行い、平成23年3月31日現在通院している者

「6ヶ月未満」…期間（6ヶ月）が終了しておらず、平成23年3月31日現在通院している者

## エ 個別支援

### (ア) 相談件数

(単位：人)

手 段	本 人	家 族	退 所 者	その他関係機関など
電 話	129	51	6	157
面 接	851	55	5	38
見 学	—	—	—	36

### (イ) 訪問件数

(単位：人)

職場、福祉施設など	3
-----------	---

### (ウ) カンファレンス（医療観察法会議含む）

科 内	科 外
2,743 件	128 件

## オ 家族会

開催月	テ ー マ	開催数	参加者数
5月、6月	親子面接	2回	23名
6月	地域で利用できるサービスについて 講師 港南区MSW	1回	18名
	病気の話 講師 山田先生	1回	18名
7月	当事者の話(地域で生活されている方・就労した方) 講師 OBメンバー	1回	13名
8月	ヘルパーの話 講師 ヘルパー事業所有為 宮本氏	1回	5名
	作業所の話 講師 作業所夢心職員	1回	2名
9月	家族SST	1回	13名
10月、11月	親子面接	2回	16名
2月	病気の話 講師 山田先生	1回	7名
合 計		11回	115名



## カ 教 育

### (ア) 研修・見学

(単位：人)

	医療関係者	福祉関係者	行政関係者	そ の 他	合 計
研 修	72	17	0	9	83
見 学	53	4	3	18	75

## (4) 検査業務

### ア 心理業務

心理業務のうち心理検査は、精神医学的診断を補うためや、パーソナリティーの理解を深める目的で、必要に応じていくつかの検査を組み合わせて実施している。心理療法は、一対一の心理面接、集団療法などの形態で必要な心理的なケアを提供するものである。その他に、医療観察法の鑑定に関わる心理検査、通院所処遇対象者への心理面接、多職種でのチーム会議などにも参加した。

ストレスケア（A2）病棟では、心理検査、心理面接の他、看護と協力して集団精神療法（CBT）を運営、実施した。他に、rTMS研究入院において心理検査を26名に実施した。

また、リワーク・プログラムの開始に伴い、多職種で運営についての検討をかさね、協力してプログラム・各種面接を実施した。集団精神療法（CBT）は、リワーク・プログラム利用者、外来患者、A2入院患者の合同で行った。その他、リワーク・プログラム利用者の心理面接、心理検査も実施した。

3月より、医療観察法小規模病棟を開棟したため、心理検査、心理面接、治療プログラム、多職種チームの会議等に参加した。

### (ア) 心理検査（22年度）

(単位：人)

検 査 名		外 来	外来(リワーク)	入院(A2病棟)	入院(他の病棟)	計
知能検査	W A I S	2	5	54	13	74
	その他の知能検査	0	0	0	6	6
人 格 ・ 性 格 検 査	ロ ー ル シ ャ ッ ハ	3	1	10	8	22
	S C T	1	0	18	9	28
	描 画	9	0	17	21	47
	その他の人格検査	1	0	88	4	93
そ の 他	MMSE HDS-R	2	0	21	7	30
	H A M - D	16	41	103	0	160
	S C I D	0	0	26	0	26
	B D I	16	41	100	0	151
	W C S T	0	0	51	0	51
	そ の 他	0	151	128	1	280
計		50 (21)	239 (27)	616 (76)	69 (30)	974 (154)

(注) 計欄の( )は実人数を示す

### (イ) 心理療法（22年度）

	外 来	外来(リワーク)	入院(A2病棟)	入 院	医療観察法病棟
心 理 面 接	110 (18)	7 (1)	66 (7)	69 (7)	174 (2)
集団精神療法	0		192 (50)	0	0

(注) 計欄の( )は実人数を示す

(ウ) その他（22年度）

A2病棟 運営カンファレンスへの参加		12回
リワーク・プログラム	テーマ・トーク（OT合同プログラム）の実施	44回
	離職者グループ（OT合同プログラム）の実施	8回
	インテーク・復職準備評価面接の実施	151回
	リワーク・カンファレンスの実施	24回
医療観察法（通院処遇・入院病棟）多職種チーム会議への参加		169回

イ 放射線業務

検査科放射線は芹香・せりがや両病院のX線検査及びCT検査を行っています。平成18年度より、せりがや病院の入院患者様を毎週月・木曜日に芹香病院へ搬送し、外来患者様は随時芹香病院で検査を行っています。

a 芹香病院

検査は入院患者様の撮影が主です。昨年12月からの入院患者の急激な減少と共に撮影人数も減ってきています。しばらくの間は、減少傾向が続くと思われます。

b セリがや病院

入院者数減少と共に撮影人数が伸びなやみましたが、一昨年とほぼ同人数、同件数です。

(ア) 一般撮影業務件数（人数及び撮影回数）

a 芹香病院

部位 月	頭 部				胸 部				腹 部				椎 骨				四 肢 骨				そ の 他				合 計			
	人数		回数		人数		回数		人数		回数		人数		回数		人数		回数		人数		回数		人数		回数	
	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室
H22.4					3	83	3	93	1	58	1	79					5	10		1		2	4	147	4	184		
5					67	80	1	50	2	67	1	2	3	6	1	2	1	4	2	123	3	159						
6					64	78		51		76					2	4					0	117	0	158				
7		1		2	4	67	4	72	3	45	3	53					3	6					7	116	7	133		
8		2		3	6	71	6	90		51		64	3	6	3	6		1		2	6	131	6	171				
9					12	57	12	75	2	37	2	54	2	4				1		2	14	97	14	135				
10		2		4	8	72	8	89	10	43	10	55	1	2	3	6	2	1	3	2	20	122	21	158				
11					22	57	22	66	23	40	23	55	1	2	2	4	4	10	1	1	1	2	48	103	50	135		
12					15	50	15	60	12	34	12	51	2	4	1	3	3		3		30	87	30	118				
H23.1					6	35	6	40	5	27	5	36					3	8					11	65	11	84		
2					7	42	7	47	4	24	4	35	3	6	2	4		1		1	11	72	11	93				
3					23	55	23	57	12	29	12	34					1	7	1	21	1	5	1	10	37	96	37	122
合計	0	5	0	9	106	720	106	847	73	489	74	659	0	13	0	26	3	36	5	84	8	13	9	25	190	1,276	194	1,650
構成比(%)	0.0	0.3	0.0	0.5	7.2	49.1	5.7	45.9	5.0	33.4	4.0	35.7	0.0	0.9	0.0	1.4	0.2	2.5	0.3	4.6	0.5	0.9	0.5	1.4	13.0	87.0	10.5	89.5

b セリがや病院

月	頭部		胸部		腹部		椎骨		四肢骨		その他		合計	
	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数
H22.4			35	45	3	6							38	51
5			25	28					1	2	1	2	27	32
6			25	28	3	5			2	3			30	36
7			31	35	1	1							32	36
8			27	28	1	1					1	1	29	30
9			27	30	3	6							30	36
10			26	30	1	2							27	32
11			21	23	1	2	1	2					23	27
12			22	23	2	4			1	2			25	29
H23.1			20	20	1	2							21	22
2			22	24	3	6							25	30
3			23	27									23	27
合計	0	0	304	341	19	35	1	2	4	7	2	3	330	388
構成比(%)	0.0	0.0	92.1	87.9	5.8	9.0	0.3	0.5	1.2	1.8	0.6	0.8	100.0	100.0

(イ) CT検査業務件数

a 芹香病院

月	頭部			胸部			腹部			椎骨			四肢骨			その他			合計		
	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数
H22.4	48	971	1,097	5	179	332	2	62	62				1	42	42				56	1,254	1,533
5	50	1,017	1,103	2	90	209	2	95	144										54	1,202	1,456
6	47	986	1,046	1	51	81													48	1,037	1,127
7	48	981	1,012	2	104	170	2	112	76										52	1,197	1,258
8	44	910	1,000	4	155	276	3	118	119										51	1,183	1,395
9	41	846	959	7	334	568													48	1,262	1,527
10	55	1,157	1,298	2	55	115	2	82	132										59	1,344	1,545
11	39	850	904	3	174	251	3	132	177										45	1,196	1,332
12	36	745	805	5	188	335	4	172	204										45	1,025	1,344
H23.1	28	570	591	1	31	60	1	92	92										30	663	743
2	30	614	634	1	60	93	2	62	62										33	736	789
3	47	992	1,139	3	168	266													50	1,160	1,405
合計	513	10,639	11,588	36	1,589	2,756	21	927	1,068	0	0	0	1	42	42	0	0	0	571	13,259	15,454
構成比(%)	89.8	80.2	75.0	6.3	12.0	17.8	3.7	7.0	6.9	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0

b セリがや病院

部位 月	頭 部			胸 部			腹 部			椎 骨			四 肢 骨			そ の 他			合 計		
	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数
H22.4	34	691	731	1	57	92	1	35	35										36	783	858
5	27	545	566																27	545	566
6	30	608	632	2	122	182													32	730	814
7	28	569	584	1	54	87	1	34	34										30	657	705
8	29	590	611	1	49	95													30	639	706
9	26	525	525																26	525	525
10	22	452	452	2	111	174	1	14	14										25	577	640
11	20	424	454																20	424	454
12	20	403	403	1	52	104													21	455	507
H23.1	26	524	524	2	96	157													28	620	681
2	20	408	436	1	62	94													21	470	530
3	18	362	362	1	57	87													19	419	449
合 計	300	6,101	6,280	12	660	1,072	3	83	83	0	0	0	0	0	0	0	0	0	315	6,844	7,435
構成比(%)	95.2	89.1	84.5	3.8	9.6	14.4	1.0	1.2	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0

(ウ) 一般撮影業務件数推移

		12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	前年度比(%)
芹香病院	延べ人数	1,340	1,451	1,299	1,326	1,728	2,202	1,929	1,393	1,643	1,553	1,466	94.4
	延べ回数	1,994	1,936	1,709	1,649	2,278	2,920	2,619	1,877	2,105	2,062	1,844	89.4
せりがや病院	延べ人数	519	473	474	420	393	353	384	350	329	383	330	86.2
	延べ回数	876	827	782	544	505	421	400	373	350	480	388	80.8
合 計	延べ人数	1,859	1,924	1,773	1,746	2,121	2,555	2,313	1,743	1,972	1,936	1,796	92.8
	延べ回数	2,870	2,763	2,491	2,193	2,783	3,341	3,019	2,250	2,455	2,542	2,232	87.8

(エ) CT検査業務件数推移

		12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	前年度比(%)
芹香病院	延べ人数	213	178	150	197	463	518	625	487	615	629	571	90.8
	延べ回数	2,706	2,162	1,844	2,471	8,613	11,463	14,317	10,612	13,833	14,988	13,197	88.1
	画像処理	2,864	2,209	1,892	2,605	9,668	14,280	17,451	12,375	15,675	17,594	15,454	87.8
せりがや病院	延べ人数	474	454	470	373	381	318	374	322	322	339	315	92.9
	延べ回数	5,802	5,492	5,650	4,505	4,604	4,089	7,174	6,504	6,795	7,290	6,844	93.9
	画像処理	5,909	5,590	5,670	4,542	4,653	4,094	7,277	6,665	7,305	8,172	7,435	91.0
合 計	延べ人数	687	632	620	570	844	836	999	809	937	968	886	91.5
	延べ回数	8,508	7,654	7,494	6,976	13,217	15,552	21,491	17,116	20,628	22,278	20,041	90.0
	画像処理	8,773	7,799	7,562	7,147	14,321	18,374	24,728	19,040	22,980	25,766	22,889	88.8

## ウ 臨床検査業務

### a 芹香病院

項目 \ 件数	平成 22 年度	平成 21 年度	増 減
一 般 検 査	17,318 件	21,169 件	▲ 3,851 件
血 液 学 的 検 査	18,455	18,760	▲ 305
生 化 学 的 検 査	55,505	56,119	▲ 614
免 疫 学 的 検 査	3,409	3,145	264
微 生 物 学 的 検 査	235	602	▲ 367
病 理 学 的 検 査	6	6	0
内 分 泌 学 的 検 査	1,242	1,355	▲ 113
生 理 機 能 検 査	1,458	1,199	256
そ の 他 の 検 査	0	0	0
計	97,628	102,355	▲ 4,730

### b セリがや病院

項目 \ 件数	平成 22 年度	平成 21 年度	増 減
一 般 検 査	5,649 件	5,599 件	50 件
血 液 学 的 検 査	9,097	9,077	20
生 化 学 的 検 査	31,431	31,186	245
免 疫 学 的 検 査	1,919	1,564	355
微 生 物 学 的 検 査	29	48	▲ 19
病 理 学 的 検 査	1	0	1
内 分 泌 学 的 検 査	368	296	72
生 理 機 能 検 査	353	441	▲ 88
そ の 他 の 検 査	0	0	0
計	48,847	48,211	636

## (5) 地域医療相談室業務

地域医療相談室はソーシャルワーカー 8 名、訪問看護師 4 名、および今年度から事務担当 1 名の計 13 名で構成されている。また独立行政法人化に伴う人事異動により、これからの病院再編に向けた地盤作りを進めている。相談内容は医療費・生活費などの経済的なこと、精神保健福祉法、自立支援法や介護保険法などの福祉制度のこと、デイケアや地域作業所などの社会資源のこと、家族との関係や患者本人の対応法など多岐にわたっているが、何より本人並びに家族とのラポール作りと支援関係の継続を第一に業務を進めている。

救急医療については平成 15 年度に B1 病棟が 26 床（現在は 24 床）の救急病棟として整備され、そのうち 12 床が神奈川県基幹病院としてシステム救急用のベッドとなっている。残りの 14 床（現在は 12 床）が院内救急用のベッドとなっている。救急については、本人・家族との面接や生活問題に関する調整をはじめ、県・横浜市・川崎市・相模原市担当課や後方病院との連絡調整などに関わっている。

地域移行（退院支援）については、平成 15 年度から長期在院者の退院促進に対する取り組み、入院患者の減少に伴い、平成 20 年 3 月に A1 病棟（認知症病棟）と C1 病棟（一般開放病棟）が閉棟したのを第 1 期とすると、今年度からの C2、

C3病棟合併に伴う取り組みを第2期として進めている。

平成17年度から施行された医療観察法における指定医療機関として、鑑定入院および、通院医療、小規模での入院医療を受け入れているが、観察担当者（兼任）を1名配置して対応している。（オで再掲）。

平成20年4月からは自殺予防対策の一環としてうつ病を対象としたストレスケア病棟（A2）病棟が開棟しているが、今年度は病棟担当者（兼任）を2名配置して対応している。またリワークプログラムにも多職種チームのスタッフとして対応している。

平成15年度から実施された訪問看護の充実を図るために、18年度から訪問看護スタッフが4名配置されて実施している（イで再掲）。

家族に対する支援も個別的に継続している。地域支援については、地域作業所、グループホームの運営委員会、地域移行定着事業への協力、区の各種ネットワーク会議等への参加を強化している。また医療観察法指定医療機関のワーカーを中心とした、かながわ司法精神医療福祉ネットワークを主催し、連携の強化を図っている。

全国自治体病院協議会精神科特別部会のコメディカル部会（平成19年度より設置）には理事として出席し、全国の会員との交流や連携を推進している。

## ア ソーシャルワーク業務

### ア) 内容別相談件数

{ } は医療観察、( ) はストレス、< > は救急を再掲

内 容	平成22年度			平成21年度計
	外 来	入 院	計	
受療相談、調整	3119	1,528	4,647	4,461
経済関係 (32条申請、生活保護、年金、手当等)	915	1,799	2,714	3,425
治療生活に関すること (ケースワーク、家族調整他)	2,201	4,738	6,939	5,483
社会復帰に関すること（退院、施設他）	1,181	4,205	5,386	4,119
仕事に関すること	409	847	1,256	1,813
転院に関すること	95	1,729	1,824	734
権利に関すること	138	471	609	260
院内及び院外関係機関との連絡調整、 その他	4,306	5,872	10,178	12,108
計	12,364 {1,620}	21,189 {1,092}	33,553 {2,712}	32,403
	( 1,262) <2,692>	( 1,910) <4,813>	( 3,172) <7,505>	

## (イ) 実施方法別相談件数

{ }は医療観察、( )はストレス、〈 〉は救急を再掲

内 容	平成 22 年度			平成21年度計
	外 来	入 院	計	
院内面接（患者、家族、院内外関係者等）	3,970	7,456	11,426	10,249
電 話	5,498	9,079	14,577	15,843
文 書（訪問依頼表、カルテ調べ等）	852	1,374	2,226	1,522
訪 問（保健所、役所、作業所、家庭等）	223	1,334	1,557	553
カンファレンス	1,819	1,946	3,765	4,236
合 計	12,362	21,189	33,551	32,403

## (ウ) 被相談者別相談件数

{ }は医療観察、( )はストレス、〈 〉は救急を再掲

内 容	平成 22 年度			平成21年度計
	外 来	入 院	計	
本 人	2,669	3,844	6,513	8,677
家 族	2,077	3,857	5,934	6,954
院内関係者	4,991	9,843	14,834	11,533
院外関係者（保健所、福祉事務所等）	3,436	5,500	8,936	11,114
その他（職場、後見人、民生委員等）	44	75	119	145
計	13,217	23,119	36,336	38,423

## イ 訪問看護業務

訪問看護は、地域医療相談室に所属する専任の看護師4名、ソーシャルワーカー8名、及び、外来看護師6名、病棟看護師数名が連携し訪問看護業務を実施している。訪問看護登録者は医療観察法対象の患者を含め180名を超え、訪問看護件数も年々増加し、看護も見守りから病状の変化に応じて内容の濃いものになってきている。

交通手段としては3台の訪問看護専用車の他に、病院公用車、一般交通を利用している。道路交通法の改正に伴い、駐車除外許可証が半年毎の更新となり、総務課と協力し許可証を取得した。訪問先は当院近隣の他、泉区、青葉区、港北区、川崎市、横須賀市、鎌倉市、藤沢市、逗子市、小田原市と往復50km以上かかるケースもあり広範囲にわたっている。

地域との連携を大切にし、退院前カンファレンスや訪問看護評価カンファレンスでは、地域の関係者（福祉保健センターソーシャルワーカー、作業所職員、ケアマネージャー、ヘルパー等）に参加してもらい支援の共有化を図った。また、地域主催の家族講座では訪問看護についての講演も行った。

ソーシャルワーカーの学生の実習も受け入れ、訪問看護の必要性和実際を学ぶ場を提供している。

また、県や市の職員の新人研修にも組み込み、必要性和協力を依頼している。

訪問看護運営会議では、地域医療相談室と他部門との連携を図り学習会を行い、訪問看護の質の向上および地域支援の理解普及に努めた。

(ア) 平成15年度から平成22年度までの年間訪問看護件数

年度	15	16	17	18	19	20	21	22
件数	342	746	1,152	2,113	3,118	2,888	2,903	2,966

(イ) 平成22年度月別訪問看護件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問件数	241	233	260	258	251	252	260	249	245	243	249	225	2,966
対象者数	185	189	188	192	184	188	189	184	182	190	196	186	2,253
C F回数	14	13	13	20	16	9	10	15	13	11	11	22	167

(ウ) 平成22年度病診療報酬別訪問件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間件数
訪問 I	239	226	255	250	245	249	257	244	243	232	244	219	2,903
訪問 II	0	4	2	2	0	0	0	1	0	1	0	2	12
退院前訪問	2	3	3	6	6	3	3	4	2	10	5	4	51
合計	241	233	260	258	251	252	260	249	245	243	249	225	2,966

(エ) 平成22年度月別新規申し込み件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
8	5	5	6	5	4	0	0	2	7	3	2	47

(オ) 平成22年度病棟別新規申し込み件数

外来	A2	A3	B1	B2	B3	C2	C3	合計
18	2	2	4	17	2	0	2	47

(カ) 平成22年度終了ケース

目標達成	施設利用	転院	入院	中絶・拒絶	死亡	その他	合計
6	2	9	3	2	7	3	32

(キ) 平成22年度疾患別分類

疾患名	統合失調症 (他疾患の 合併含む)	中毒性精神 障害(薬物・ア ルコール含む)	躁鬱	知的障害	人格障害	強迫性障害	認知症	うつ病	その他	合計
人数	157	7	4	2	1	2	0	8	5	186

(ク) 平成22年度地域別分類

横浜市

地域	港南区	南区	磯子区	戸塚区	中区	泉区	都筑区	栄区	緑区	神奈川区	金沢区	西区	港北区	旭区	鶴見区	瀬谷区	青葉区	合計
人数	33	51	7	24	8	7	11	7	1	2	7	5	2	4	2	1	1	173

県域

地域	川崎市	横須賀市	鎌倉市	逗子市	藤沢市	小田原市	合計
人数	6	2	2	1	1	1	13

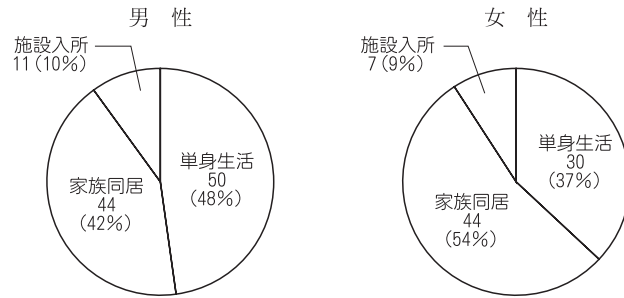
(ケ) 年齢別区分(平成22年3月現在)

20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
11	30	54	41	36	10	4	186



(コ) 平成22年度男女・住居別分類

区 分	男 性	女 性
単 身 生 活	50	30
家 族 同 居	44	44
施 設 入 所	11	7
合 計	105	81



(ケ) 平成22年度学習会状況

訪 問 運 営 会 議	内 容
① 平成22年5月28日	退院前訪問の活用と効果について各病棟意見交換
② 平成22年7月23日	訪問看護の効果を高める社会資源についての学習
③ 平成22年11月26日	訪問看護の活用と効果について

ウ 地域連絡会議

県立病院ソーシャルワーカー連絡会議

会 議 名	場 所	実 施 日
第1回 県立病院ソーシャルワーカー連絡会議	せりがや病院	平成22年7月27日
第2回 県立病院ソーシャルワーカー連絡会議	芹香病院	平成22年11月30日

港南区地域生活支援協議会

会 議 名	場 所	実 施 日
港南区障がい者地域生活支援会議	港南区社会福祉協議会	平成22年5月11日
		7月13日
		9月16日
		11月10日
		平成23年1月24日
		4月11日

港南ネット会議

会 議 名	場 所	実 施 日
平成22年度 第1回 港南ネット会議	港南区社会福祉協議会	平成22年5月14日
平成22年度 第2回 港南ネット会議	港南中央地域ケアプラザ	7月9日
平成22年度 第3回 港南ネット会議	そよかぜの家	9月10日
平成22年度 第4回 港南ネット会議	そよかぜの家	10月12日
平成22年度 第5回 港南ネット会議	港南中央地域ケアプラザ	平成23年1月14日

戸塚区連絡会（H22年度より出席）

会 議 名	場 所	実 施 日
戸塚区精神保健福祉連絡会・ 戸塚区生活支援センター運営連絡会	戸塚区役所	平成22年6月14日
		11月17日
戸塚区精神保健福祉業務連絡会	戸塚区役所	平成22年12月14日

## エ 協議会、研修受け入れ、講師派遣等

### 協議会等

内 容	場 所	参 加 日
全国自治体病院協議会 精神科特別部会総会・研修会	ホテル一畑	平成22年9月1日～3日
精神障害者雇用支援連絡協議会	神奈川障害者職業センター	平成22年9月9日 平成23年3月1日
リワーク研究会	NTT 東日本病院	平成22年11月4日
関東フェニックス7 (全自協コメディカル部会関連)	剛堂会館	平成23年2月19日

### 実習生受け入れ

依 頼 校	人 数	実 施 日
上智社会福祉専門学校	1名	平成22年8月9日～8月24日
桜美林大学	1名	平成22年7月26日～8月11日
県立保健福祉大学	2名	平成22年8月17日～9月17日
聖徳大学	1名	平成23年2月7日～2月27日
県立保健福祉大学	17名	平成22年9月29日

### 現任者の視察・研修受け入れ

内 容	人 数	実 施 日
ストレスケア病棟視察	3名	平成22年6月4日
神奈川県精神保健福祉新任研修	10名	平成22年7月7～9日
横浜市精神保健新任担当者研修	11名	平成22年7月27日
臨床研修（B2病棟にて）	1名	平成22年9月27日・10月4日

### 講師派遣

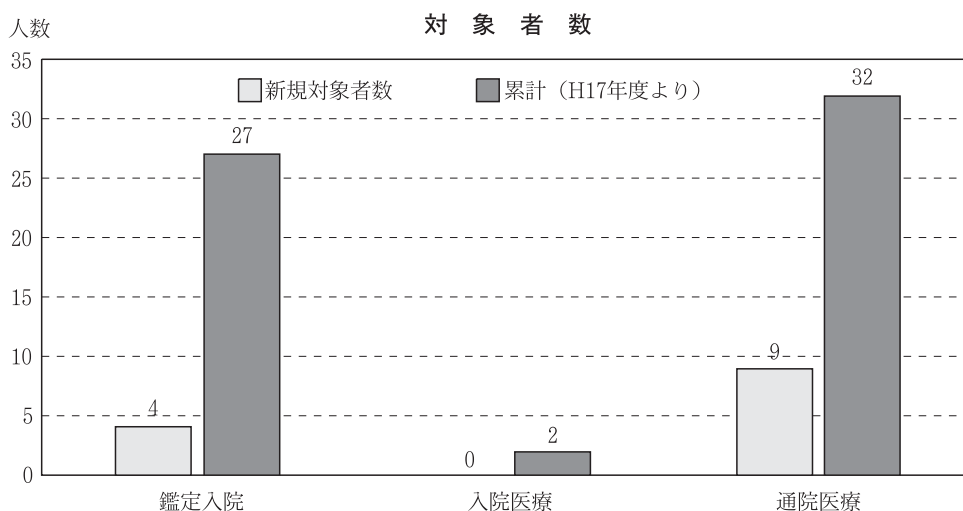
内 容	場 所	実 施 日
淀橋荘事例検討会	更生施設淀橋荘	平成22年9月15日
指定医療機関従事者研修会	ベルサール神田	平成22年11月17日
福祉実習発表会	大妻女子大学	平成22年12月8日
指定入院医療機関従事者病棟研修会	茨城県立友部病院	平成23年1月28日
医療観察法病棟入院対象者家族会	久里浜アルコール症センター	平成23年3月4日

## オ 医療観察制度の取組み

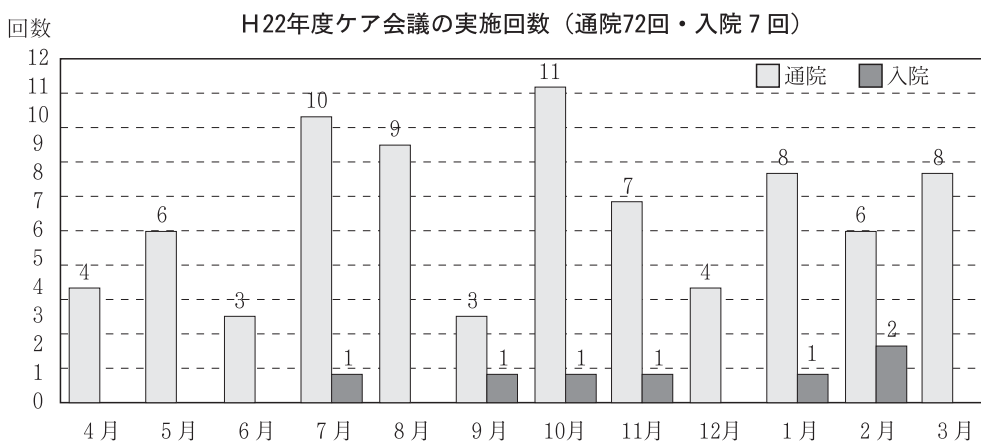
H17年7月15日より施行された「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律（医療観察制度）」では、医療と司法が連携の上で対象者の社会復帰に必要な処遇（それに伴う入院及び通院医療）を行なうとされている。当院では救急病棟であるB1病棟での鑑定入院ならびに小規模病棟における入院医療、外来・訪問看護・デイケアなどを基本とした通院医療を、それぞれ多職種チーム（MDT）を編成して提供している。入院医療では週に1回の治療評価会議・MDT会議をベースに、通院医療では月に1回のチーム会議をベースにして、3ヶ月に1回程度のケア会議を軸にした処遇を展開している。これら全体を統括する医療観察法運営会議を月に1回開催している。地域医療相談室に医療観察担当者（兼任）が配置され、訪問看護調整者と連携の上で全体調整及び直接処遇を行なっている。今年度からは事務担当が1名配置され、各種手続き書類や評価シートなどの文書整理やケア会議等のスケジュール

ル管理など、マネジメント機能の強化充実が飛躍的に図られている。また、院内研修の実施および他県の医療機関等の視察研修や新任社会復帰調整官の研修も受け入れている。なお引き続き、円滑な制度運営に向けて、県内の指定医療機関のソーシャルワーカーおよび社会復帰調整官のネットワーク（かながわ司法精神医療福祉ネットワーク）を実施している。精神・神経科学振興財団主催の指定医療機関従事者研修の講師を継続して担当している。

#### 対象者数



#### ケア会議の開催回数



#### 研 修（受入れ）

内 容	依頼機関・人数	実 施 日
病 棟 全 体 研 修	東京都立松沢病院 1名	平成22年8月3日～5日
医 療 観 察 法 病 棟 研 修	茨城県立友部病院 1名	平成22年8月13日
医療観察法病棟及び急性期病棟研修	駒ヶ根病院 3名	平成22年10月21日～22日
社会復帰調整官実務実習	横浜保護観察所 1名	平成22年11月22日～26日

#### 連絡会

内 容	開 催 場 所	実 施 日
かながわ司法精神医療福祉 ネ ッ ト ワ ー ク 会 議	芹 香 病 院	平成22年4月20日
	藤 沢 病 院	7月30日
	北里大学東病院	10月29日
	横浜保護観察所	平成23年1月21日

## 講師派遣（再掲）

内 容	開 催 場 所	実 施 日
指定医療機関従事者研修会	ベルサール神田	平成22年11月17日
指定入院医療機関従事者病棟研修会	茨城県立友部病院	平成23年1月28日
医療観察法病棟入院対象者家族会	久里浜アルコール症センター	平成23年3月4日

## (6) 薬剤業務

調剤業務では、年間調剤数は入院115,348件、外来148,577件、合計263,925件である。一日平均調剤数は1,077.2件、一日平均処方せん枚数は251.8枚となっている。院外処方せんの発行枚数は、1,209枚で、発行率としては4.83%であった。

薬剤情報提供業務（外来）は、服薬アドヒアランス向上のため平成20年6月からは外来患者さん全員を対象に毎回行うこととした。保険点数算定件数は、処方内容に変更が無い場合は月1回のみ算定し19,558件だった。

薬剤管理指導業務（入院）は、指導実患者数延べ41人、指導回数延べ77回実施した。

製剤業務では、製剤品目20品目で、そのうち約束処方4品目である。錠剤の散剤化製剤は13品目（24,780錠）調整し調剤業務の効率化を図った。

事故防止の推進のため、昨年度から引き続いて調剤の手順や方法、調剤室の人員配置等を見直し改善した。薬剤科の「医療安全報告書」の報告件数は平成18年度が106件だったが、平成19年度が58件、平成20年度が35件、平成21年度は41件、平成22年度は7件だった。

薬品管理業務では、購入薬品数は720品目であった。薬効別薬品購入額では、中枢神経系用薬が、90.9%、循環器官用薬、消化器官用薬及びその他の薬剤が、9.1%であった。

向精神薬の管理は、緊急時に対応できる在庫管理を全品目実施した。又、調剤室の全薬品の在庫量の確認を半期毎に実施した。病棟・外来の常備・救急薬品の管理については、薬剤師による点検を毎月実施した。

薬事会議は、6月、10月、11月、2月の4回開催した。新規採用医薬品20品目、緊急購入医薬品16品目、削除医薬品19品目であった。

医薬品情報管理業務では、「医薬品情報」（DIニュース）を13回発行した。

オーダーリングシステムが平成21年12月から導入された。手書き処方箋と比較して照会件数が減少し、外来患者さんの待ち時間の短縮に繋がった。

### A 平成22年度調剤数

区 分	処方せん枚数	剤 数	延 べ 剤 数	1 日 平 均	
				剤 数	延 べ 剤 数
入 院	37,840 枚	115,348 件	768,007 剤	476.6 件	3,173.6 剤
外 来	23,843	148,577	3,674,856	614.0	15,185.4
計	61,683	263,925	4,442,863	1,090.6	18,359.0

### B 平成22年度注射剤払い出し本数

注射せん枚数	500 ml 未 満	500 ml 以 上	計
4,178 枚	7,163 本	3,202 本	13,567 本

C 平成22年度製剤数

内 用 散 剤	外 用 液 剤		軟 膏 剤	錠 剤 の 粉 砕
	非 滅 菌 製 剤	滅 菌 製 剤		
14,669 g	280,300 ml	0 ml	0 g	24,780 錠

D 平成22年度剤型別薬品購入額

剤 型	品 目 数	%	購 入 額	%
注 射	75 品	10.4 %	29,455,797 円	7.9 %
内 服	577	80.1	340,853,884	91.7
外 用	62	8.6	1,247,991	0.3
消 毒 液	6	0.8	88,527	0.1
計	720	100.0	371,678,249	100.0

E 平成22年度薬効別薬品購入額

薬 効	品 目 数	%	購 入 額	%
精 神 神 経 用 剤	220 品	30.6 %	303,992,096 円	81.8 %
抗 て ん かん 剤	33	4.6	11,097,369	3.0
抗 パ ー キ ン ソ ン 剤	20	2.8	6,082,856	1.6
睡 眠 鎮 静 剤 ・ 抗 不 安 剤	70	9.7	17,870,895	4.8
循 環 器 官 用 薬	56	7.8	3,987,423	1.1
消 化 器 官 用 薬	61	8.5	12,105,671	3.2
そ の 他 の 薬 剤	260	36.0	16,541,939	4.5
計	720	100.0	371,678,249	100.0

(7) 医療教育

ア 臨床研修医受入状況

管理型病院名	月											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
足 柄 上 病 院		1	1	1	1	2	1		1			
厚 木 市 立 厚 木 病 院		1	1	1	1	1						
国 際 親 善 総 合 病 院						1	1	1				
汐 見 台 病 院				1	1							

平成22年度は臨床研修協力型病院として次のとおりに臨床研修医を受け入れた。(単位：人)

イ 講師派遣

派 遣 先
横 浜 市 立 大 学 医 学 部
北 里 大 学
横 浜 創 英 短 期 大 学
横 浜 労 災 病 院

## ウ 研修受入れ

対 象	人 数	実 施 日
横浜市立大学医学部学生	4～5人	毎週火曜日（見学実習）

## (8) 栄養管理科業務

栄養管理科の業務は、患者一人一人にあった栄養管理を行い、安全・安心な食事を提供して、自立支援へとつなげることを目的としている。

昨年度はオーダーリングシステムが導入され、部門システム「栄養給食システム」により安定した食数管理および厨房への調理指示に効率化が図られた。さらに本年度はオーダーリングシステムを活用して管理栄養士が患者身体情報の入力を行い、検体検査結果等の閲覧と併せて患者個人栄養管理の効率化を図った。

NSTは、入院時の栄養評価および「病棟栄養カンファレンス」という名称で、病棟毎に毎月栄養管理上の課題をもつ患者を個別に継続検討し、その結果は項目「イ」に表記した。

## ア 給食実施状況

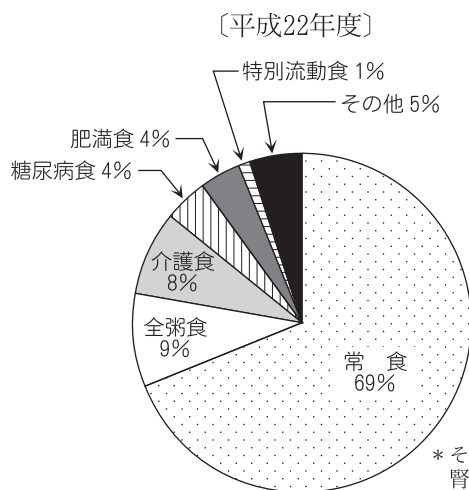
入院患者総数の減により、入院給食数も比例して対前年度比94.4%（一日平均666食）であった。デイ・ケア提供食数は対前年度比97.8%（一日平均29.5食）と入院給食数に比べ減少幅が小さかった。

食種構成比は、前年度とほぼ変化はないが、介護食（とろみ付キザミ食）と全粥食の食数が逆転した。特別食では肥満食（非加算）211%、ソフト食（非加算）158%、肥満食（加算）147%の増が際立っていた。ソフト食とは嚥下・咀嚼困難対応の患者提供食であるが、さらに精神科特有の「嚥まずに飲み込まずに、口に詰め込む」患者の対応食としても利用している。

形態別では、介護食（とろみ付キザミ食）やミキサー食は対前年度比78.8%、49.0%と減少した。これはNST活動で「全量摂取を目的とした個人対応」を調理に反映し「一口大」「小さい一口大」のほか「果物一口大」「主菜一口大」「麺一口大」「麺キザミ」などの形態対応を、すべての食種に細やかに実施した結果である。なお、形態対応食数は21年度は17,520食あったが22年度は26,234食と対前年度比150%であった。

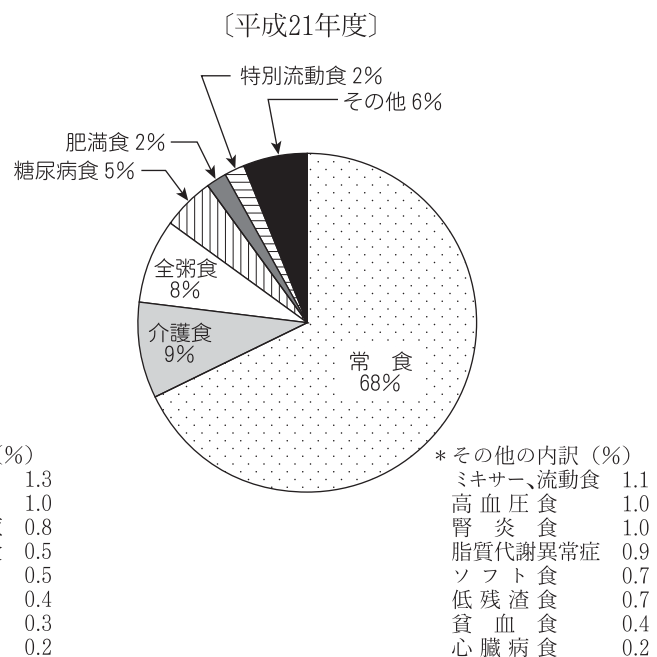
区 分		年 度	22年度	21年度	対前年度比 (%)
一 般 食	常 食		160,236	167,635	95.6
	軟 流 動 食	全 粥 食	20,140	20,607	97.7
		介 護 食	18,187	23,050	78.9
		ミ キ サ ー 食	1,293	2,639	49.0
		流 動 食	0	92	—
		小 計	39,620	46,388	85.4
計		199,856	214,023	93.4	
特 別 食	加 算 で き る も の	腎 炎 食	3,133	2,128	147.2
		心 臓 病 食	984	422	233.2
		肝 臓 病 食	51	0	—
		糖 尿 病 食	9,198	11,540	79.7
		脾 臓 病 食	0	0	—
		ネ フ ロ ー ゼ 食	0	0	—
		潰 瘍 食	62	44	140.9
		貧 血 食	1,203	912	131.9
		脂 質 代 謝 異 常 症	1,776	1,877	94.6
		肥 満 食	4,688	3,186	147.1
	通 風 食	0	0	—	
	小 計	21,095	20,109	104.9	
	加 算 で き な い も の	肥 満 食	4,470	2,114	211.4
		高 血 圧 食	673	2,344	28.7
		貧 血 食	0	0	—
		特 別 流 動 食	3,140	4,632	67.8
		脂 質 代 謝 異 常 症	0	0	—
		低 残 渣 食	641	1,372	46.7
		ソ フ ト 食	2,488	1,575	158.0
		小 計	11,412	12,037	94.8
計		32,507	32,146	101.1	
合 計			232,363	246,169	94.4
院 外 作 業 食 ・ 病 棟 レ ク 食			(399)	(317)	125.9
デ イ ・ ケ ア			7,165	7,327	97.8
検 食 ・ 保 存 食			2,190	2,190	100.0
職 員 食 ( 実 習 生 )			28,496 (546)	27,035 (204)	105.4 (267.6)
総 合 計			270,214	282,721	95.6

\*院外作業食、病棟レク食（ ）は再掲 \*職員食（ ）は実習生で内数



\*その他の内訳 (%)

腎炎食	1.3
ソフト食	1.0
脂質代謝異常症	0.8
ミキサー、流動食	0.5
貧血食	0.5
心臓病食	0.4
高血圧食	0.3
低残渣食	0.2



\*その他の内訳 (%)

ミキサー、流動食	1.1
高血圧食	1.0
腎炎食	1.0
脂質代謝異常症	0.9
ソフト食	0.7
低残渣食	0.7
貧血食	0.4
心臓病食	0.2

## イ 栄養管理・NST活動

各病棟単位で毎月の経過観察を中心に検討を行う病棟NSTとともに、院内全体の「栄養管理・NST会議」を毎月開催している。本年度はNST拡大研修を「経口摂取マニュアル～水分管理と栄養管理の基礎」と題し開催した。

個人栄養管理計画書作成状況と経過観察症例数は下記のとおりである。

病棟	A2	A3	B1	B2	B3	C2	C3	計
新規作成件数（入院対象）	163	17	212	123	38	15	12	580
カンファレンス経過観察対象件数	48	97	0	51	101	97	95	489

※A3、B3、C2、C3病棟は入院期間が長い継続観察を行っている対象件数が多い。

## ウ 栄養指導

本年度の集団指導は、新しくストレス外来治療プログラム「リワーク」と共催で立ち上がった集団指導のほか、病棟NSTで浮かび上がった入院生活を送る上で問題解決の一環となる集団指導、作業療法科就職前講座への動機づけ集団指導、デイ・ケア患者対象の「食育」集団指導など精神科特有な視点に立ったプログラムを構成し実施した。個別指導の主な内容は肥満症、糖尿病、脂質代謝異常症である。また、一部であるが、集団指導で動機づけされた患者からのリクエストで実施された事例もある。

区分 年度	入院				外来				合計			
	集団指導		個別指導		集団指導		個別指導		集団指導		個別指導	
	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数
22	23	119	17	18	5	77	8	10	28	196	25	28
21	11	61	20	20	1	29	15	25	12	90	35	45
対前年度比(%)	209.1	195.1	85.0	90.0	500.0	265.5	53.3	40.0	233.3	217.8	71.4	62.2

## エ その他

- (1) 栄養健康情報の発行：病棟配布献立表に栄養健康情報を掲載し、病棟および外来患者待合室に掲示している。
- (2) 実習生の受け入れ：栄養士養成施設の学生実習を受け入れ、栄養士養成カリキュラムに則り2週間の実習を行っている。その他、看護学生や地域相談室研修生への講義も実施している。



## (9) 保育業務

平成22年度は、精神医療センター及びこども医療センターに勤務する看護師、准看護師の幼児を対象とするとともに、保育時間も6時30分から22時までとしている。また、毎週土曜日と月1回日曜保育（第3を基本）も実施している。

### ア 保育の状況

年 齢	男	女	計	保 護 者 の 所 属	
6 歳	1	1	2	精神医療センター 1	こども医療センター 1
5 歳	2	4	6	精神医療センター 1	こども医療センター 5
4 歳	1	1	2	精神医療センター 1	こども医療センター 1
3 歳	2	5	7	精神医療センター 4	こども医療センター 3
2 歳	4	3	7	精神医療センター 2	こども医療センター 5
1 歳	2	2	4	精神医療センター 1	こども医療センター 3
計	12	16	28	精神医療センター 10	こども医療センター 18

### イ 主な行事

月	内 容	
4	進級式、クラス懇談会、クッキング	誕生会
5	遠足、病院の作品展参加、芋苗植え	〃
6	ぎょう虫検査、クッキング、春の健康診断	〃
7	プール開き、終園式      プールは～8/31まで毎日実施	〃
9	始園式、クッキング、梨狩り遠足、秋祭り	〃
10	運動会、ハロウィンパーティー	〃
11	芋掘り、秋の健康診断、歯みがき指導	〃
12	クリスマスお楽しみ会、終園式、なかよし発表会	〃
1	始園式、個人面談、もちつき大会	〃
2	お別れ会カレーパーティー、お店屋さんごっこ	〃
3	お別れ遠足、卒園式、終園式	〃

### Ⅲ せりがや病院事務事業の状況

# 1 せりがや病院基本方針

- 1 依存症の専門病院として、最新の知識を生かし、質の高い医療を提供するとともに、啓発活動に努めます。
- 2 患者様の人権に配慮し、インフォームド・コンセントを重視します。
- 3 職員間の連携を図り、チーム医療に努めます。
- 4 ご家族や関連諸機関と連携し、患者様の社会復帰を目指します。
- 5 県立病院として健全な経営に努力します。

## 2 経理の状況

### (1) 地方独立行政法人会計 決算状況

#### (ア) 貸借対照表

(平成23年3月31日)

【地方独立行政法人神奈川県立病院機構せりがや病院】

(単位：円)

科 目	金 額	
資 産 の 部		
I 固 定 資 産		
1 有 形 固 定 資 産		
土 地		376,727,243
建 物	647,228,000	
減 価 償 却 累 計 額	△ 29,227,729	618,000,271
構 築 物	22,513,363	
減 価 償 却 累 計 額	△ 1,534,621	20,978,742
器 械 備 品	31,511,720	
減 価 償 却 累 計 額	△ 4,970,633	26,541,087
車 両	0	
減 価 償 却 累 計 額	0	0
放 射 性 同 位 元 素	0	
減 価 償 却 累 計 額	0	0
建 設 仮 勘 定		0
有 形 固 定 資 産 合 計		1,042,247,343
2 無 形 固 定 資 産		
ソ フ ト ウ ェ ア		0
電 話 加 入 権		8,000
そ の 他		0
無 形 固 定 資 産 合 計		8,000
3 投 資 そ の 他 の 資 産		
長 期 前 払 消 費 税 等		1,875,927
破 産 更 生 債 権 等	20,448,478	
貸 倒 引 当 金	△ 20,448,478	0
そ の 他		130,000
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計		2,005,927
固 定 資 産 合 計		1,044,261,270
II 流 動 資 産		
現 金 及 び 預 金		31,432,979
未 収 金	85,083,368	
貸 倒 引 当 金	△ 3,515,155	81,568,213
た な 卸 資 産		4,241,556
前 払 費 用		0
流 動 資 産 合 計		117,242,748
資 産 合 計		1,161,504,018

## (ア) 貸借対照表

(平成23年3月31日)

【地方独立行政法人神奈川県立病院機構せりがや病院】

(単位：円)

科 目	金 額		
<b>負 債 の 部</b>			
<b>I 固 定 負 債</b>			
資 産 見 返 負 債			
資 産 見 返 寄 附 金	0		
資 産 見 返 物 品 受 贈 額	89,551,939		
建 設 仮 勘 定 見 返 運 営 費 負 担 金	0		
建 設 仮 勘 定 見 返 補 助 金 等	0	89,551,939	
長 期 借 入 金		5,700,000	
移 行 前 地 方 債 償 還 債 務		430,204,000	
引 当 金			
退 職 給 付 引 当 金	448,863,332	448,863,332	
一 時 債 務		3,043,169	
<b>固 定 負 債 合 計</b>			<b>977,362,440</b>
<b>II 流 動 負 債</b>			
寄 附 金 債 務		0	
一 年 以 内 返 済 予 定 移 行 前 地 方 債 償 還 債 務		55,382,000	
未 払 金		11,666,907	
一 年 以 内 支 払 予 定 リ ー ス 債 務		1,196,040	
未 払 費 用		17,849,664	
未 払 消 費 税 等		0	
前 受 金		0	
預 り 金		1,143,358	
引 当 金			
賞 与 引 当 金	31,959,875	31,959,875	
<b>流 動 負 債 合 計</b>			<b>119,197,844</b>
<b>負 債 合 計</b>			<b>1,096,560,284</b>
<b>純 資 産 の 部</b>			
<b>I 資 本 金</b>			
設 立 団 体 出 資 金		63,449,599	
<b>資 本 金 合 計</b>			<b>63,449,599</b>
<b>II 利 益 剰 余 金</b>			
当 期 未 処 分 利 益		1,494,135	
(うち当期総利益)		(1,494,135)	
<b>利 益 剰 余 金 合 計</b>			<b>1,494,135</b>
<b>純 資 産 合 計</b>			<b>64,943,734</b>
<b>負 債 純 資 産 合 計</b>			<b>1,161,504,018</b>



### 3 業務実績

#### (1) 各種指標

項目	計算方式	単位	平成22年度	平成21年度	対前年度比(%)	備考
病床数		床	80	80	100.0	
取扱患者数		人	33,922	33,543	101.1	
入院患者		人	19,231	20,081	95.8	
外来患者		人	14,691	13,462	109.1	
1日平均取扱患者数		人	113.0	110.6	102.2	
入院患者	取扱入院患者数/年間日数 365日	人	52.6	55.0	95.6	
外来患者	取扱外来患者数/年間外来診療日数	人	60.4	55.6	108.6	
病床利用率	取扱入院患者数/延病床数×100	%	64.7	68.8	94.0	
平均在院日数	入院延患者数/(入院患者数+退院患者数)×0.5	日	60.0	59.0	101.7	
入院外来患者比率	取扱外来患者数/取扱入院患者数×100-100	%	76.3	67.0	113.9	
医師・看護師1人当たりの取扱患者数						
医師	取扱患者数/医師延人数	人	18.6	18.4	101.1	
看護師	取扱患者数/看護師延人数	人	2.4	2.5	104.1	
職員数		人	57	57	100.0	期末人数
医師		人	5	5	100.0	期末人数
看護師		人	37	37	100.0	期末人数
その他職員		人	15	15	100.0	期末人数
病床100床当たりの職員数	全職員数/病床数×100	人	71.2	71.2	100.0	
医師	職員数/病床数×100	人	6.2	6.2	100.0	
看護師	職員数/病床数×100	人	46.2	46.2	100.0	
その他職員	職員数/病床数×100	人	18.8	18.8	100.0	
患者1人当たりの収益	医業収益/取扱患者数	円	13,451	12,883	104.4	
入院患者	入院収益/入院患者数	円	15,967	15,242	104.8	
外来患者	外来収益/外来患者数	円	9,986	9,148	109.2	
医師・看護師1人1日当たりの収益						
医師	医業収益/医師延人数	円	250,024	236,798	105.6	
看護師	医業収益/看護師延人数	円	33,787	32,000	105.6	
患者1人1日当たりの費用	医業費用/取扱患者数	円	24,594	25,659	95.8	
患者1人当たりの薬品費	薬品費/取扱患者数	円	2,221	1,751	98.9	
患者1人当たりの給食材料費	給食材料費/取扱入院患者数	円	863	863	100.0	
医業収益に対する費用比率	医業費用/医業収益×100	%	183.0	199.1	91.9	
給与費	給与費/医業収益×100	%	129.4	146.0	88.6	
材料費	材料費/医業収益×100	%	20.9	18.3	114.8	
経費	経費/医業収益×100	%	24.4	27.2	87.7	

(注) 医師、看護師の延人数は、期末の在籍人数に365日(平成22・21年度共)を乗じ算出した

## 4 患者の状況

### (1) 外来患者の状況

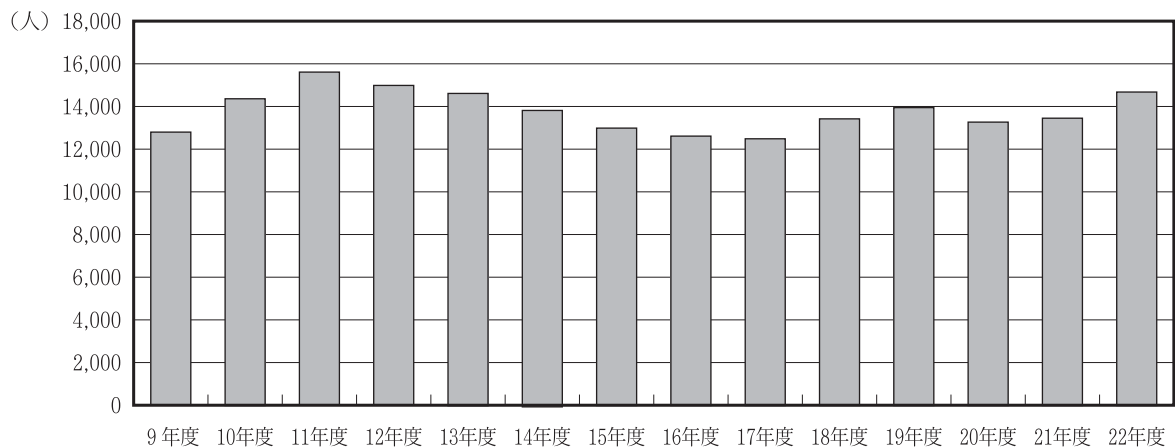
延患者数は1,229人の増で対前年度比9.1%の増となっている。そのうち、再来は、1,271人の増で対前年度比10.0%の増、新患は42人の減で対前年度比5.4%減となっている。新外来患者において、依存薬物別ではアルコールが53.0%で最も大きな割合を占め、年齢別では40～49歳の構成比が36.7%と最も多くなっている。また、外来患者の受診経路は医療機関からの経路が最も多く、全体の39.5%を占めている。

#### ア 月別外来患者数

年度	月 区分	月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
22	新 患	71	59	66	59	59	49	67	57	59	57	61	70	734
	再 来	1,167	1,078	1,204	1,212	1,196	1,175	1,125	1,136	1,142	1,156	1,052	1,314	13,957
	延患者数	1,238	1,137	1,270	1,271	1,255	1,224	1,192	1,193	1,201	1,213	1,113	1,384	14,691
	一日平均	58.9	63.1	57.7	60.5	57.0	61.2	59.6	59.7	63.2	63.8	58.5	62.9	60.4
21	新 患	67	67	81	79	59	61	64	55	62	59	56	66	776
	再 来	983	916	1,009	1,104	1,018	1,066	1,097	1,061	1,044	1,118	1,042	1,228	12,686
	延患者数	1,050	983	1,090	1,183	1,077	1,127	1,161	1,116	1,106	1,177	1,098	1,294	13,462
	一日平均	50.0	54.6	49.5	53.8	51.3	59.3	55.3	58.7	58.2	61.9	57.8	58.8	55.6

(注) 精神科のほか、内科受診者を含む

#### イ 外来患者数の年次推移状況



#### ウ 依存薬物別新外来患者数

年度	依存薬物等 (F1) 区分	アルコール	有機溶剤	覚せい剤	麻 薬	大 麻	その 他 薬 物	その 他 精神障害	計
		22	男	302	7	122		9	
	女	77	1	46		3	34	19	180
	計	379	8	168		12	86	50	703
	構 成 比	53.9	1.1	23.9		1.8	12.2	7.1	100.0
21	男	341	10	114	5	6	52	33	561
	女	95	2	41		3	32	18	191
	計	436	12	155	5	9	84	51	752
	構 成 比	57.9	1.6	20.6	0.7	1.2	11.2	6.8	100.0



エ 年齢別新外来患者数

年度	年齢 区分	年齢							計
		19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	
22	男	9	55	103	144	106	66	40	523
	女	11	42	49	43	26	8	1	180
	計	20	97	152	187	132	74	41	703
	構成比	2.8	13.8	21.6	26.7	18.8	10.5	5.8	100.0
21	男	2	53	137	160	91	76	42	561
	女	9	38	50	48	30	10	6	191
	計	11	91	187	208	121	86	48	752
	構成比	1.5	12.1	24.9	27.5	16.1	11.5	6.4	100.0

オ 地域別実外来患者数

居住地	年度	年度		居住地	年度	年度		居住地	年度	年度				
		22	21			22	21			22	21			
横 濱 市	鶴 見 区	63	45	横 須 賀 市	49	47	足 柄 上 郡	中 井 町	2	0	足 柄 下 郡	箱 根 町	1	1
	神 奈 川 区	45	44	平 塚 市	27	31		大 井 町	2	0		真 鶴 町	0	0
	西 区	37	39	鎌 倉 市	29	32		松 田 町	2	2	湯 河 原 町	2	1	
	中 区	107	107	藤 沢 市	64	55		山 北 町	0	0	県 内 計	1,624	1,562	
	南 区	177	165	小 田 原 市	14	17		開 成 町	0	0	東 京 都	68	59	
	港 南 区	113	113	茅 ケ 崎 市	31	37		足 柄 下 郡	3	2	埼 玉 県	3	6	
	保 土 ケ 谷 区	71	57	逗 子 市	5	3	箱 根 町	1	1	千 葉 県	4	6		
	旭 区	65	62	相 模 原 市	21	44	真 鶴 町	0	0	群 馬 県	1	0		
	磯 子 区	79	65	三 浦 市	6	2	湯 河 原 町	2	1	栃 木 県	7	1		
	金 沢 区	47	43	秦 野 市	6	8	県 外 計	127	88	山 梨 県	1	1		
	港 北 区	49	53	厚 木 市	12	17	住 所 不 明	0	0	静 岡 県	0	6		
	緑 区	19	23	大 和 市	25	21	計	1,751	1,650	茨 城 県	2	0		
	戸 塚 区	112	106	伊 勢 原 市	7	6	そ の 他 の 県	41	9	大 磯 町	2	5		
	瀬 谷 区	38	30	海 老 名 市	12	16	二 宮 町	2	3	中 郡	4	8		
	栄 区	30	26	座 間 市	12	16	愛 甲 郡	2	3	愛 川 町	2	3		
	泉 区	49	48	南 足 柄 市	1	0	清 川 村	0	0	綾 瀬 市	10	7		
	青 葉 区	28	16	三 浦 郡 葉 山 町	3	2	中 郡	4	8	三 浦 郡 葉 山 町	3	2		
	都 筑 区	18	19	高 座 郡 寒 川 町	10	5	大 磯 町	2	5	高 座 郡 寒 川 町	10	5		
	川 崎 市	118	120	愛 甲 郡	2	3	二 宮 町	2	3	愛 甲 郡	2	3		
川 崎 区	40	35	中 郡	4	8	大 磯 町	2	5	中 郡	4	8			
幸 区	21	22	中 郡	4	8	二 宮 町	2	3	中 郡	4	8			
中 原 区	13	17	中 郡	4	8	大 磯 町	2	5	中 郡	4	8			
高 津 区	21	19	中 郡	4	8	二 宮 町	2	3	中 郡	4	8			
宮 前 区	9	7	中 郡	4	8	大 磯 町	2	5	中 郡	4	8			
多 摩 区	11	15	中 郡	4	8	二 宮 町	2	3	中 郡	4	8			
麻 生 区	3	5	中 郡	4	8	大 磯 町	2	5	中 郡	4	8			

(注1) 新患・再来を含め、同一患者について一人としてカウントした数

カ 新外来患者の受診経路

年度	依存薬物等 (F1) 受診経路	アルコール	有機溶剤	覚せい剤	麻 薬	大 麻	そ の 他 薬 物	そ の 他 精神障害	計	構成比
22	退院者、通院歴あり	97	3	53		4	29	7	193	27.5
	医 療 機 関 (精 神 科)	82	3	23		3	22	4	137	19.4
	医 療 機 関 (その他診療科)	111	1	16			10	3	141	20.1
	保 健 所	6		3			3	1	13	1.8
	福 祉 事 務 所	25		21		1	2		49	7.0
	断 酒 会 A - A	7		10		1	4	1	23	3.3
	職 場 関 係 者			1			2	27	30	4.3
	友 人 ・ 知 人	13		10		1	1	4	29	4.1
	警 察	1		5		1			7	1.0
	そ の 他	37	1	26		1	13	3	81	11.5
	計	379	8	168		12	86	50	703	100.0
21	退院者、通院歴あり	124	7	67	2	3	28	10	241	32.1
	医 療 機 関 (精 神 科)	93	2	16	1	3	21	11	147	15.1
	医 療 機 関 (その他診療科)	90		10			5	3	108	19.0
	保 健 所	10	1	2		1	1		15	2.0
	福 祉 事 務 所	30		16	1		5	3	55	7.4
	断 酒 会 A - A	5		4	1		4		14	1.9
	職 場 関 係 者	6					1	24	31	4.1
	友 人 ・ 知 人	19	1	9			4		33	4.0
	警 察	1		6			2		9	1.2
	そ の 他	58	1	25		2	13		99	13.2
	計	436	12	155	5	9	84	51	752	100.0

## (2) 入退院患者の状況

延患者数は対前年度比4.2%、850人減少している。病床利用率は、対前年度比4.1ポイント減となった。

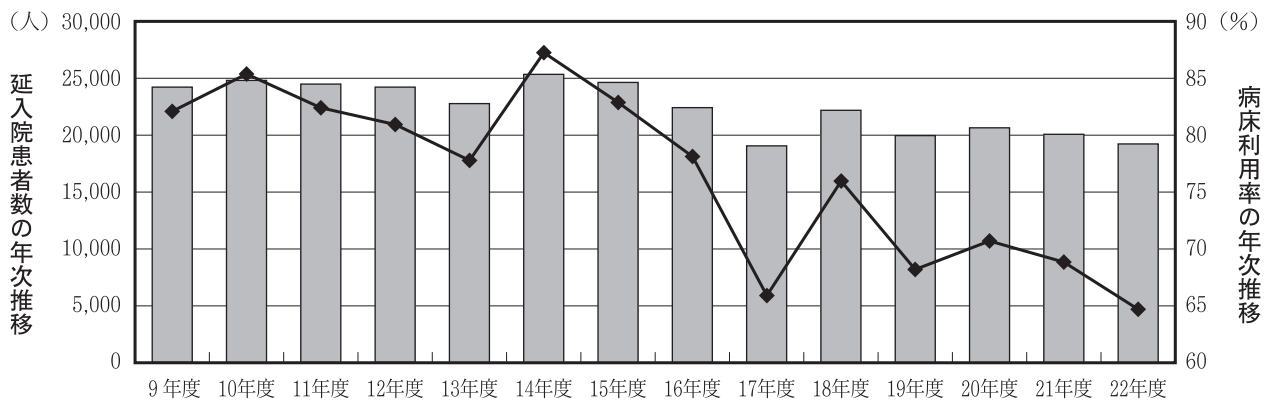
新入院患者は、対前年度比10.7%、40人減少している。新入院患者の病類別の構成比はアルコール依存症の割合が最も多く69.6%を占め、次いで覚せい剤中毒の13.3%となっている。入院形態は任意入院が全体の95.8%を占めている。退院患者の転帰は軽快の割合が多く、67.1%を占めている。

### ア 月別入退院患者数

年度	月 区分	月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
22	入院	31	25	32	26	27	34	25	23	22	21	22	21	309
	退院	37	25	33	27	27	35	25	29	31	19	19	24	331
	延患者数	1,918	1,756	1,664	1,814	1,782	1,815	1,773	1,548	1,382	1,260	1,252	1,267	19,231
	病床利用率	79.9	70.8	69.3	73.1	71.9	75.6	71.5	64.5	55.7	50.8	55.9	51.1	64.7
21	入院	30	20	27	32	28	23	31	44	16	32	29	34	346
	退院	26	19	27	35	25	32	32	32	35	20	24	28	335
	延患者数	1,686	1,819	1,663	1,860	1,741	1,638	1,534	1,603	1,558	1,509	1,653	1,817	20,081
	病床利用率	70.3	73.3	69.3	75.0	70.2	68.3	61.9	66.8	62.8	60.8	73.8	73.3	68.8

(注) 月別に新たに入院した数

### イ 延入院患者数及病床利用率の年次推移状況



### ウ 依存薬物別入院患者数

年度	区分	依存薬物等 (F1)							計	
		アルコール	有機溶剤	覚せい剤	麻薬	大麻	その他薬	その他精神障害		
22	男	172	3	29			2	25	1	232
	女	43		12			1	20	1	77
	計	215	3	41			3	45	2	309
	構成比	69.6	1.0	13.3			1.0	14.5	0.6	100.0
21	男	203	2	26	2			26	3	262
	女	50		13			1	20		84
	計	253	2	39	2		1	46	3	346
	構成比	73.0	0.6	11.3	0.6	0.3		13.3	0.9	100.0

(注) 本表の患者数とは、当年度に新たに入院した患者数

エ 病類別・年齢別実入院患者数

年度	年齢	依存薬物等 (F1)		アルコール	有機溶剤	覚せい剤	麻 薬	大 麻	そ の 他 物	そ の 他 精神障害	計	年 齢 比	
		区分	区分										
22	19歳以下	男		1				1	1		3	2.3	
		女							3		4		
		小計		1		1		1	4		7		
	20～29歳	男			2		6		1	8		17	9.3
		女			3		2		1	5	1	12	
		小計			5		8		2	13	1	29	
	30～39歳	男			25	1	6			11		43	20.4
		女			10		5			5		20	
		小計			35	1	11			16		63	
	40～49歳	男			45		10			5		60	28.2
		女			18		4			5		27	
		小計			63		14			10		87	
	50～59歳	男			57	2	7					66	25.5
		女			11					2		13	
		小計			68	2	7			2		79	
	60～69歳	男			31						1	32	10.7
女				1							1		
小計				32						1	33		
70歳以上	男			11							11	3.6	
	女												
	小計			11							11		
計	男			172	3	29		2	25	1	232	100.0	
	女			43		12		1	20	1	77		
	計			215	3	41		3	45	2	309		
	構成比			69.6	1.0	13.3		1.0	14.5	0.6	100.0		
21	19歳以下	男											
		女											
		小計											
	20～29歳	男			7		1			6		14	8.1
		女			5		4		1	4		14	
		小計			12		5		1	10		28	
	30～39歳	男			24	2	13	1		11		51	20.5
		女			9		5			6		20	
		小計			33	2	18	1		17		71	
	40～49歳	男			62		8	1		6		77	29.5
		女			17		3			5		25	
		小計			79		11	1		11		102	
	50～59歳	男			59		3			3	2	67	24.3
		女			12					5		17	
		小計			71		3			8	2	84	
	60～69歳	男			37		1				1	39	13.0
女				5		1					6		
小計				42		2				1	45		
70歳以上	男			14							14	4.6	
	女			2							2		
	小計			16							16		
計	男			203	2	26	2		26	3	262	100.0	
	女			50		13		1	20		84		
	計			253	2	39	2	1	46	3	346		
	構成比			73.5	3.2	8.7		0.3	13.4	0.9	100.0		

(注) 本表の患者数とは、当年度に新たに入院した患者数

オ 地域別実入院患者数

居住地域	年度		居住地域	年度		居住地域	年度			
	22	21		22	21		22	21		
横浜市	207	241	横須賀市	6	8	足柄上郡	1	1		
	鶴見区	10	12	平塚市	11		7	中井町	0	0
	神奈川区	12	10	鎌倉市	7		12	大井町	1	0
	西区	5	14	藤沢市	19		21	松田町	0	1
	中区	24	31	小田原市	1		3	山北町	0	0
	南区	31	38	茅ヶ崎市	5	6	開成町	0	0	
	港南区	19	25	逗子市	0	0	足柄下郡	0	0	
	保土ヶ谷区	13	8	相模原市	1	9	箱根町	0	0	
	旭区	12	8	三浦市	1	1	真鶴町	0	0	
	磯子区	9	14	秦野市	1	0	湯河原町	0	0	
	金沢区	9	11	厚木市	1	2	県内計	303	364	
	港北区	9	17	大和市	5	7	東京都	24	22	
	緑区	6	4	伊勢原市	1	1	埼玉県	2	2	
	戸塚区	16	17	海老名市	0	5	千葉県	1	2	
	瀬谷区	6	5	座間市	0	2	群馬県	0	0	
	栄区	5	6	南足柄市	0	0	栃木県	3	0	
	泉区	9	10	綾瀬市	2	2	山梨県	0	0	
青葉区	8	5	三浦郡葉山町	0	0	静岡県	0	1		
都筑区	4	6	高座郡寒川町	2	3	茨城県	1	0		
川崎市	30	30	愛甲郡	0	0	その他の県	12	7		
	川崎区	10	7	愛川町	0	0	県外計	43	34	
	幸区	8	4	清川村	0	0	住所不明	0	0	
	中原区	2	5	中郡	2	3	計	346	398	
	高津区	2	2	大磯町	1	2				
	宮前区	2	3	二宮町	1	1				
	多摩区	5	6							
麻生区	1	3								

カ 入院費負担区分別患者数（平成23年3月末現在在院患者一覧表）

年度	負担区分	健康保険法		国民健康保険法	生活保護法	精神保健福祉法	麻薬取締法	自費	計
		本人	家族						
22	男	7		10	13				30
	女		3	2	6				11
	計	7	3	12	19				41
	構成比	17.1	7.3	29.3	46.3				100.0
21	男	9	2	23	17				51
	女	1	2	4	5				12
	計	10	4	27	22				63
	構成比	15.9	6.3	42.9	34.9				100.0

キ 入院形態別患者数

年度	形態	月	区分												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
22	任意	男	23	15	23	18	22	21	17	18	17	17	19	13	223
		女	5	7	7	8	5	11	6	4	5	4	3	8	73
		小計	28	22	30	26	27	32	23	22	22	21	22	21	296
		構成比	90.3	88.0	93.7	100.0	100.0	94.1	92.0	95.7	100.0	100.0	100.0	100.0	95.8
	医療保護	男	2	3	1			1	2						9
		女	1		1			1		1					4
		小計	3	3	2			2	2	1					13
		構成比	9.7	12.0	6.3			5.9	8.0	4.3					4.2
	措置	男													
		女													
		小計													
		構成比													
計	男	25	18	24	18	22	22	19	18	17	17	19	13	232	
	女	6	7	8	8	5	12	6	5	5	4	3	8	77	
	小計	31	25	32	26	27	34	25	23	22	21	22	21	309	
21	任意	男	25	16	17	22	18	17	19	35	10	22	18	26	245
		女	3	4	7	7	3	4	10	7	5	8	7	7	72
		小計	28	20	24	29	21	21	29	42	15	30	25	33	317
		構成比	93.3	100.0	88.9	90.6	75.0	91.3	93.5	95.5	93.8	93.8	86.2	97.1	91.6
	医療保護	男	2		2	1	3	1	1	2		2	3		17
		女			1	2	4	1	1		1		1	1	12
		小計	2		3	3	7	2	2	2	1	2	4	1	29
		構成比	6.7		11.1	9.4	25.0	8.7	6.5	4.5	6.3	6.3	13.8	2.9	8.4
	措置	男													
		女													
		小計													
		構成比													
計	男	27	16	19	23	21	18	20	37	10	24	21	26	262	
	女	3	4	8	9	7	5	11	7	6	8	8	8	84	
	小計	30	20	27	32	28	23	31	44	16	32	29	34	346	

ク 依存薬物別・在院期間別退院患者数

年度	期間	依存薬物等 (F1)		アルコール	有機溶剤	覚せい剤	麻 薬	大 麻	その 他 薬 物	その 他 精神障害	計																																																																																																																																																																																																																																																		
		区分																																																																																																																																																																																																																																																											
22	9日以下	男		18	1	3			8		30																																																																																																																																																																																																																																																		
		女		8		2			4		14																																																																																																																																																																																																																																																		
		小計		26	1	5			12		44																																																																																																																																																																																																																																																		
	10～19日	男		1		6			3		10																																																																																																																																																																																																																																																		
		女		3		1					4																																																																																																																																																																																																																																																		
		小計		4		7			3		14																																																																																																																																																																																																																																																		
	20～29日	男		11		5			6		22																																																																																																																																																																																																																																																		
		女		1		2		1	4		8																																																																																																																																																																																																																																																		
		小計		12		7		1	10		30																																																																																																																																																																																																																																																		
	30～59日	男		36	3	16		2	8		65																																																																																																																																																																																																																																																		
		女		5		3			8	1	17																																																																																																																																																																																																																																																		
		小計		41	3	19		2	16	1	82																																																																																																																																																																																																																																																		
	60～89日	男		43		1			3	1	48																																																																																																																																																																																																																																																		
		女		14		2			4		20																																																																																																																																																																																																																																																		
		小計		57		3			7	1	68																																																																																																																																																																																																																																																		
	90日以上	男		77						1	78																																																																																																																																																																																																																																																		
女			14		1					15																																																																																																																																																																																																																																																			
小計			91		1				1	93																																																																																																																																																																																																																																																			
計	男		186	4	31		2	28	2	253																																																																																																																																																																																																																																																			
	女		45		11		1	20	1	78																																																																																																																																																																																																																																																			
	小計		231	4	42		3	48	3	331																																																																																																																																																																																																																																																			
	構成比		69.8	1.2	12.7		0.9	14.5	0.9	100.0																																																																																																																																																																																																																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">期間</th> <th colspan="2">依存薬物等 (F1)</th> <th rowspan="2">アルコール</th> <th rowspan="2">有機溶剤</th> <th rowspan="2">覚せい剤</th> <th rowspan="2">麻 薬</th> <th rowspan="2">大 麻</th> <th rowspan="2">その 他 薬 物</th> <th rowspan="2">その 他 精神障害</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="16">21</td> <td rowspan="3">9日以下</td> <td>男</td> <td></td> <td>17</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>2</td> <td></td> <td>5</td> <td></td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td></td> <td>13</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>30</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>2</td> <td></td> <td>7</td> <td></td> <td>47</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">10～19日</td> <td>男</td> <td></td> <td>10</td> <td>1</td> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> <td></td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>3</td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>12</td> <td>1</td> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td>8</td> <td></td> <td>28</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">20～29日</td> <td>男</td> <td></td> <td>9</td> <td></td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> <td>1</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td></td> <td>3</td> <td></td> <td>4</td> <td></td> <td>1</td> <td>4</td> <td></td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>12</td> <td></td> <td>7</td> <td></td> <td>1</td> <td>9</td> <td>1</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">30～59日</td> <td>男</td> <td></td> <td>42</td> <td>1</td> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td>10</td> <td>1</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td></td> <td>15</td> <td></td> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td>8</td> <td></td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>57</td> <td>1</td> <td>10</td> <td></td> <td></td> <td>18</td> <td>1</td> <td>87</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">60～89日</td> <td>男</td> <td></td> <td>44</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td></td> <td>9</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>53</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>54</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">90日以上</td> <td>男</td> <td></td> <td>72</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>4</td> <td></td> <td>77</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td></td> <td>12</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>84</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>4</td> <td></td> <td>89</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">計</td> <td>男</td> <td></td> <td>194</td> <td>3</td> <td>21</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>29</td> <td>2</td> <td>252</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td></td> <td>54</td> <td></td> <td>11</td> <td></td> <td>1</td> <td>17</td> <td></td> <td>83</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>248</td> <td>3</td> <td>32</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>46</td> <td>2</td> <td>335</td> </tr> <tr> <td>構成比</td> <td></td> <td>74.0</td> <td>0.9</td> <td>11.9</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td>11.3</td> <td>0.6</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>												年度	期間	依存薬物等 (F1)		アルコール	有機溶剤	覚せい剤	麻 薬	大 麻	その 他 薬 物	その 他 精神障害	計	区分		21	9日以下	男		17	1	6	2		5		31	女		13		1			2		16	小計		30	1	7	2		7		47	10～19日	男		10	1	6			5		22	女		2		1			3		6	小計		12	1	7			8		28	20～29日	男		9		3			5	1	18	女		3		4		1	4		12	小計		12		7		1	9	1	30	30～59日	男		42	1	6			10	1	60	女		15		4			8		27	小計		57	1	10			18	1	87	60～89日	男		44							44	女		9		1					10	小計		53		1					54	90日以上	男		72				1	4		77	女		12							12	小計		84				1	4		89	計	男		194	3	21	2	1	29	2	252	女		54		11		1	17		83	小計		248	3	32	2	2	46	2	335	構成比		74.0	0.9	11.9	0.6	0.6	11.3	0.6	100.0
年度	期間	依存薬物等 (F1)		アルコール	有機溶剤	覚せい剤	麻 薬	大 麻	その 他 薬 物	その 他 精神障害	計																																																																																																																																																																																																																																																		
		区分																																																																																																																																																																																																																																																											
21	9日以下	男		17	1	6	2		5		31																																																																																																																																																																																																																																																		
		女		13		1			2		16																																																																																																																																																																																																																																																		
		小計		30	1	7	2		7		47																																																																																																																																																																																																																																																		
	10～19日	男		10	1	6			5		22																																																																																																																																																																																																																																																		
		女		2		1			3		6																																																																																																																																																																																																																																																		
		小計		12	1	7			8		28																																																																																																																																																																																																																																																		
	20～29日	男		9		3			5	1	18																																																																																																																																																																																																																																																		
		女		3		4		1	4		12																																																																																																																																																																																																																																																		
		小計		12		7		1	9	1	30																																																																																																																																																																																																																																																		
	30～59日	男		42	1	6			10	1	60																																																																																																																																																																																																																																																		
		女		15		4			8		27																																																																																																																																																																																																																																																		
		小計		57	1	10			18	1	87																																																																																																																																																																																																																																																		
	60～89日	男		44							44																																																																																																																																																																																																																																																		
		女		9		1					10																																																																																																																																																																																																																																																		
		小計		53		1					54																																																																																																																																																																																																																																																		
	90日以上	男		72				1	4		77																																																																																																																																																																																																																																																		
女			12							12																																																																																																																																																																																																																																																			
小計			84				1	4		89																																																																																																																																																																																																																																																			
計	男		194	3	21	2	1	29	2	252																																																																																																																																																																																																																																																			
	女		54		11		1	17		83																																																																																																																																																																																																																																																			
	小計		248	3	32	2	2	46	2	335																																																																																																																																																																																																																																																			
	構成比		74.0	0.9	11.9	0.6	0.6	11.3	0.6	100.0																																																																																																																																																																																																																																																			

ケ 依存薬物別・転帰別退院患者数

年度	転帰	依存薬物等 (F1)		アルコール	有機溶剤	覚せい剤	麻 薬	大 麻	そ の 他 薬	そ の 他 精神障害	計	構成比
		区分										
22	全 快	男										
		女										
		小 計										
	軽 快	男		129	2	18		2	13	2	166	67.1
		女		35		8		1	12		56	
		小 計		164	2	26		3	25	2	222	
	未 治	男		47	2	11			15		75	28.4
		女		9		3			7		19	
		小 計		56	2	14			22		94	
	転 医	男		10		2					12	4.5
		女		1					1	1	3	
		小 計		11		2			1	1	15	
	死 亡	男										
		女										
		小 計										
	計	男		186	4	31		2	28	2	253	100.0
女			45		11		1	20	1	78		
小 計			231	4	42		3	48	3	331		
構成比			69.8	1.2	12.7		0.9	14.5	0.9	100.0		
年度	転帰	依存薬物等 (F1)		アルコール	有機溶剤	覚せい剤	麻 薬	大 麻	そ の 他 薬	そ の 他 精神障害	計	構成比
		区分										
21	全 快	男										
		女										
		小 計										
	軽 快	男		131	1	13	2	1	18	1	167	63.9
		女		32		5		1	11		49	
		小 計		163	1	18	2	2	29	1	216	
	未 治	男		54	2	7			8		71	30.4
		女		19		6			5		30	
		小 計		73	2	13			13		101	
	転 医	男		9		1			3	1	14	5.7
		女		3					1		4	
		小 計		12		1			4	1	18	
	死 亡	男										
		女										
		小 計										
	計	男		194	3	21	2	1	29	2	252	100.0
女			54		11		1	17		83		
小 計			248	3	32	2	2	46	2	335		
構成比			74.0	0.9	9.6	0.6	0.6	13.7	0.6	100.0		



## 5 業務の状況

### (1) 看護

「精神医療センターの基本理念・せりがや病院の基本方針に沿って、質の高い看護を行い、ヒューマンサービスの推進に貢献する」の理念に則して、看護を実践している。

看護局は、外来看護科、1階病棟看護科、2階病棟看護科、教育科の4単位であり、1階病棟は男性の初期入院（30床）、2階病棟は男性の回復期（35床）および女性の初期から回復期（15床）で構成されている。

#### ア 病棟看護

1階病棟では、入院初期の男性患者に2週間程度、依存物質からの離脱、体力の回復、今後の治療の意志を固め、スムーズに2階病棟に継続できるよう援助している。2階病棟では、男性患者には中断することなく治療プログラムに取り組めるよう援助し、女性患者には、初期から回復期に至る全過程の援助を行っている。

近年、依存物質が多様化し、ギャンブル、異性、過激な運動への依存、摂食障害も見られ、それらは物質依存と合併している場合が多く、治療が難しくなっている。さらに、高齢化に伴うADLの低下がある患者や糖尿病、肝硬変、高血圧、低栄養状態などの身体合併のある患者が増えてきている。看護師は、治療効果が向上するよう多職種と連携を図りながら、患者の状態に応じて、認知行動療法、生活技能訓練（SST）や多様な治療プログラム実施をしている。

#### 病棟別看護職員配置図

（平成23年4月1日現在）

病棟	定床数	保護室	現員	備考
1階	30	4	16 + 4	初期入院（男性）病棟
2階	50	2	16 + 1	回復期（男性）病棟、女性病棟

#### イ 外来看護

近年、外来での医療のニーズがますます高まってきている。外来では、患者の状況を観察、判断し、相談に応じている。そして、患者の状況に応じた看護が提供できるように、初診時からの看護計画を立て看護の継続に努めている。また、チーム医療を大切にし、看護師、医師、心理・相談科、作業療法士などの医療チームで患者をケアできるように月に1回外来運営カンファレンスを行なっている。集団精神療法を医師や心理・相談科の職員とともにこなしている。毎朝定時にベッドコントロールを実施し、患者の情報交換や情報の共有を行うことで、病棟との連携を図っている。

#### 外来看護職員配置図

現員	3 + 3（非常勤）
----	------------

#### ウ 看護教育科

患者の動向を踏まえ、精神科看護に求められる看護師の育成を行い、看護師ひとり一人のキャリアニーズに基づき院内研修や院外研修への参加を支援している。平成22年度より、精神医療センターとして院内研修を芹香病院と合同で実施している。また、看護基礎教育での実習や中学生の職業体験、看護以外の専門学校からの見学を受け入れており、実習生の目標が達成できるよう支援している。そして、自施設の特徴から、健康教育の一環として薬物乱用防止の啓発活動を行っており、スタッフを講師として中学校や高校に派遣している。

(ア) 平成22年度 現任教育

	研修名	ね ら い	対 象	参加人数
新採 ・ 転 入 者 支 援	採用者研修★ (転入者含)	○概要・組織・業務が理解でき、職員としての自覚をもつことができる	新採用・転入者	7名
	フォローアップ研修	○業務の中で生じた疑問や不安を軽減し、仕事への意欲につなげることができる	新採用・転入者	4名
	施設見学	○地域のネットワークが理解でき、連携の必要性と看護の役割がわかる	新採用・転入者	6名
	基礎技術研修① (救急蘇生法)	○看護師として必要な救急時の基礎的対応がわかる	新採用・転入者	3名
	接遇研修	○接遇の実際を通して、専門職業人としての態度を身につける	全職員	3名
ス テ ッ プ I	看護倫理 I (看護専門職としての倫理)	○専門職としての倫理を再確認し、センターの看護師としての行動につなげる	ステップ I を申請する者 ※1 回目講義は、看護倫理 II を受講するものの聴講可	1名
	事例検討 I 看護判断	○自己の看護場面を振り返り、不明確な知識や技術を明らかにすることができる		1名
	チームメンバー研修	○チームナーシングについて理解を深め、メンバーシップを発揮するための能力を養う ○9 か月間の自己を振り返り、今後の課題を明らかにできる。	ステップ I を申請する者	2名
ス テ ッ プ II	チームリーダー研修	○チームナーシングについて理解を深め、リーダーとしての役割が明確になる	看護科長が必要と求めた看護職員	0名
ス テ ッ プ III	事例検討	○受け持ち事例を通して自己の看護を振り返り、看護実践に活かすことができる	同上	0名
ス テ ッ プ IV	プレゼンテーション 研 修	○他者に効果的な情報提供ができるような能力を身につけることができる	同上	1名
役 割 研 修	新主任研修	○リーダーシップと、主任の役割について理解できる	新主任	1名
	病棟技能員研修	○患者の環境を整備するために、組織の中で効果的な役割を担い、サービスの向上を図る	技能員	2名
	S S T 研修 (初級)	○生活技能訓練を習得し、臨床現場に活かすことができる	看護職員	3名
研 修 会 等	講演会	○看護の質の向上につなげることができる ○専門性を高め、看護実践に活かすことができる	全職員	センター内 65名 センター外 13名
	伝達研修会	○院外研修の報告を受け、自己研鑽の動機づけとすることができる ○看護活動を通して研究成果を発表し相互の学びとすることができる ○依存症看護の質の向上につなげることができる	看護職員	20名
	静脈注射研修	○医師の指示に基づいた静脈注射を安全に実施するための必要な知識・技術を習得する	看護職員	3名

(イ) 平成22年度実習受入れ状況

学 校 ・ 団 体	人 数
神奈川県衛生看護専門学校 第2看護学科	39人
神奈川県衛生看護専門学校 第1看護学科	70人
日本医療学院附属東亜看護学院	5人
日本精神科看護協会認定看護師	1人

## (ウ) 平成22年度看護の日記念行事

内 容 (場 所)	対 象	人 数
クラシックコンサート (せりがや病院)	地域の方、患者、家族	60人
医師の講演会 (芹香病院と合同)	一般の方	34人
薬物防止教育キャラバンカーなど (せりがや病院)	中学生、地域の方	30人
せりがや病院で働く人、仕事の紹介 (せりがや病院)	地域の方、外来・入院患者、家族	多数

## (エ) 平成22年度施設見学

学 校 ・ 団 体	対 象 者	人 数
横浜市立芹が谷中学校	2年生	3人
横浜弁護士会司法修習委員会	司法修習生	4人
病院見学 (インターシップ)	看護学生	6人
東京都薬物乱用防止推進北地区協議会	会員	26人

## (オ) 平成22年度講師派遣

派 遣 場 所	内 容	人 数
県立保健福祉大学 実践教育センター	管理者養成課程	1人
	研究基礎講座	
社会保険横浜看護専門学校	精神看護方法論Ⅱ	1人
神奈川県看護協会	認定看護管理者制度セカンドレベル教育課程	1人
横浜断酒新生会	神奈川県酒害相談員研修	1人
横浜断酒新生会	家族研修会	1人

## (カ) 平成22年度健康教育啓発活動の講師派遣

学 校 名 等	対 象 者	人 数
横浜市立芹が谷中学校	中学生1～3年	429人
伊勢原市立山王中学校	中学生1～3年	650人
	教 員	40人
神奈川県立厚木清南高校	高校3年生	240人
	教 員	12人
神奈川県内准看護師課程の学生	学 生	550人
	職 員	40人
神奈川県立多摩高等学校	高校1年生	280人
	教 員	12人
横浜市立戸塚高等学校	高校1年生	276人
	教 員	12人
大磯町立国府中学校	中学1～3年生	370人
	保護者	20人
	教 員	30人
横浜市立日限山中学校	中学3年生	137人
	教 員	7人
鎌倉市立岩瀬中学校	中学3年生	113人
	教職員	2人
鎌倉市立腰越中学校	中学2年生	79人

## (2) 心理・相談業務

心理・相談科では、依存症により生じた家族関係や就業、経済的問題など、社会的側面の問題をもつ患者・家族に対して相談支援や集団精神療法等の回復プログラムをおこなっている。

平成22年度は入院患者薬物プログラム「SMARPP16」を開始し、新たな試みとして、退院後も継続して参加できる形式とした。本プログラムにより、患者にとり参加しやすいミーティングの場を広げることができた。

地域のアルコール、薬物依存症の自助グループや回復施設との連携では、平成22年度は21名のアルコール・薬物依存症患者の施設入所を支援した。心理・相談科の業務内容は以下のとおりである。

- |                    |                                       |
|--------------------|---------------------------------------|
| 1. 相談（電話、面接）       | 7. 臨床心理検査                             |
| 2. 初診時インテーク面接      | 8. 心理療法                               |
| 3. 入院・外来患者へのケースワーク | 9. 薬物問題を持つ家族のための家族教室                  |
| 4. 患者家族へのケースワーク    | 10. 依存症者の家族のための家族教室（医局、看護局との分担）       |
| 5. 入院・外来患者への集団精神療法 | 11. 地域関連機関・施設や自助グループ等の団体との連絡、調整及び技術援助 |
| 6. 入院患者への教育        | 12. 研修の受け入れ（精神保健福祉援助実習など）             |
|                    | 13. 講師派遣（薬物乱用防止教室等）                   |

### ア 相談・インテーク・ケースワーク等件数

内 容		22年度	21年度	備 考	
電 話	新 規 相 談	216	311	まだ受診していない者についての相談	
	相 談	653	694	すでに受診している者（患者）についての相談	
	関係機関との連絡調整	2,834	3,581	保健所、福祉事務所、医療機関、施設等との患者についての相談、連絡調整	
	小 計	3,703	4,586		
面 接	新規相談	54	50	まだ受診していない者についての相談	
	患 者	外 来	565	740	外来患者等に対する面接
		入 院	914	940	入院患者等に対する面接
	イ ン テ ー ク	465	509	初診患者に生活背景、病歴等を面接聴取する	
	小 計	1,998	2,239		
計		5,701	6,825		

### イ 平成22年度集団精神療法件数

外 来	ア ル コ ー ル	999	1,003	週1回の外来ミーティング
	薬 物	552	465	月2回の外来ミーティング、SMARPP
	小 計	1,551	1,468	
入院	ア ル コ ー ル ・ 薬 物	4,211	4,097	7グループで実施
計		5,762	5,565	

### ウ 平成22年度家族教室参加人数

家 族 教 室	198	261	アルコール依存症の者の家族 月2回
薬 物 依 存 症 家 族 教 室	458	369	薬物問題を持つ家族 月2回
計	656	630	

## エ 平成22年度 研修等の受入れ

### (ア) 精神保健福祉援助実習

	学 校	実 施 日	人 数
1	県立保健福祉大学	平成22年 8月23日～9月7日	2名
2	上智社会福祉専門学校	平成22年 8月23日～9月7日	1名

### (イ) その他研修見学

	機 関	実 施 日	人 数
1	県精神保健福祉センター（転入職員研修）	平成22年 7月7日	6名
2	県精神保健福祉センター（転入職員研修）	平成22年 7月9日	5名
3	横浜市不老町地域ケアプラザケアマネ研修会	平成22年 7月15日	20名
4	県薬物乱用防止協議会大和綾瀬支部（見学）	平成22年10月21日	14名
5	横須賀市立池上中学校（見学）	平成22年10月26日	5名
6	大倉山記念病院地域医療相談室（見学）	平成22年11月16日	1名
7	横浜保護観察所社会復帰調整官実務実習	平成22年11月24日	1名
8	横浜市こころの健康相談センター（転入職員研修）	平成23年 2月22日	4名

### (ウ) 講師派遣

	機 関	実 施 日	参 加 人 数
1	大和断酒会「わたしのこころのサポート講座」	平成22年 6月24日	79名
2	アレセア湘南高校薬物乱用防止教室	平成22年 7月12日	159名
3	横浜市こころの健康相談センター薬物家族教室	平成22年 7月13日	8名
4	神奈川県立新栄高校薬物乱用防止教室	平成22年 7月16日	340名
5	横浜市立瀬谷小学校薬物乱用防止教室	平成22年11月 9日	152名
6	横須賀市立横須賀総合高校薬物乱用防止教室	平成22年12月 6日	320名
7	鎌倉市立玉縄中学校薬物乱用防止教室	平成23年 2月28日	164名
8	藤沢市立秋葉台中学校薬物乱用防止教室	平成23年 3月11日	271名

## オ 平成22年度 心理検査

（実人数）32名 （延べ件数）49件

検 査 名	件 数
W A I S - R	8
W A I S - III	15
ロ ー ル シ ャ ッ ハ テ ス ト	13
バ ウ ム テ ス ト	2
P - Y ス タ デ ィ	2
S C T	2
Y - G 性 格 検 査	1
長 谷 川 式 簡 易 知 能 検 査	6
計	49

### (3) 作業療法

当院作業療法は平成19年7月に開設され、平成20年度までは1名の作業療法士、平成21年度より2名の作業療法士で運営している。

作業療法は、依存症のリハビリテーションとして身体的、心理的、社会的によりよい状態の再獲得が主たる目的である。通常プログラムとして農耕、スポーツ、表現活動を集団で実施しているほか、高齢者プログラム、病院行事なども行っている。また、作業療法以外にも教育プログラム、自助グループへの参加支援など作業療法士が関わっている。

当院入院患者のほぼ全員が作業療法の処方を受けており、実施数や対象患者の層も入院患者の状況により影響を受けている。

平成21年10月より通院作業療法を開始したので、通院後の患者への受け皿として利用価値を高めていきたい。

#### ア 病棟別実施件数

年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
22	1階病棟	107	91	130	109	183	97	91	101	72	45	76	73	1,175
	2階病棟	434	394	341	449	373	407	400	412	338	321	306	368	4,543
	合同プログラム	0	0	0	0	0	0	38	0	0	0	37	0	75
	計	541	485	471	558	556	542	491	513	410	366	419	441	5,793
年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
21	1階病棟	154	68	155	91	120	112	101	99	97	78	108	107	1,290
	2階病棟	365	418	398	463	407	373	390	383	378	361	428	389	4,753
	合同プログラム	0	0	0	0	0	0	43	0	0	0	0	38	81
	計	519	486	553	554	527	485	534	482	475	439	536	534	6,124

#### イ 通院作業療法実施件数

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
22	24	16	25	20	14	20	11	5	14	7	10	22	188

### (4) 医療教育及び講師派遣

#### ア 研修の受入れ

対 象	人 数	実 施 日
横浜市立大学医学部学生	5～6人	火曜日（見学実習）

#### イ 講師派遣

派 遣 先	実 施 日
横浜市立大学医学部	平成22年4月
県立保健福祉大学	平成22年4月、6月
県教育委員会	平成22年4月

## (5) 薬剤業務

平成22年度の薬品購入金額は7,498万円であり前年度に比べ約1,632万円増となった。薬価の高い新しい抗精神病薬の適用患者が増加し、また、一人に使用する薬の量が徐々に増えているのが主な原因とみられる。

処方せん枚数は、前年度に比べ外来は649枚の増、入院が492枚減であった。22年度は患者数および薬品費が前年度より増加した。

薬剤情報提供は前年度に比べ354件減少し1,062件であった。

薬事会議は9月と3月に開催し、新たに18品目を採用し、12品目を削除した。

後発医薬品については1品目を先発品から切り替え、採用率は品目で11.3%、金額で10.0%となった。

### A 調剤数

区分	処方せん	剤数	延べ剤数	一日平均	
				剤数	延べ剤数
入院	6,546枚	17,929剤	104,088剤	49.0剤	284.4剤
外来	12,421	41,086	636,931	139.7	2,166.4
計	18,967	59,015	741,019	188.7	2,450.8

### B 注射剤払い出し

注射せん	500ml未満	500ml以上	計
190枚	273本	117本	390本

### C 製剤数

内用散剤	軟膏剤	錠剤の粉碎
212,343g	1,256g	1,310錠

### D 剤型別購入額

剤型	品目数	%	購入額	%
注射	31品	7.5%	1,091,391円	1.5%
内服	346	84.2	73,101,495	97.4
外用	30	7.3	756,770	1.0
消毒	4	1.0	30,863	0.1
計	411	100.0	74,980,519	100.0

### E 薬効別購入額

薬効	品目数	割合	購入額	割合
精神神経用剤	119品	29.0%	44,336,696円	59.1%
睡眠鎮静剤、抗不安剤	50	12.2	9,294,756	12.4
習慣性中毒用剤	2	0.5	1,807,340	2.4
ビタミン剤	14	3.4	3,074,850	4.1
肝臓疾患用剤	5	1.2	94,793	0.1
その他	221	53.7	16,372,084	21.9
計	411	100.0	74,980,519	100.0

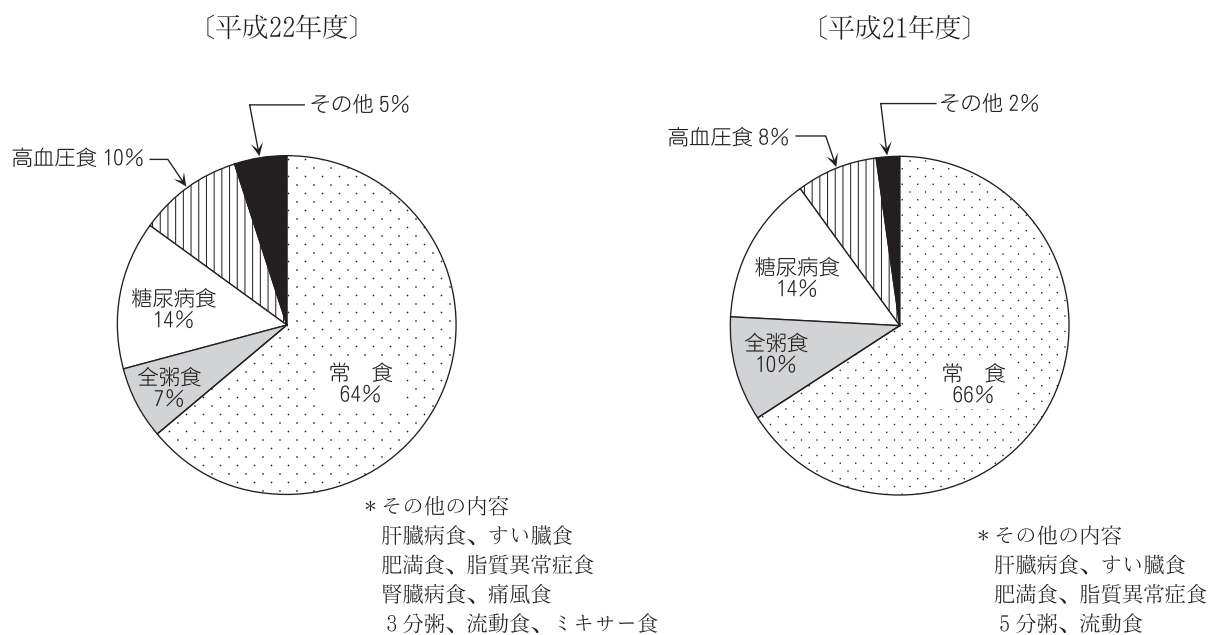
## (6) 栄養業務

### ア 給食実施状況

入院患者の食種では一般食の比率が低下傾向にあり、特別食の比率が増加している。特別食では糖尿病食と高血圧食の割合が高いが、平成22年度は、脂質異常症食の増加が著しい。これらの疾患はアルコール依存症に多く合併しており、入院中の食事を含めた生活指導が重要と考えられる。次いで増加した肥満食には、摂食障害の数が含まれる。また、近年の特徴として高齢者等の嚥下障害を有する患者への「とろみ調整」など入院患者個々人に適応した、きめこまかい食事指示が増加していることがあげられる。

当院の特徴として、依存症の症状に応じた形態（キザミ食等）や食器（メラミンやディスポ食器の使用）、食事時間（分割食、朝食）への対応、嗜好への対応、作業所参加や治療プログラムのための弁当の調整などきめ細かな個人対応食を実施している。さらに、依存症専門病院として食材や調味料等についても配慮しており、調理技術の高度化と専門性が要求されている。また、入院生活を潤いあるものにするため、季節感を取り入れた行事食を年9回実施した。選択食は、3月11日の大震災により、一時中止していたが、年70回実施した。

栄養指導では、入院患者に対する生活支援の一環として「教育プログラム」に位置づけられ、定例的に自立に向けた集団指導を行っている。さらに、生活習慣病予防のための食生活についての指導を取り入れた。





区 分		年 度		22年度	21年度	対前年度比 (%)	
一 般 食	常 食			33,800	36,095	93.6	
	軟 流 動 食	全 粥 食			3,486	5,447	64.0
		七 分 粥 食			0	0	—
		五 分 粥 食			0	2	—
		三 分 粥 食			73	0	—
		ミ キ サ ー 食			1	0	—
		流 動 食			8	4	20.0
		小 計			3,568	5,453	65.4
計			37,368	41,548	89.9		
特 別 食	加 算 で き る も の	糖 尿 病 食			7,578	7,916	95.7
		脂 質 異 常 症 食			574	63	911.1
		肝 臓 病 食			899	606	148.3
		膵 臓 病 食			99	256	38.7
		腎 臓 病 食			114	0	—
		潰 瘍 食			0	0	—
		通 風 食			49	0	—
	小 計			9,313	8,841	105.3	
	な 加 算 も で き の き	高 血 圧 食			5,379	4,560	118.0
		肥 満 食			863	185	466.5
		アルゲン除去食			0	0	—
		小 計			6,242	4,745	131.5
	計			15,555	13,586	114.5	
	合 計				52,923	55,134	96.0
患 者 食 弁 当				(778)	(622)	125.1	
検 食 ・ 保 存 食				2,190	2,190	100.0	
職 員				10,752	10,552	101.9	
総 合 計				65,865	67,876	97.0	

\* 患者食弁当 ( ) は再掲

## イ 栄養指導実施状況

区 分 年 度	入 院				外 来				合 計			
	集 団 指 導		個 別 指 導		集 団 指 導		個 別 指 導		集 団 指 導		個 別 指 導	
	件 数	延人数	件 数	延人数	件 数	延人数	件 数	延人数	件 数	延人数	件 数	延人数
22	4	164	4	4	0	0	22	22	4	164	26	26
21	3	122	3	3	0	0	24	24	3	122	24	24
対前年度 比 (%)	133.3	134.4	133.3	100.0	—	—	91.7	91.7	133.3	134.4	108.3	108.3

平成22年度 **業 務 年 報**

---

平成23年10月発行

神奈川県立精神医療センター

横浜市港南区芹が谷 2-5-1

TEL 045-822-0241

印刷所 中川印刷株式会社

横浜市中区山田町 7-1

TEL 045-261-2101

---



地方独立行政法人神奈川県立病院機構  
神奈川県立精神医療センター

横浜市港南区芹が谷2-5-1 〒233-0006 電話(045)822-0241(代表) FAX(045)825-3852